

0 5 県住入間霞川団地地盤改良工事

埼玉県 都市整備部 営繕課

図 面 目 録

意 匠 図										構 造 図									
図 面 番 号	図 面 名 称	縮 尺	工区分け			図 面 番 号	図 面 名 称	縮 尺	工区分け			図 面 番 号	図 面 名 称	縮 尺	工区分け				
			地	別	参				地	別	参				地	別	参		
A－ 000	表紙	－	○			A－ 061	浴室ユニット詳細図（１）	図 示		○		S－ 001	特記仕様書（構造関係・その１）	－	○				
A－ 001	図面リスト	－	○			A－ 062	浴室ユニット詳細図（２）	図 示		○		S－ 002	特記仕様書（構造関係・その２）	－	○				
A－ 002	特記仕様書（１）	－	○			A－ 063	スロープ詳細図（１）	1/30		○		S－ 003	構造関係共通図（配筋標準図・その１）	－		○			
A－ 003	特記仕様書（２）	－		○		A－ 064	スロープ詳細図（２）	1/30		○		S－ 004	構造関係共通図（配筋標準図・その２）	－		○			
A－ 004	特記仕様書（３）	－		○		A－ 065	自転車駐輪場詳細図（１）	図 示		○		S－ 005	構造関係共通図（配筋標準図・その３）	－		○			
A－ 005	特記仕様書（４）	－		○		A－ 066	自転車駐輪場詳細図（２）	図 示		○		S－ 006	構造関係共通図（配筋標準図・その４）	－		○			
A－ 006	特記仕様書（５）	－		○		A－ 067	ごみ置場詳細図	1/50		○		S－ 007	土質柱状図調査位置図	－	○				
A－ 007	工事区分表	－		○		A－ 068	倉庫詳細図	1/50		○		S－ 008	地質想定断面図	－	○				
A－ 008	案内図・全体配置図	1/500・1/5,000	○			A－ 069	面積表（１）	1/150		○		S－ 009	基礎伏図、１階床梁伏図	1/100	○				
A－ 009	現況図（団地全体）	1/500	○			A－ 070	面積表（２）	1/150		○		S－ 010	2階床梁伏図、3～6階床梁伏図	1/100		○			
A－ 010	計画配置図	1/150	○			A－ 071	面積表（３） 公営住宅法－１	1/150		○		S－ 011	7階床梁伏図、R階床梁伏図	1/100		○			
A－ 011	敷地求積図・求積表	1/150	○			A－ 072	面積表（４） 公営住宅法－２	1/150		○		S－ 012	Y1通り軸組図	1/100	○				
A－ 012	外部仕上表	－		○		A－ 073	仮設計画図（参考図）	1/200	○			S－ 013	Y2通り軸組図	1/100	○				
A－ 013	内部仕上表	－		○		A－ 074	山留め計画図（参考図）	1/150	○			S－ 014	X1～X3通り軸組図	1/100	○				
A－ 014	ビット平面図、ビット断面図	1/100	○			A－ 075	外構平面図	1/150		○		S－ 015	X4～X7通り軸組図	1/100	○				
A－ 015	1階平面図	1/100		○		A－ 076	植栽計画図（参考図）	1/150		○		S－ 016	基礎リスト	1/40	○				
A－ 016	2階平面図	1/100		○		A－ 077	雨水抑制配置図	1/150		○		S－ 017	基礎梁・基礎小梁リスト	1/40			○		
A－ 017	3～6階平面図	1/100		○		A－ 078	外構詳細図	1/20		○		S－ 018	柱心図、柱リスト	1/40			○		
A－ 018	7階平面図	1/100		○		A－ 079	内装パネル図（１）参考図	1/50		○		S－ 019	大梁リスト	1/40		○			
A－ 019	R階平面図	1/100		○		A－ 080	内装パネル図（２）参考図	1/10		○		S－ 020	小梁リスト	1/40		○			
A－ 020	立面図 1	1/100		○		A－ 081	平均地盤算定図 1	図示		○		S－ 021	スラブリスト	1/30	○				
A－ 021	立面図 2	1/100		○		A－ 082	平均地盤算定図 2	図示		○		S－ 022	片持スラブリスト	1/30		○			
A－ 022	断面図	1/150	○			A－ 083	法規チェック	－		○		S－ 023	壁リスト	1/30		○			
A－ 023	1 K 平面詳細図	1/30		○		A－ 084	日影図（分布図）冬至日（GL+4.0m）	1/300		○		S－ 024	柱要領図、増し打ち要領図	1/30		○			
A－ 024	1 K 矩計図	1/30	○			A－ 085	日影図（時間図）冬至日（GL+4.0m）	1/300		○		S－ 025	基礎梁・大梁要領図	1/30		○			
A－ 025	1 K 展開図	1/50		○		A－ 086	運動広場外構平面図	1/150		○		S－ 026	梁貫通要領図	1/30		○			
A－ 026	2 D K 平面詳細図	1/30		○		A－ 087	運動広場外構詳細図	1/20		○		S－ 027	各部配筋図（１）	1/30		○			
A－ 027	2 D K 矩計図	1/30	○			A－ 088	運動広場敷地求積図・求積表	1/150		○		S－ 028	各部配筋図（２）	1/30		○			
A－ 028	2 D K 展開図	1/50		○								S－ 029	各部配筋図（３）	1/50	○				
A－ 029	3 D K 平面詳細図	1/30		○								S－ 030	ラーメン配筋図	1/40	○				
A－ 030	3 D K 矩計図	1/30	○									S－ 031	基礎伏図、1階床梁伏図 貫通図	1/100	○				
A－ 031	3 D K 展開図	1/50		○								S－ 032	2階床梁伏図、3～6階床梁伏図 貫通図	1/100			○		
A－ 032	車いす 2 D K 平面詳細図	1/30		○								S－ 033	7階床梁伏図、R階床梁伏図 貫通図	1/100			○		
A－ 033	車いす 2 D K 矩計図	1/30	○									S－ 034	ゴミ集積所構造図	1/50			○		
A－ 034	車いす 2 D K 展開図	1/50		○								S－ 035	倉庫構造図	1/50			○		
A－ 035	バルコニー 展開図	1/50		○															
A－ 036	外廊下 展開図	1/50		○															
A－ 037	屋外階段詳細図（１）	1/50	○																
A－ 038	屋外階段詳細図（２）	1/50	○																
A－ 039	エレベーターシャフト廻り詳細図	1/10・1/30	○																
A－ 040	エントランスホール詳細図（１）	1/30		○															
A－ 041	エントランスホール詳細図（２）	1/30	○																
A－ 042	各住戸天井伏図	1/100		○															
A－ 043	建具キープラン	1/100		○															
A－ 044	建具表（１）	1/50		○															
A－ 045	建具表（２）	1/50		○															
A－ 046	建具廻り詳細図	1/10		○															
A－ 047	断熱平面図（１）	1/100		○															
A－ 048	断熱平面図（２）	1/100		○															
A－ 049	断熱平面図（３）	1/100		○															
A－ 050	断熱平面図（４）	1/100		○															
A－ 051	断熱平面図（５）	1/100		○															
A－ 052	部分詳細図（１）	1/20		○															
A－ 053	部分詳細図（２）	図 示		○															
A－ 054	部分詳細図（３）	図 示		○															
A－ 055	部分詳細図（４）	図 示		○															
A－ 056	部分詳細図（５）	図 示		○															
A－ 057	部分詳細図（６）	図 示		○															
A－ 058	家具詳細図（１）	1/15		○															
A－ 059	家具詳細図（２）	1/15		○															
A－ 060	家具詳細図（３）	1/15		○															

※工区分けの「地」は地盤改良工事を示す。
※工区分けの「別」は別途工事を示す。（欠番）
※工区分けの「参」は参考図を示す。

TAC 株式会社 タック ■一級建築士事務所埼玉県知事登録（第1840号） ■一級建築士大臣登録第300243号 嶋 田 圭 一 ■一級建築士大臣登録第389790号 古 川 陽 一	特記事項					埼玉県都市整備部営繕課					設 計	製作年月日	工事名称	図面番号						
						課 長	副課長	主 幹	主 査	担 当										
															担 当					
															製 図					
												縮 尺	図面名称	A-001						
												（A3版 50%縮小）								

工 事 名

○ 5 県住入間霞川団地地盤改良工事

特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

埼玉県入間市高倉4丁目内

用途地域：第1種中高層住居地域準住居地域

2. 敷地面積

2,758.23㎡

3. 工事種目
(建物概要)

地盤改良（共同住宅本体の地盤改良のみ）
鉄筋コンクリート造 7階建て

	【当該工事】	【別途工事】			合 計
【共同住宅】					
住戸数	戸	56戸	戸	戸	56戸
延べ面積	㎡	2553.05㎡	㎡	㎡	2553.05㎡
【集会所】					
延べ面積	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡
【ゴミ置場】					
延べ面積	㎡	18.00㎡	㎡	㎡	18.00㎡
【自転車置場】					
1 延べ面積	㎡	62.95㎡	㎡	㎡	62.95㎡
2 延べ面積	㎡	27.07㎡	㎡	㎡	27.07㎡
【倉庫】					
延べ面積	㎡	30.02㎡	㎡	㎡	30.02㎡
合 計	㎡	2691.09㎡	㎡	㎡	2691.09㎡

4. 工 期

契約工期 契 約 日から令和 8年10月14日まで
普通仮設費率の算定に用いる工期 令和8年 7月 6日から令和 8年10月14日まで
主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間 現場施工に着手するまで
現場代理人の現場への常駐を要しない期間 現場施工に着手するまで
現場施工期間 令和8年 7月 6日から令和 8年10月14日まで
ただし、仮設工事等は施設との協議による

5. 工事範囲

※「3. 工事種目」のうち【当該工事】の建築工事の全てを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち _____ の工事範囲は下表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

2 仮設工事	※工事範囲全て
3 土工事	※工事範囲全て
4 地業工事	※工事範囲全て
5 鉄筋工事	—
6 コンクリート工事	—
7 鉄骨工事	—
8 コクリトブ ロック ALG 板 押出成形ポリ板工事	—
9 防水工事	—
10 石 工 事	—
11 タイル工事	—
12 木工事	—
13 屋根及びびとい工事	—
14 金属工事	—
15 左官工事	—
16 建具工事	—
17 カーテンウォール工事	—
18 塗装工事	—
19 内装工事	—
20 ユニット及びその他の工事	—
21 排水工事	—
22 舗装工事	—
23 構築、屋上緑化、その他施設整備等工事	—
24 その他	—

II 建築工事仕様

(1) 質問回答書、本特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、全て埼玉県建築工事特別共通仕様書及び公共住宅建設工事共通仕様書（令和元年度版。以下、「共通仕様書」という。）による。
なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。
(2) 共通仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料、工法・検査方法を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。
(3) 特記仕様書の表記
① 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
② 項目に記載の（ ）内の表示番号は、埼玉県建築工事特別共通仕様書の当該項目、当該図表を示す。
③ 項目に記載の（ ）内の表示番号は、共通仕様書の当該項目、当該図表を示す。
④ 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と ※印 が付いた場合は、共に適用する。○印と ※印 のみの場合は、○印のみを適用する。
⑤ 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（ ）内は製品名を示す。
⑥ 本工事に於いて、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（最新版）」及び、「埼玉県グリーン調達・環境配慮契約推進方針（最新版）」による特定調達品目のうち、「判断の基準」を満たす環境物品等（以下「特定調達品目等」という）を選択するよう努めるものとする。
なお、[G]印は設計図書で定めのある品目を示す。
⑦ 注は共通仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。

章 項 目

特 記 事 項

① 一般共通事項

① 適用基準等

※公共住宅標準詳細設計図集（公共住宅事業者等連絡協議会編集 第4版）
図面と相違する場合は、（※図面 ・公共住宅標準詳細図集）を優先する。
※埼玉県建築工事実務要覧に記載の要領等
なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。

② 火災保険等 (1.1.3)

保険の種類
※法定外の労災保険（工事に従事する者（全ての下請員を含む）の業務上の負傷等を対象とするもの）
※建設工事保険等（工事目的物及び工事材料等を対象とするもの）
※請負業者賠償責任保険等
保険の期間
※工事完成期日後14日を含む期間

③ 住宅瑕疵担保履行法による実力確保措置

住宅建設瑕疵担保責任保険契約を締結し、引渡し前に付保証明書を提出する。
○住宅建設瑕疵担保責任保険契約を本工事請負業者と連名契約を締結させる事。
なお、費用は建築工事で負担する。

④ 工事実績情報の登録 (1.1.8)(1.1.4)

工事実績情報サービス（CORINS）への登録を行う。

⑤ 別契約の関連工事 (1.1.7)

※監督員指定の別契約工事を今回工事全体としてとらえ、主導的に調整する。
○監督員指定の別契約工事が行う全体調整に全面的に協力する。

⑥ 施工中の安全確保 (1.3.7)

本工事の受注者を、作業が同一の場所において行われることによって生じる労働災害を防止するために必要な措置を講ずべき者（統括安全衛生管理義務者）とする。

⑦ 電気保安技術者 (1.3.1)(1.3.3)

電気保安技術者を配置する。

8 技能士の活用 (1.3.3)(1.5.2)

適用工事種別	技能検定作業
仮設工事	・とび作業
鉄筋工事	・鉄筋組立作業
コンクリート工事	・型枠組立作業 ・コンクリート圧入作業
鉄骨工事	・構造物組立作業 ・とび作業
コクリトブ ロック ALG 板 押出成形ポリ板工事	・コクリトブ ロック工事
防水工事	・777防水工事作業 ・ウレタン系塗膜防水工事作業 ・777防水塗膜防水工事作業 ・合成4系777防水工事作業 ・塩化ビニル系777防水工事作業 ・777系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質777防水工事作業 ・FRP防水工事作業
石工事	・石張り作業
タイル工事	・タイル張り作業
木工事	・大工工事作業
屋根及びびとい工事	・内外装板金作業
金属工事	・屋根上土工事作業 ・壁装作業
左官工事	・左官作業
建具工事	・木材用27施工作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業
カーテンウォール工事	・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビニル張り施工作業 ・ガラス工事作業
塗装工事	・建築塗装作業 ・木工塗装作業
内装工事	・777防水系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・フローリング工事作業 ・壁装作業 ・777防水工事作業
排水工事	・建築排水工事
舗装工事	・道路舗装工事
構築工事	・造園工事作業
その他	

⑨ 施工条件 (1.3.5)

施工日及び施工時間
※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外とする。
○以下の期間を除いた現場閉鎖日数の割合が28.5%(8日/28日)以上であること
年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間指定期間
○公告に別に添付する埼玉県営繕工事における「週休2日制モデル工事」特記仕様書>も参照のこと
施工日及び施工時間以外の施工条件
・図示による

⑩ 適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
風圧力 風速（Vw= 32m/s）、地表面粗度区分（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）
積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表（24）

⑪ 設計G L

※図示 ・設計G L＝現状G L ・ベンチマーク位置 図示

⑫ 施工中の環境保全等 (1.3.10)

建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。

⑬ 発生材の処理等 (1.1.13)(1.3.11)

再生資源利用計画書等の作成
工事着手時に「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を作成し、総合施工計画書に含め各1部提出する。
工事完成後速やかに「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」を作成し、監督員に各1部提出する。
引渡しを要するもの
※無し（全て構外搬出適正処理） ・有り（※図示）
注 a) 産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の写しを提出する。
b) 引き渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ、調査を添えて監督員に報告する。
c) 引き渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。

⑭ 県産品の使用 (1.4.2)

受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は埼玉県内に本店を有する者の中から選定するよう努めるとともに、調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努める。

⑮ 特別な材料の工法

共通仕様書に記載されていない特別な材料の使用は監督職員と協議し、その工法は、当該製品の指定工法とする。

⑯ 環境への配慮 (1.4.3)(1.4.1)

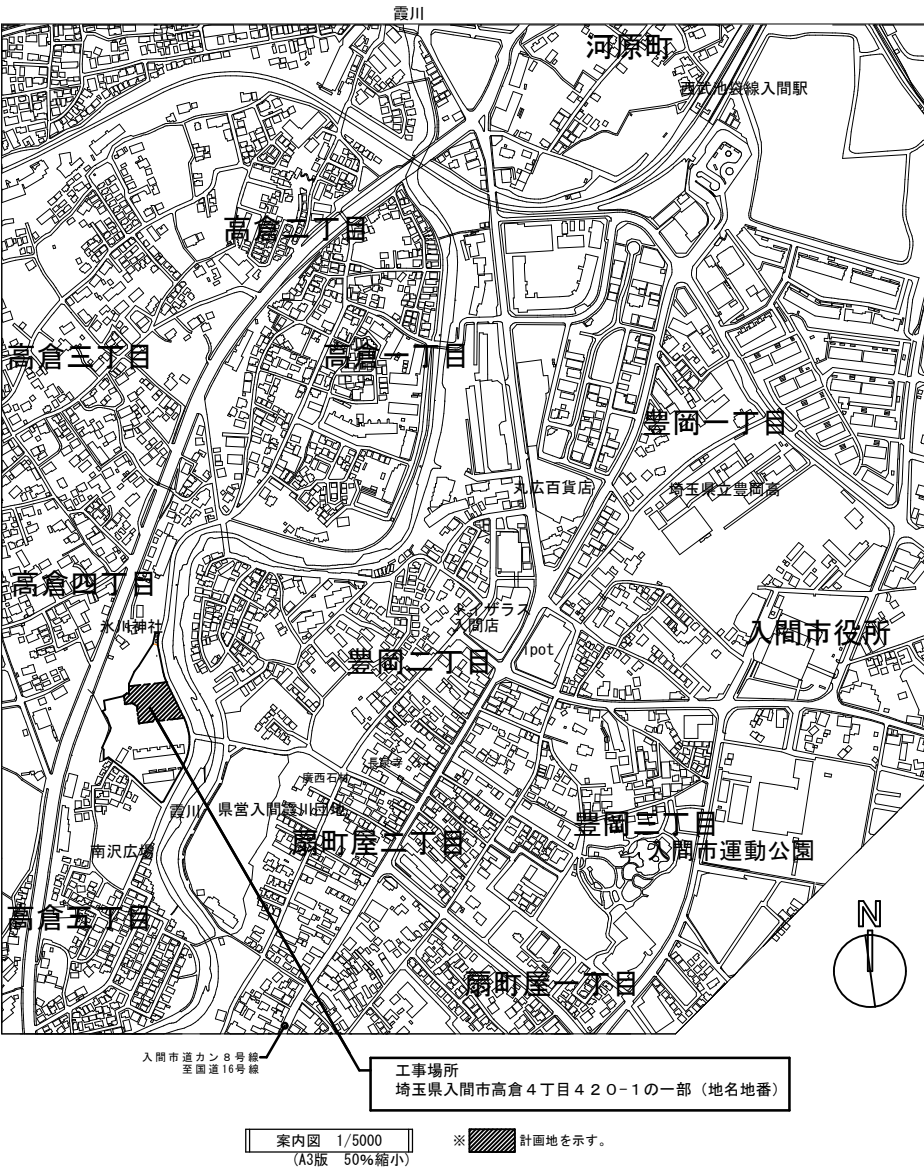
建築物内部に使用する材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系777、構造用合板、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、377樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗料は、77

工事区分表

○印の部分適用し、複数に○のある場合、設計図書による

[illegible]

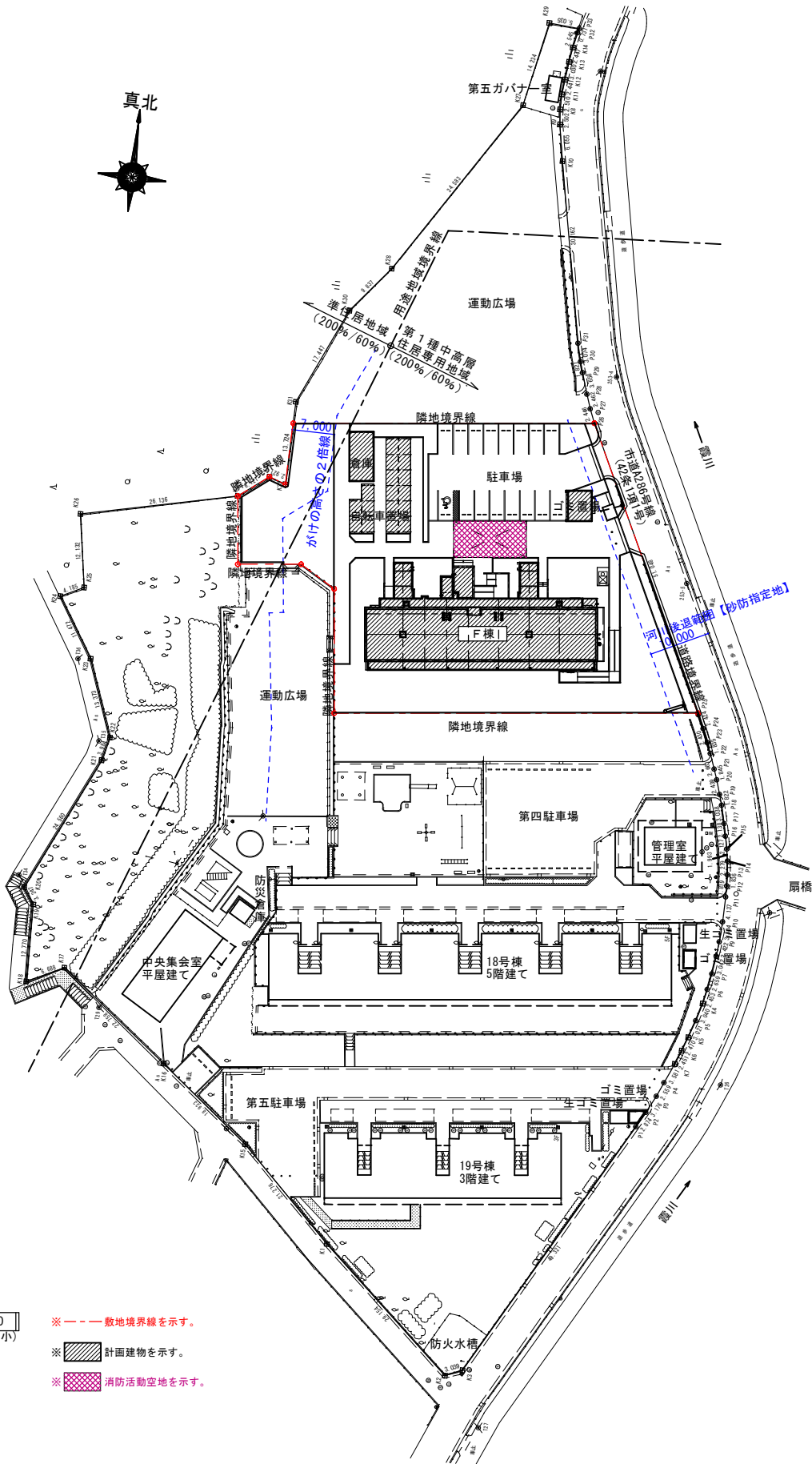
TAC 株式会社 タック ■一級建築士事務所埼玉県知事登録(第1840号) ■一級建築士大臣登録第300243号 嶋田圭一 ■一級建築士大臣登録第389790号 古川陽一	特記事項	埼玉県都市整備部営繕課					設 計	製作年月日	工事名称 O5 県住入間霞川団地地盤改良工事 図面名称 工事区分表	図面番号 A-007
		課 長	副課長	主 幹	主 査	担 当	担 当			
	榎 本	磐 城	大 橋	小野寺	岡 田	製 図				
								縮 尺 - (A3版 50%縮小)		



工事場所
埼玉県入間市高倉4丁目420-1の一部（地名地番）

案内図 1/5000
(A3版 50%縮小) ※ 計画地を示す。

計画概要	
建設場所	埼玉県入間市高倉4丁目地内
敷地面積	2,758.23㎡（F棟）（420-1 全体：13,928.28㎡）
建物概要	共同住宅棟：RC造 7階建て、ごみ置場：RC造一部S造、倉庫：RC造、自転車置場：S造（既製品）
用途地域	第1種中高層住居地域／準住居地域
防火指定	指定なし（法第22条地域）
高度指定	指定なし
日影規制	4.0時間－5m／2.5時間－10m（測定面：GL+4.0m）
その他地域地区	上下水道処理区域
建築面積	538.59㎡
延床面積	2,691.09㎡
容積対象面積	2,345.80㎡
建蔽率	19.53%（＜60%）
容積率	85.05%（＜200%）
接道	東側：市道A286号線（42条1項1号）幅員4～6.15m



全体配置図 1/500
(A3版 50%縮小) ※ --- 敷地境界線を示す。
※ 計画建物を示す。
※ 消防活動空地を示す。

TAC 株式会社 タック ■一級建築士事務所埼玉県知事登録（8）第1840号 ■一級建築士大臣登録第300243号 嶋田圭一 ■一級建築士大臣登録第389790号 古川陽一	特記事項		埼玉県都市整備部営繕課					設 計	製作年月日	工事名称	図面番号
			課 長	副課長	主 幹	主 査	担 当	担 当			
			榎 本	磐 城	大 橋	小野寺	岡 田	製 図			
							縮 尺 1/500、1/5,000 (A3版 50%縮小)		図面名称	案内図・全体配置図	A-008

Table with 4 columns: NO, X, Y, 辺長. Contains 15 rows of coordinate data for the site boundary.

県住入間霞川団地 敷地図 縮尺 五百分之一
入間市高倉四丁目地内

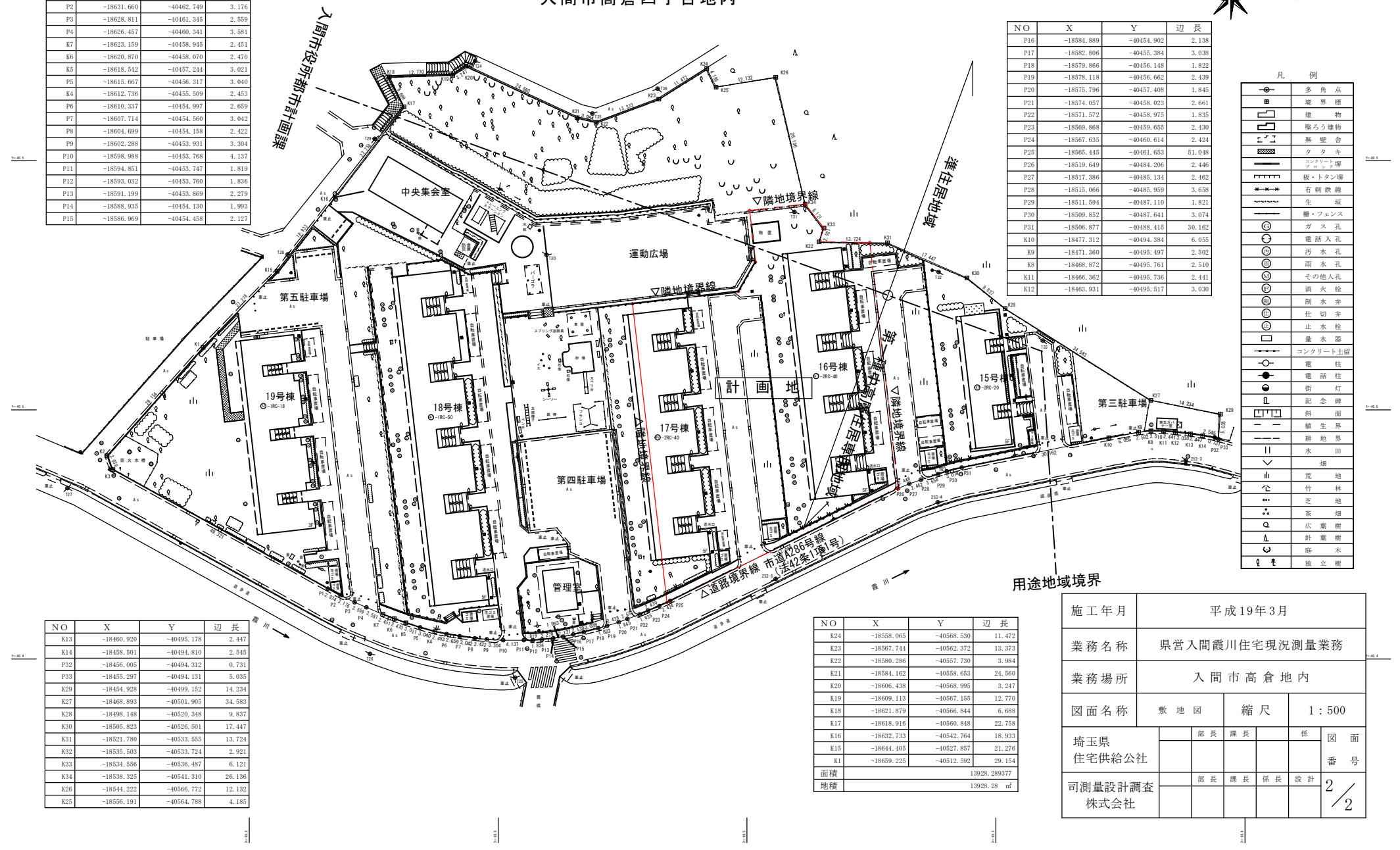


Table with 4 columns: NO, X, Y, 辺長. Contains 15 rows of coordinate data for the site boundary.

Legend table (凡例) listing symbols for various features: 多角点, 境界線, 建物, 塀, etc.

Table with 4 columns: NO, X, Y, 辺長. Contains 15 rows of coordinate data for the site boundary.

Table with 4 columns: NO, X, Y, 辺長. Contains 15 rows of coordinate data for the site boundary.

Table with project details: 施工年月 (平成19年3月), 業務名称 (県営入間霞川住宅現況測量業務), 業務場所 (入間市高倉地内), 図面名称 (敷地図), 縮尺 (1:500), 埼玉県住宅供給公社, 司測量設計調査株式会社.

※付属建物（ゴミ置場、倉庫、自転車置場）及び
本体工事は別途工事とする。

- 凡 例
- 令125条の出口より令128条の道路に通じる敷地内通路及び
県条例17条2項の敷地内通路を示す
(敷地内通路：有効幅員1.5m・段差なし)
 - 県条例17条1項の主要な出入口より道路に通じる敷地内通路を示す
(敷地内通路：有効幅員4.0m・段差なし・上空開放されている)

↑：共同住宅における代替出入口の特例
(地下又は階段室の踊場に進入可能な計画で、いずれかの進入口から
全住戸へ歩行距離20m以内で到達できること)
※2024/9/11 入間消防署消防管理課に問題ない旨確認済

- 令125条の出口及び県条例17条2項の出口を示す
- 県条例17条1項の主要な出入口を示す

- ±000 — 設計GLからの高さを示す
設計GL±0 = 84.40 = KBM±0
- F 棟 1SL = 設計GL+900
 - ゴミ置場 SL = 設計GL+150
 - 倉庫 SL = 設計GL+820
 - 自転車置場 1 SL = 設計GL+600
 - 自転車置場 2 SL = 設計GL+700

※本体建物とごみ置場の関係について、ごみ置場は小規模の平屋建RC造の為
延焼のおそれのある部分は生じないものとする(法第2条第6号)
※自転車駐輪場は自転車専用であり、バイク等は駐車しない
※敷地内通路床仕上げ：アスファルト舗装(滑りにくい仕上げ)
※敷地内通路上には、突出物等通行の支障となるものは設けない



株式会社 ツツ

- 一般建築士事務所埼玉県知事登録(8)第1840号
- 一般建築士大臣登録第300243号 嶋田 圭一
- 一般建築士大臣登録第389790号 古川 陽一

特記事項

※昇降機については別途申請する

埼玉県都市整備部営繕課

課長	副課長	主幹	主査	担当
榎本	磐城	大橋	小野寺	岡田

設 計

担 当
製 図

製作年月日

縮 尺
1/150
(A3版 50%縮小)

工事名称

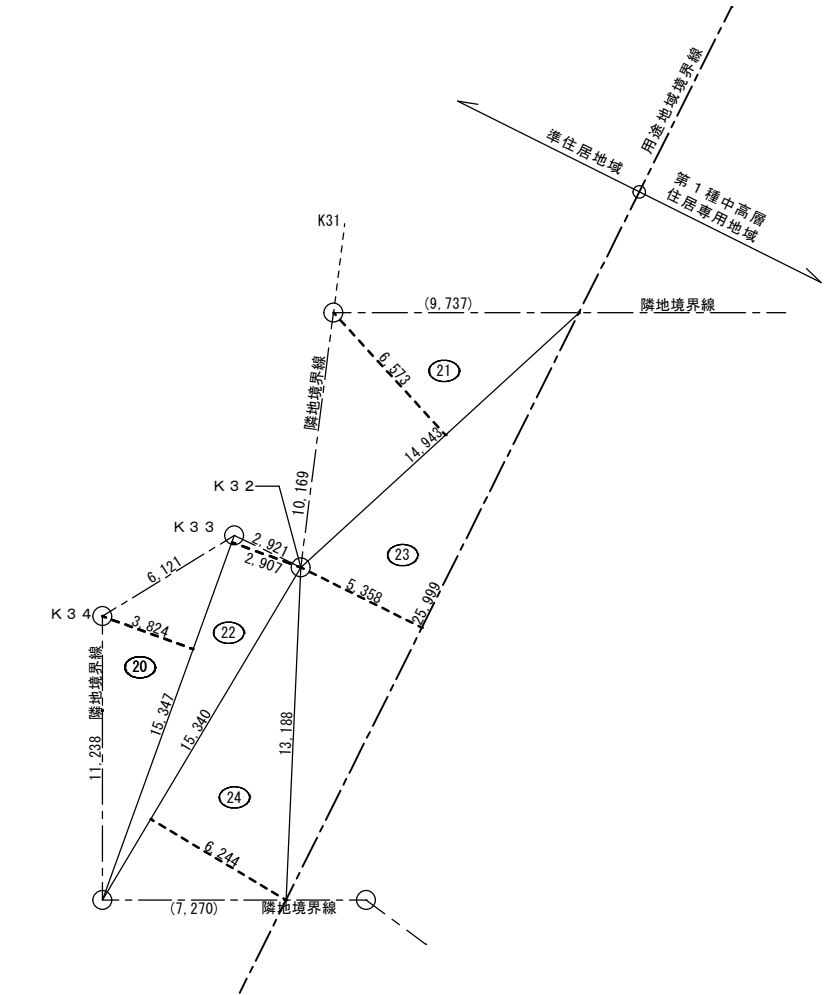
〇5県住入間霞川団地地盤改良工事

図面名称

計画配置図

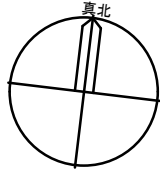
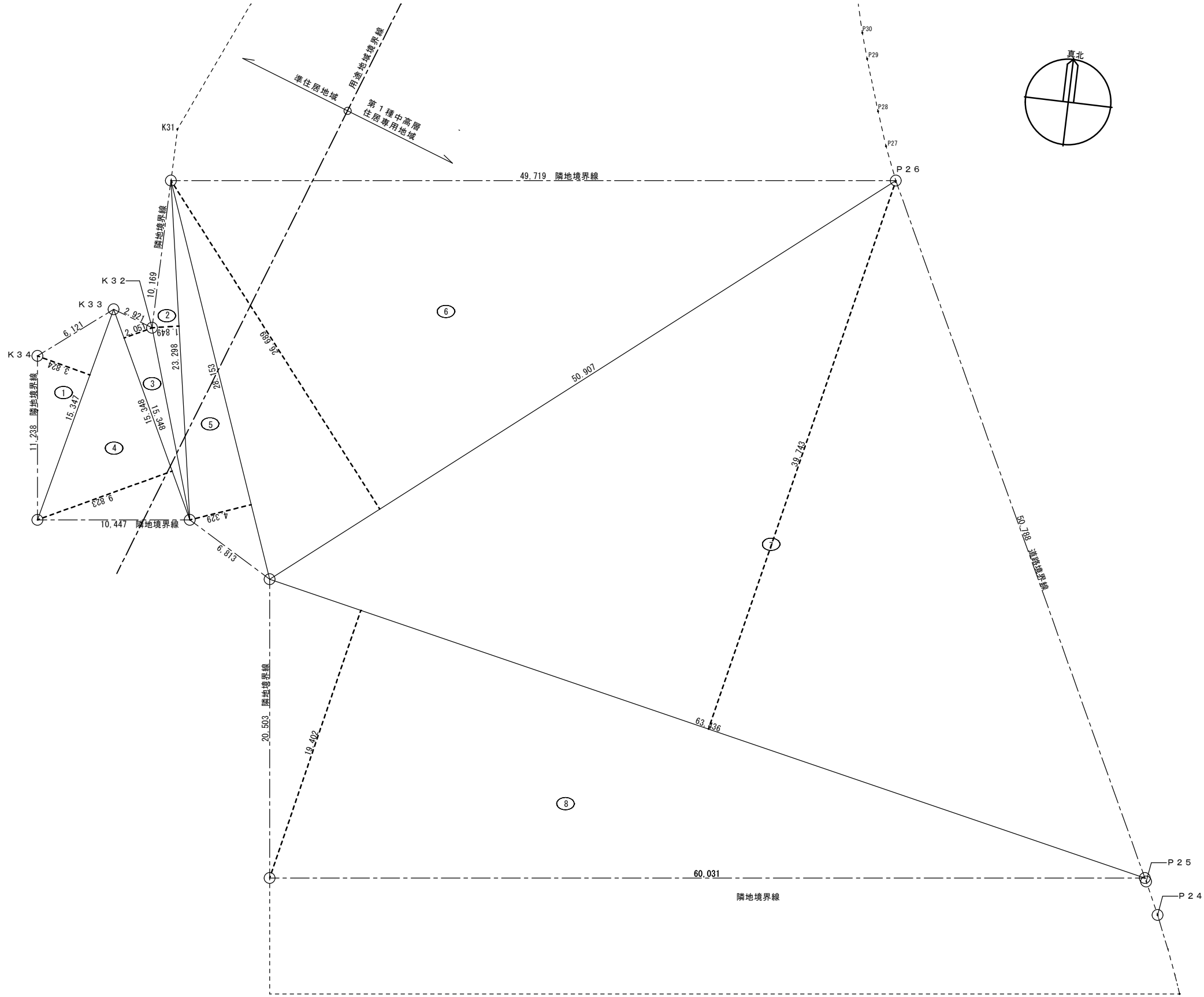
図面番号

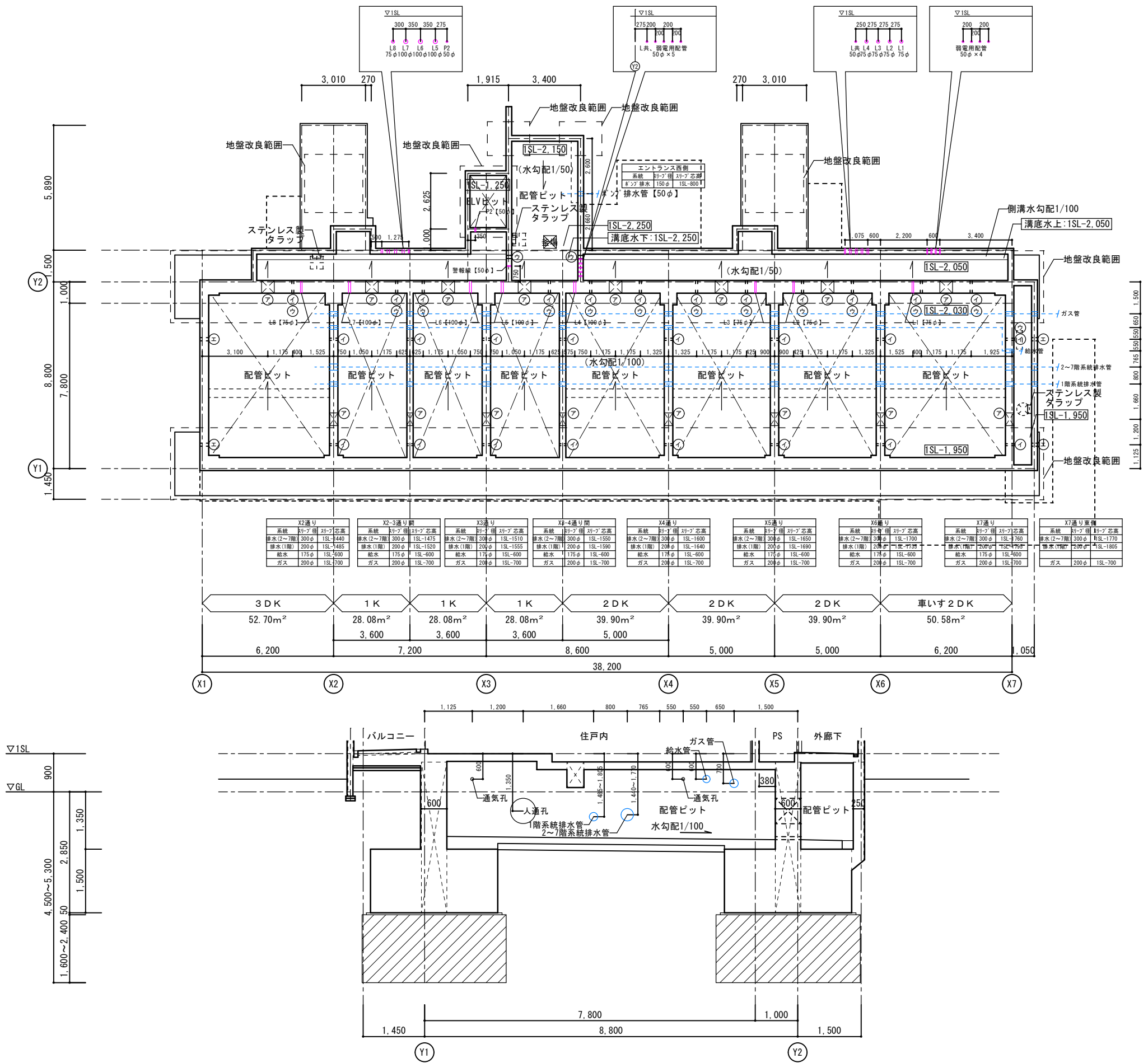
A-010



用途地域別求積表				
準住居地域				
番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
20	15.347	3.824	58.686928	29.3434640
21	14.943	6.573	98.220339	49.1101695
22	15.347	2.907	44.613729	22.3068645
23	25.999	5.358	139.302642	69.6513210
24	15.340	6.244	95.782960	47.8914800
合 計				218.3032990
敷 地 面 積				218.30 m ²
第1種中高層住居専用地域（敷地全体面積－準住居地域面積）				
2,758.23 m ² － 218.30m ² ＝ 2,539.93m ²				2,539.93m ²

敷地求積表					
番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積	
1	15.347	3.824	58.686928	29.3434640	
2	23.298	1.849	43.078002	21.5390010	
3	15.348	2.051	31.478748	15.7393740	
4	15.348	9.823	150.763404	75.3817020	
5	28.153	4.329	121.874337	60.9371685	
6	50.907	26.689	1,358.656923	679.3284615	
7	63.436	39.743	2,521.136948	1,260.5684740	
8	63.436	19.402	1,230.785272	615.3926360	
合 計				2,758.2302810	
敷 地 面 積				2,758.23 m ²	





■凡 例

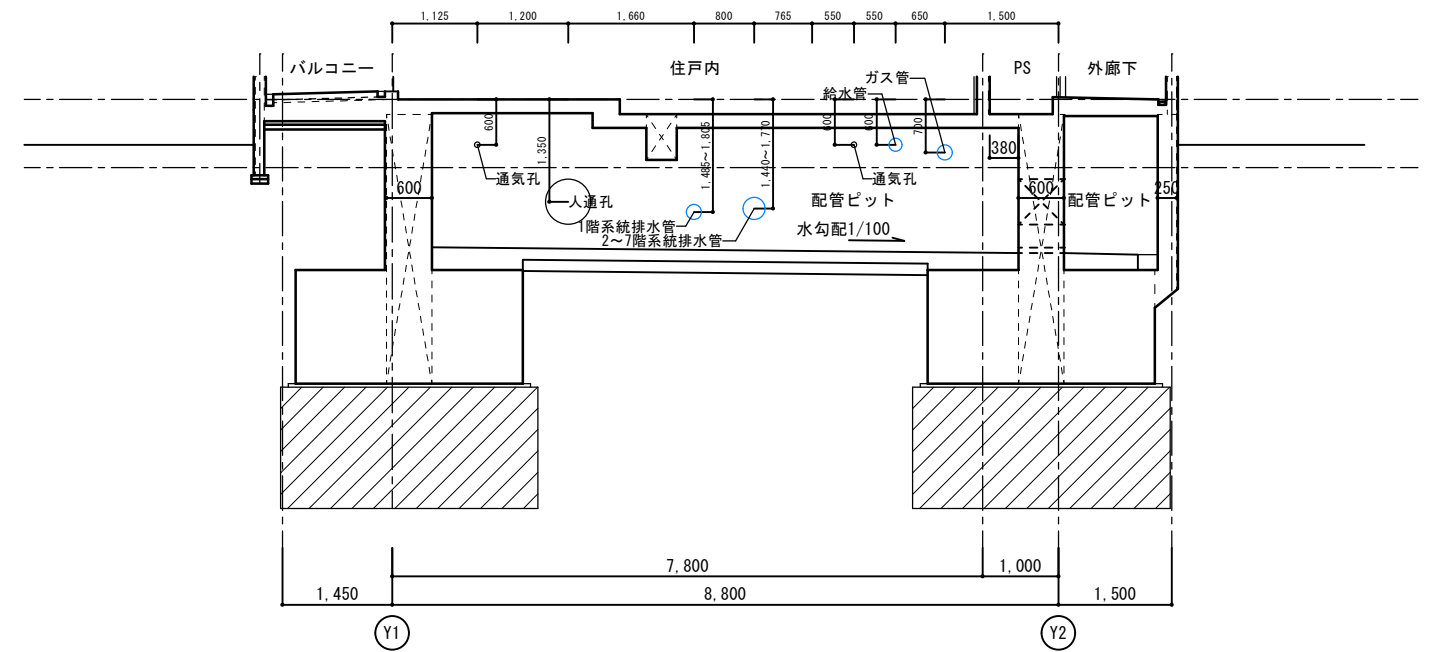
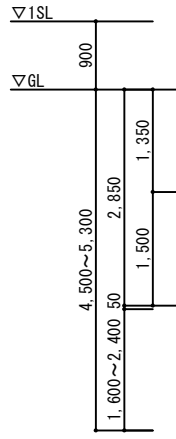
	上部 鋳鉄製マンホール 600φ
	上部 化粧マンホール □600
	人通孔 600φ
	上部通気孔 75φ
	通水管 150φ (半割)
	通気孔 150φ
	釜場 600×600×H500
	地盤改良範囲を示す。

※ピット外周部、地中部分のコンクリート打継部分は止水板を入れること。

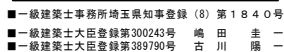
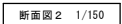
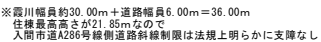
— 電気幹線【スリーブ 芯高ISL-600】

- 給水・排水・ガス【スリーブ 芯高※図による】

ピット平面図 1/100



ピット断面図 1/50



特記事項	埼玉県都市整備部営繕課					設 計	製作年月日	工事名称 O 5 県住入間霞川団地地盤改良工事	図面番号 A-022
	課 長	副課長	主 幹	主 査	担 当	担 当			
	榎 本	磐 城	大 橋	小野寺	岡 田	製 図	縮 尺 1/150 (A3版 50%縮小)	図面名称 断面図	



株式会社

- 一般建築士事務所埼玉県知事登録 (8) 第1840号
- 一般建築士大会登録第300243号
- 一般建築士大会登録第389790号

特記事項

埼玉県都市整備部営繕課

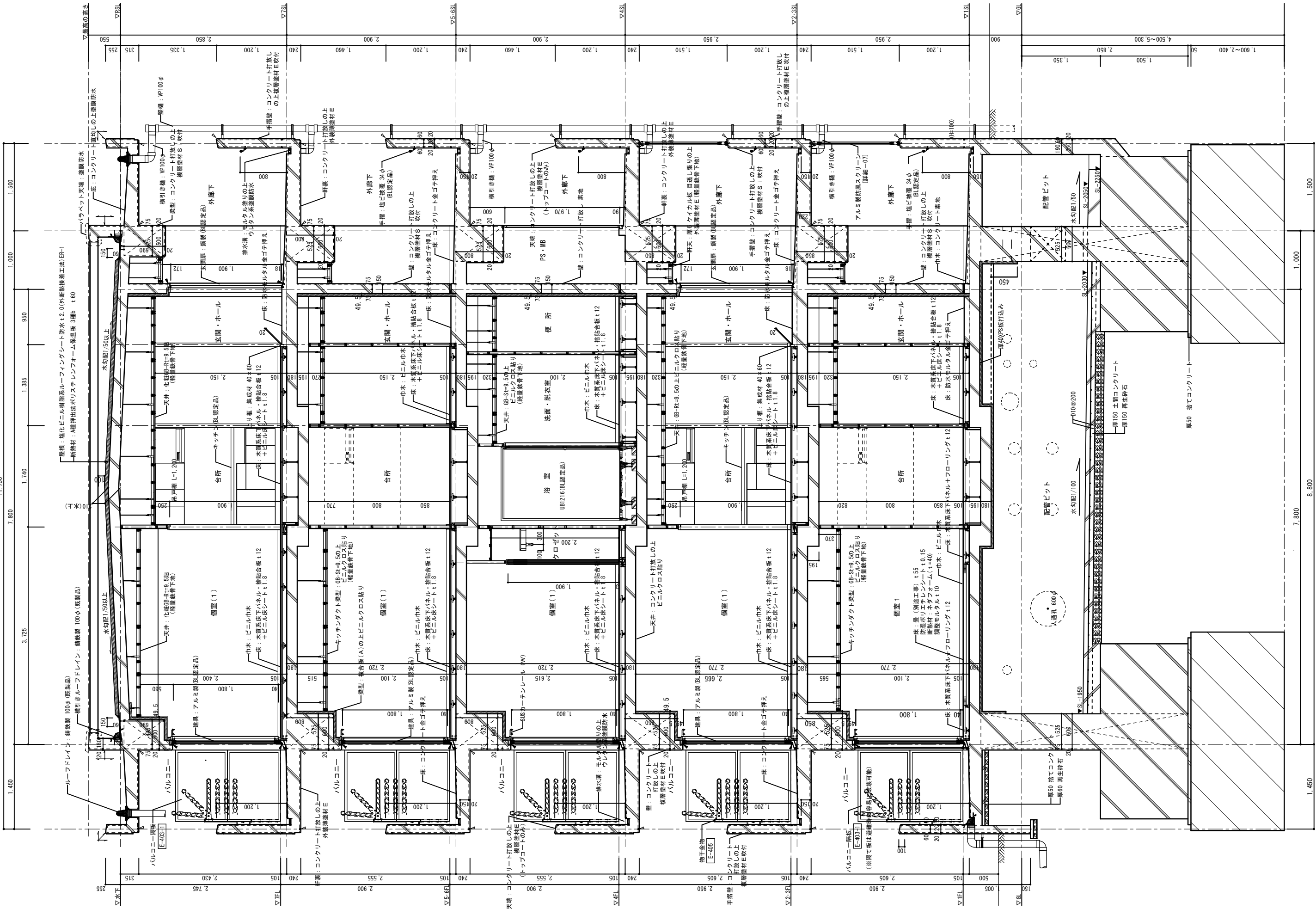
課長	副課長	主幹	主査	担当
榎本	磐城	大橋	小野寺	岡田

設計	監製
担	製

製作年月日
縮尺 1/30 (A3版 50%縮小)

工事名称
〇5県住入間霞川団地地盤改良工事
図面名称
1K 矩計図

図面番号
A-024





株式会社

- 一般建築士事務所埼玉県知事登録(8)第1840号
- 一般建築士大臣登録第300243号
- 一般建築士大臣登録第389790号

特記事項

埼玉県都市整備部営繕課

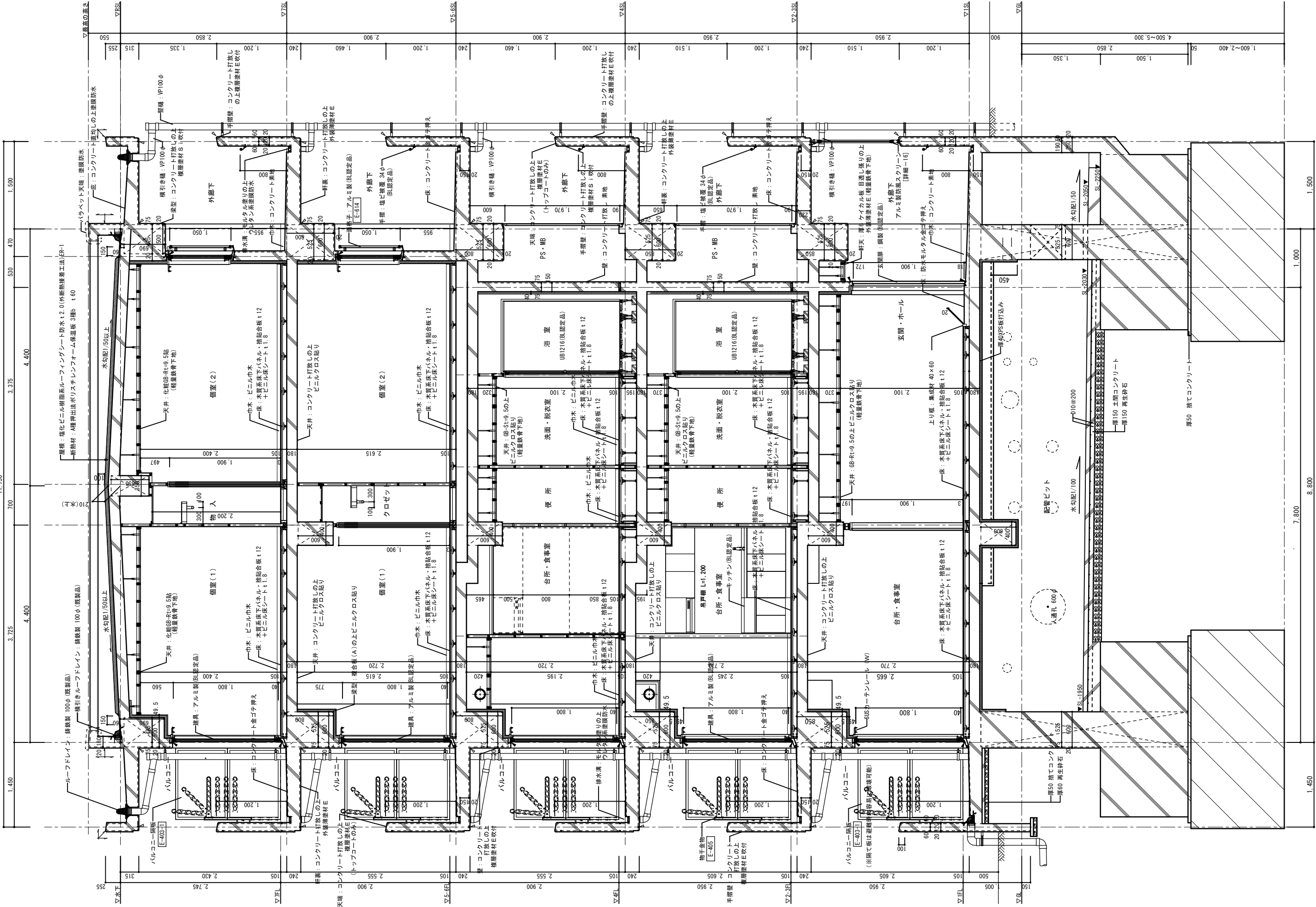
課長	副課長	主幹	主査	担当
榎本	磐城	大橋	小野寺	岡田

設計	製図
担	製

製作年月日
縮尺
1/30
(A3版 50%縮小)

工事名称
05県住入間霞川団地地盤改良工事
図面名称
2DK 矩計図

図面番号
A-027





株式会社

- 一般建築士事務所埼玉県知事登録 (8) 第1840号
- 一般建築士大臣登録第300243号
- 一般建築士大臣登録第389790号

特記事項

埼玉県都市整備部営繕課

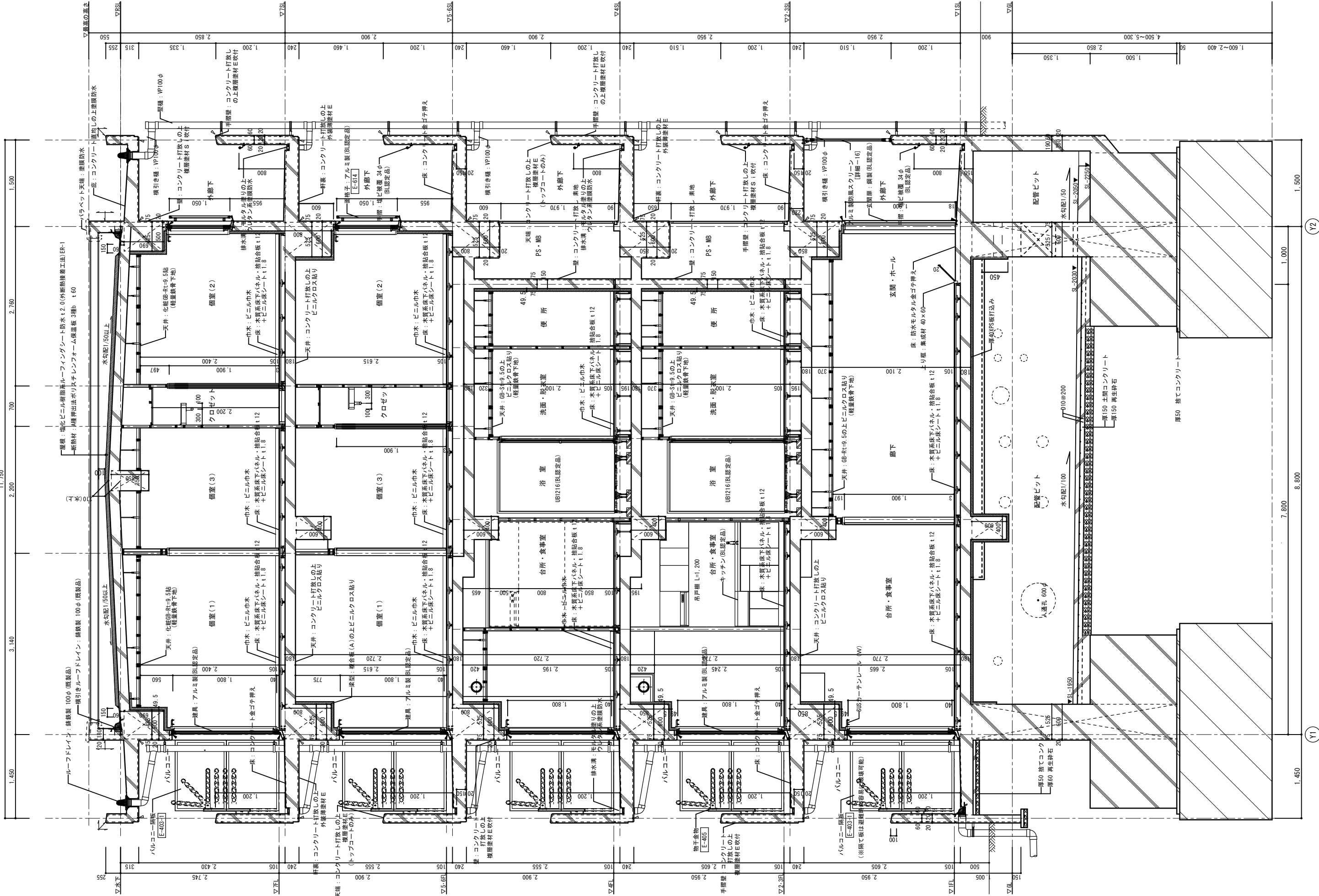
課長	副課長	主幹	主査	担当
榎本	磐城	大橋	小野寺	岡田

設計	製図
担出	製図

製作年月日
縮尺
1/30
(A3版 50%縮小)

工事名称
O5県住人間霞川団地地盤改良工事
図面名称
3DK 矩計図

図面番号
A-030





株式会社

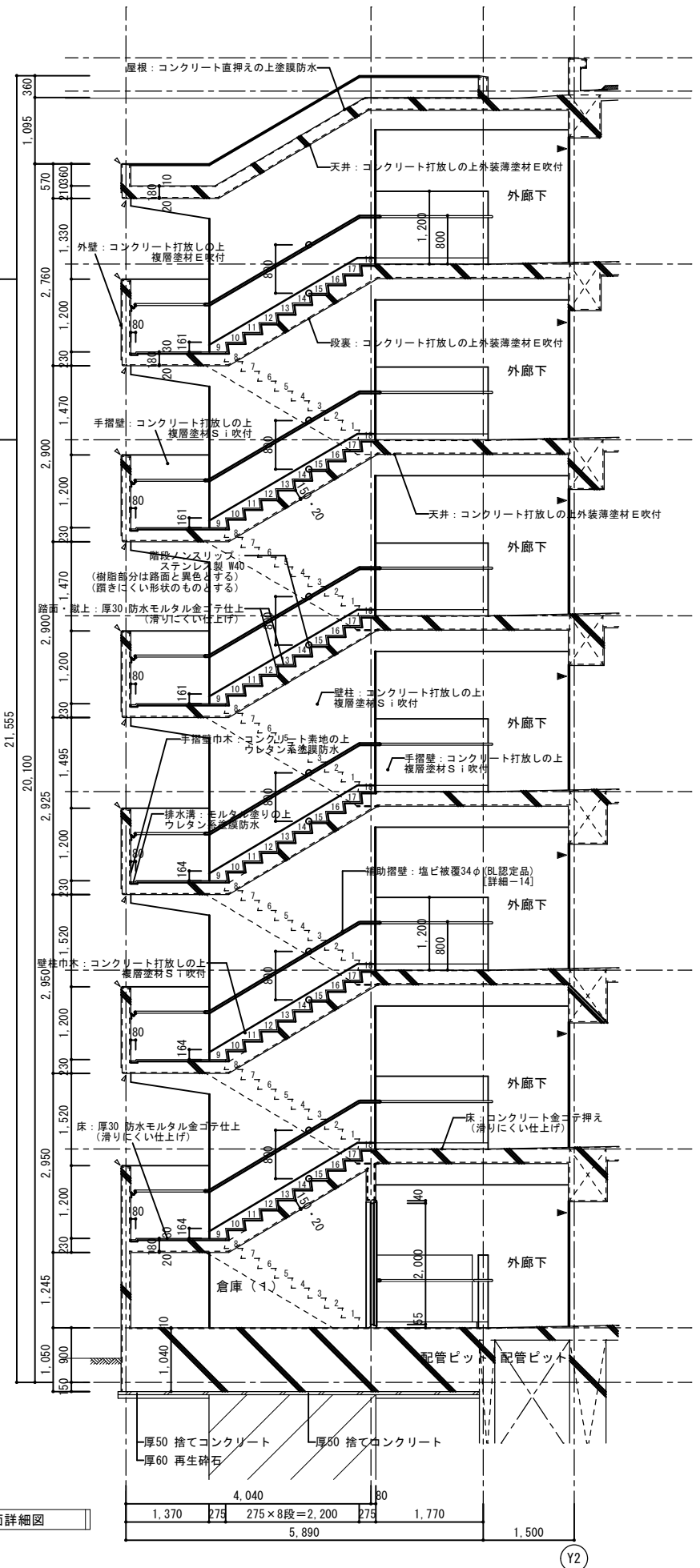
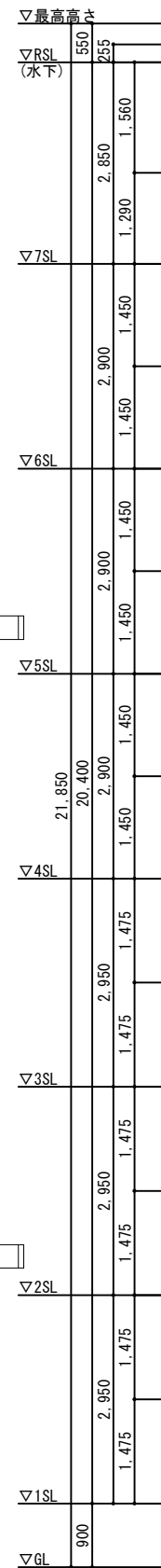
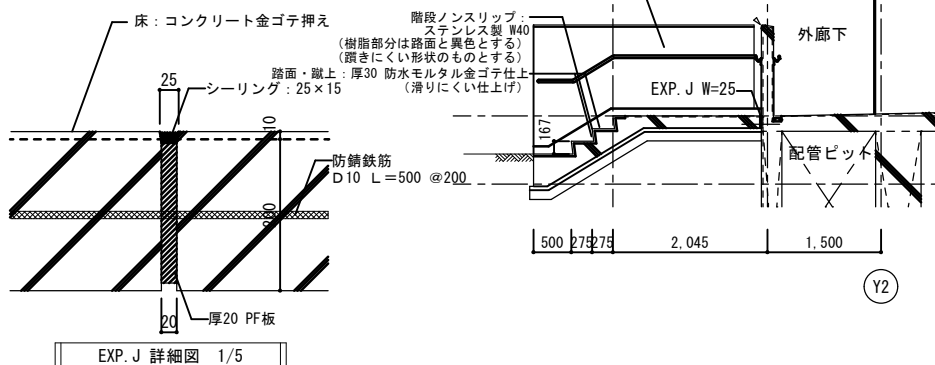
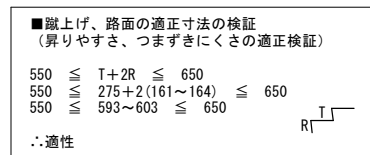
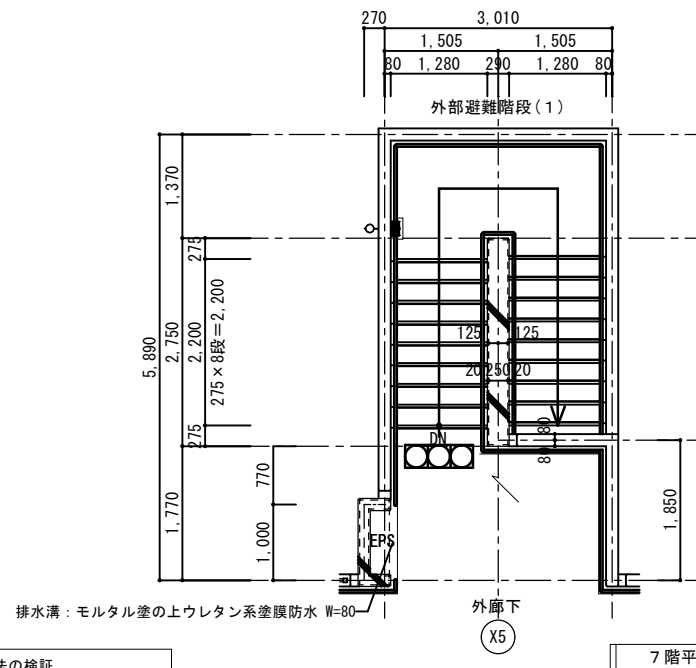
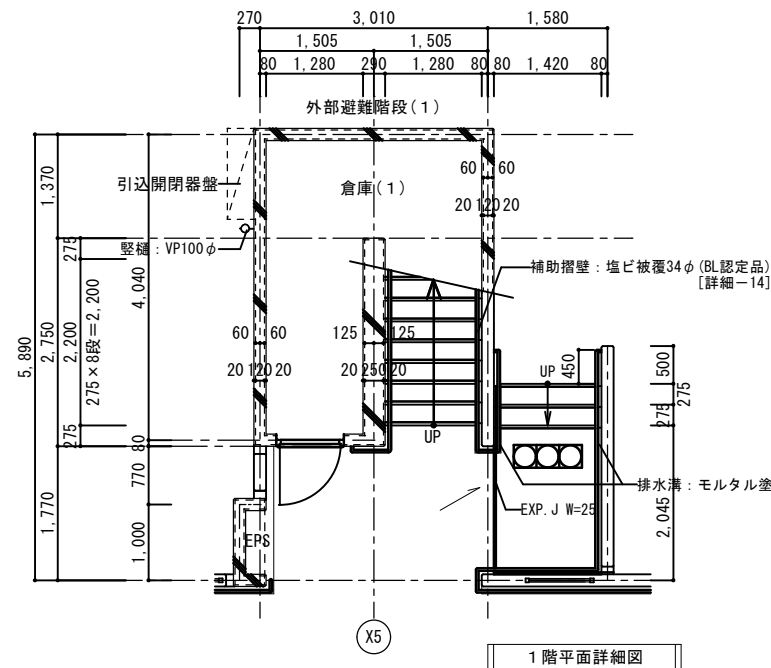
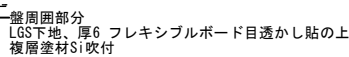
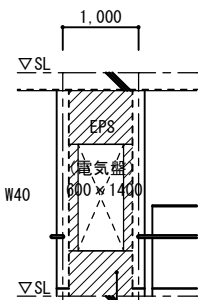
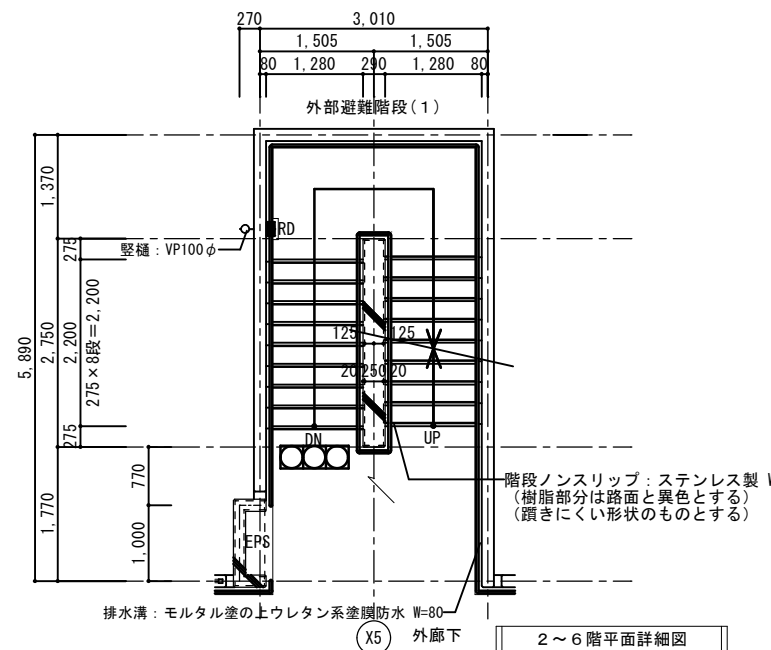
- 一般建築士事務所埼玉県知事登録(8)第1840号
- 一般建築士大臣登録第300243号
- 一般建築士大臣登録第389790号

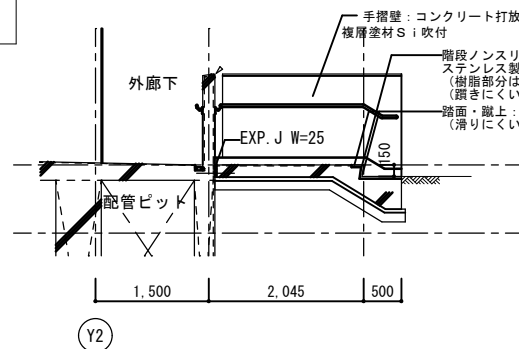
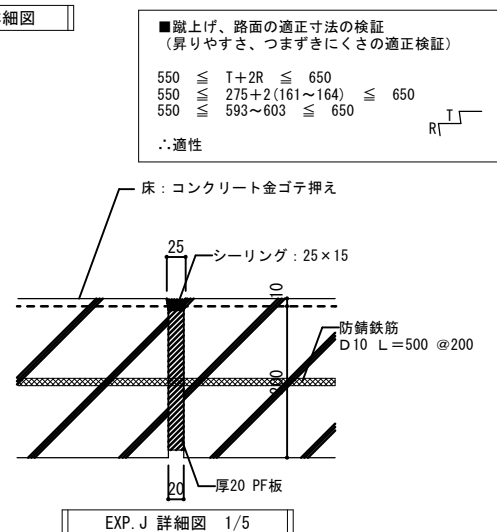
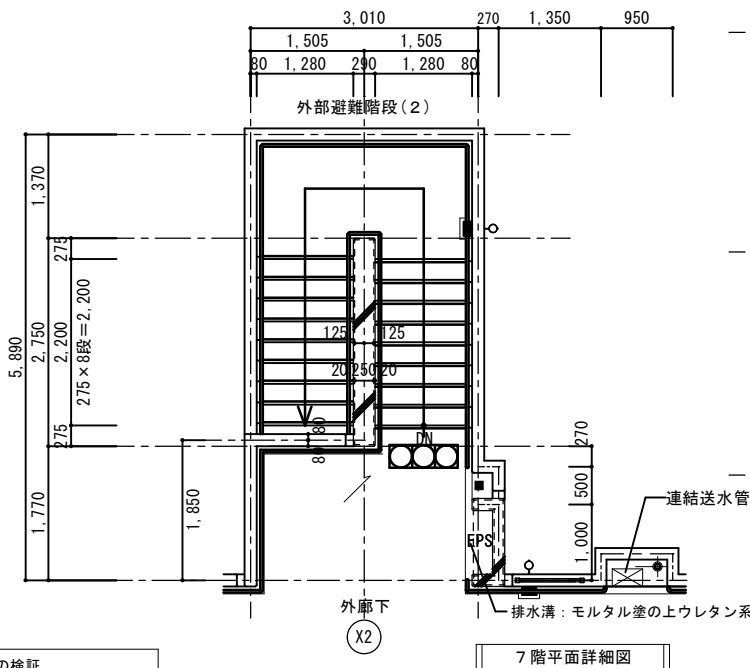
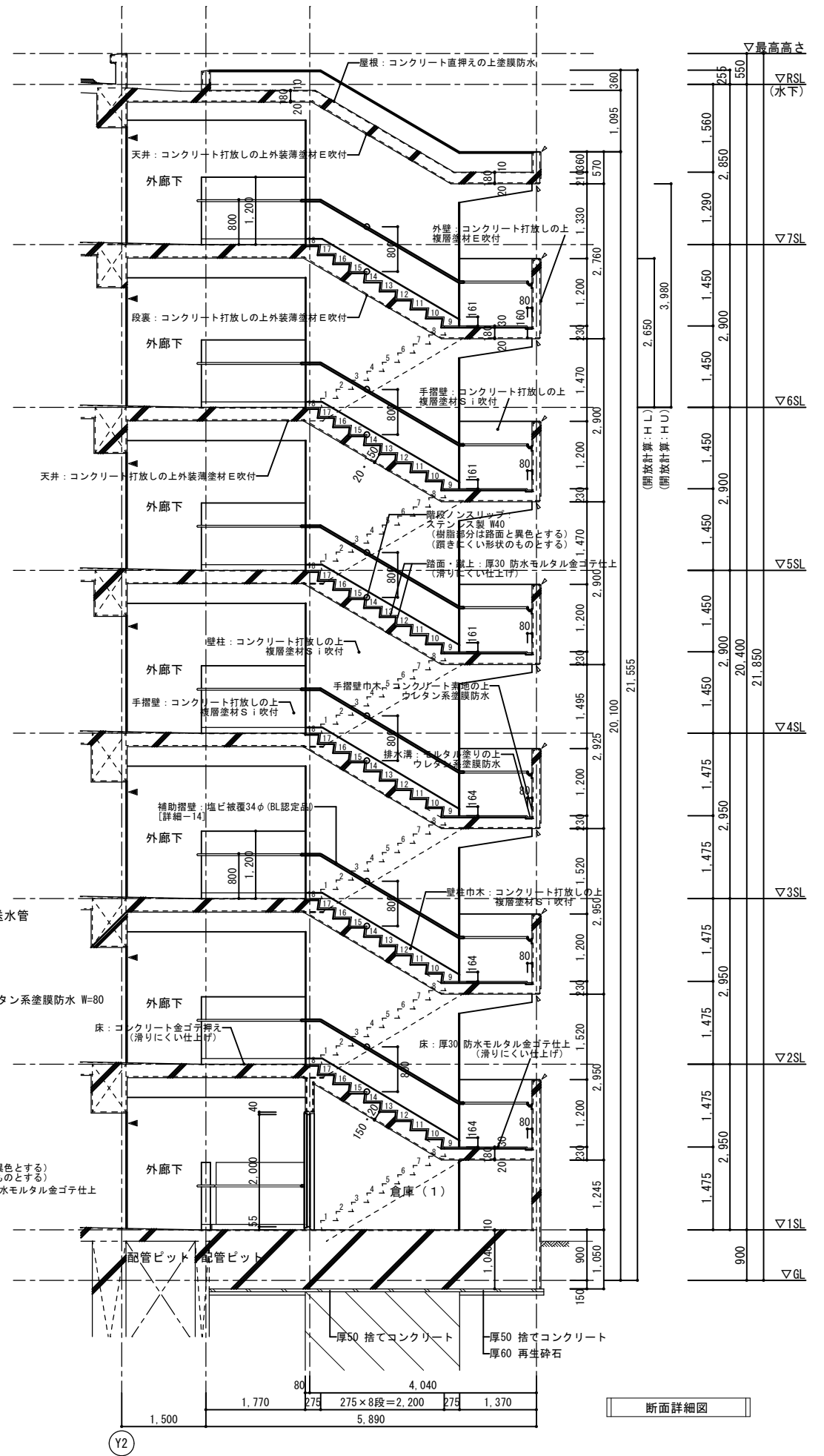
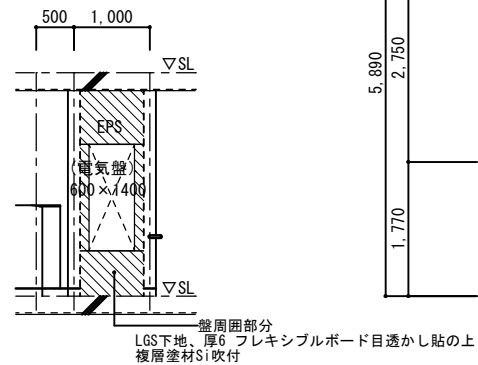
田川 一

特記事項				

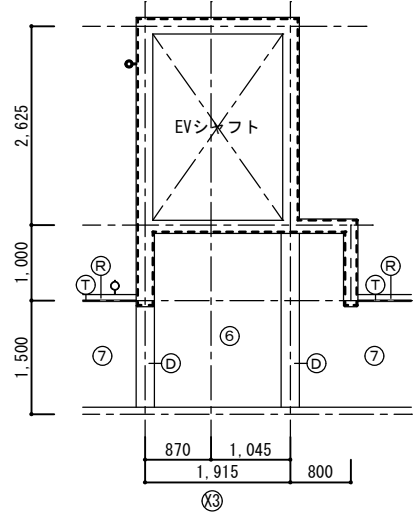
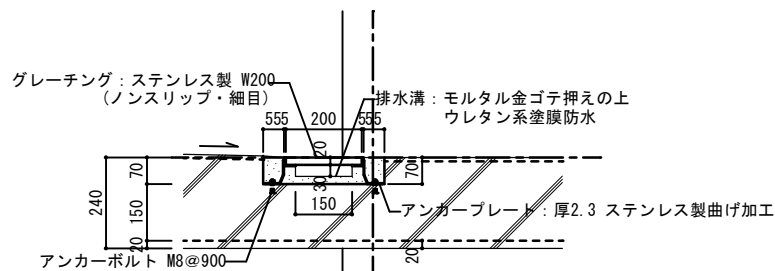
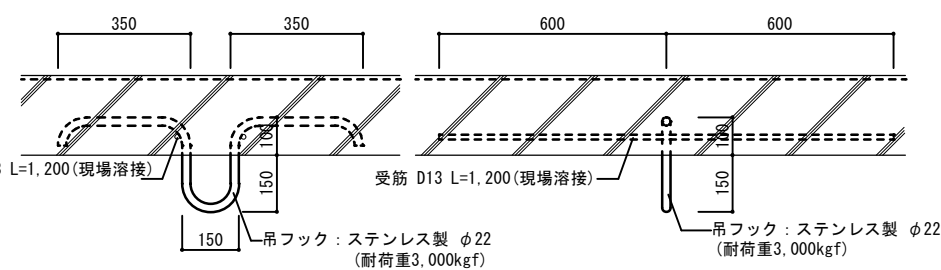
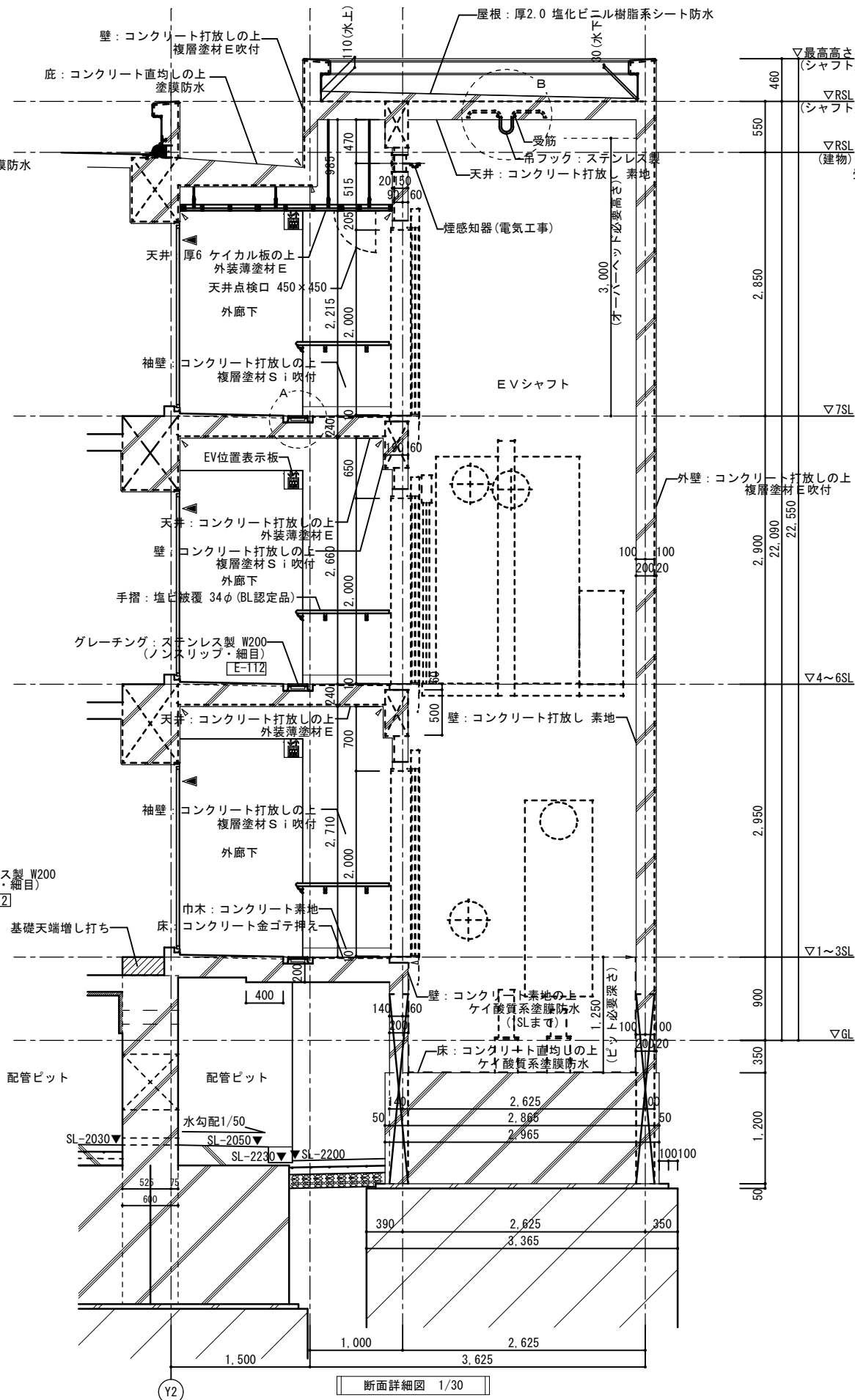
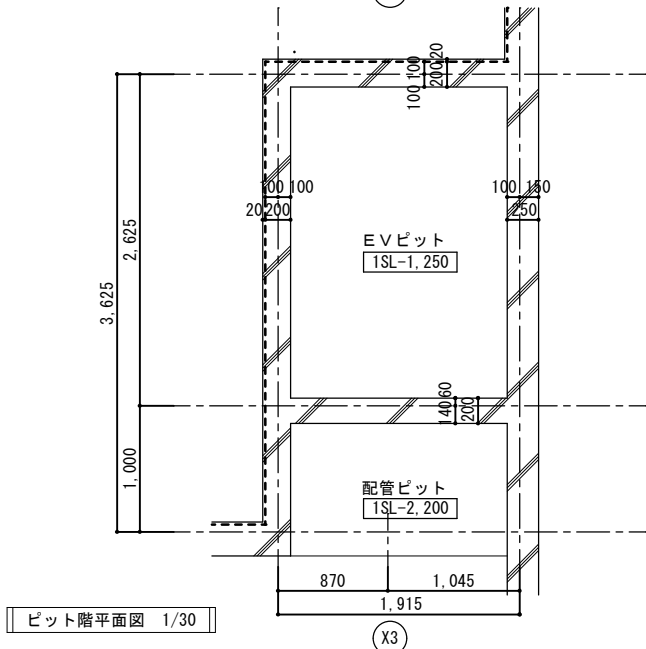
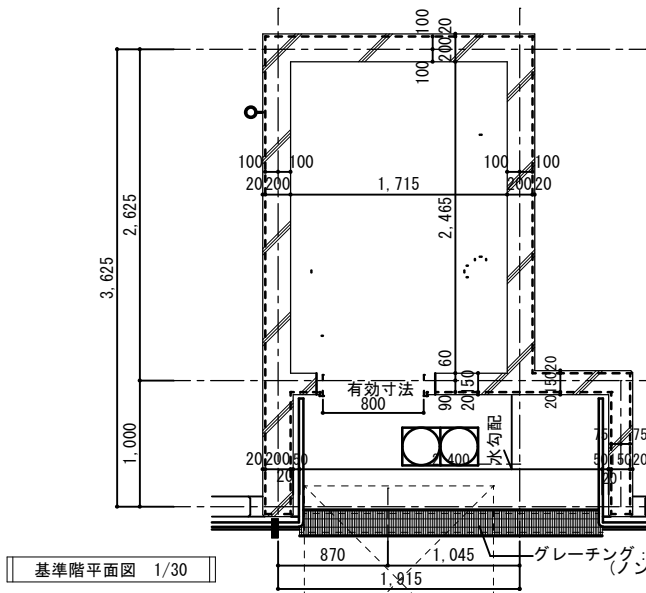
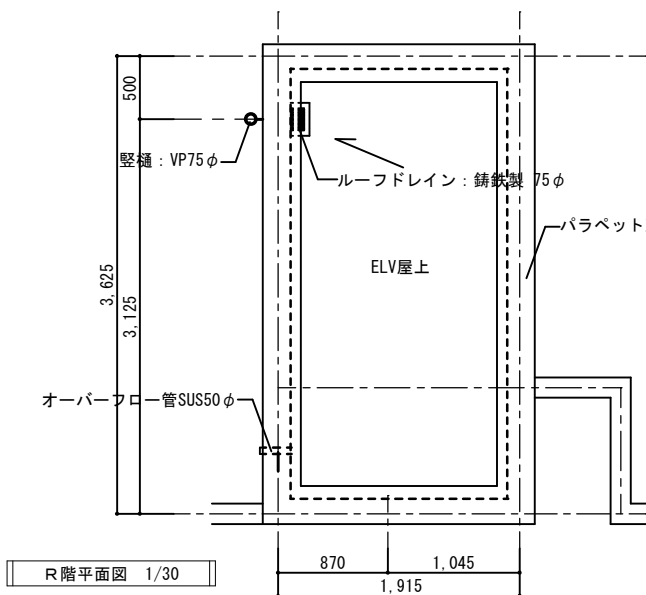
埼玉県都市整備部営繕課					設計	製作年月日	工事名称	図面番号
課長	副課長	主幹	主査	担当				
榎本	磐城	大橋	小野寺	岡田	担	縮尺 1/30 (A3版 50%縮小)	〇5県住入間霞川団地地盤改良工事 図面名称 車いす2DK 矩計図	A-033
					製図			





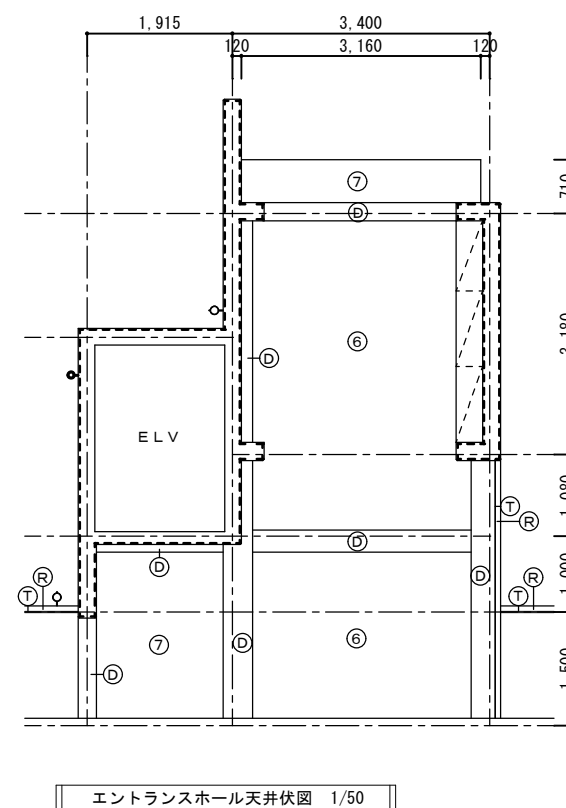
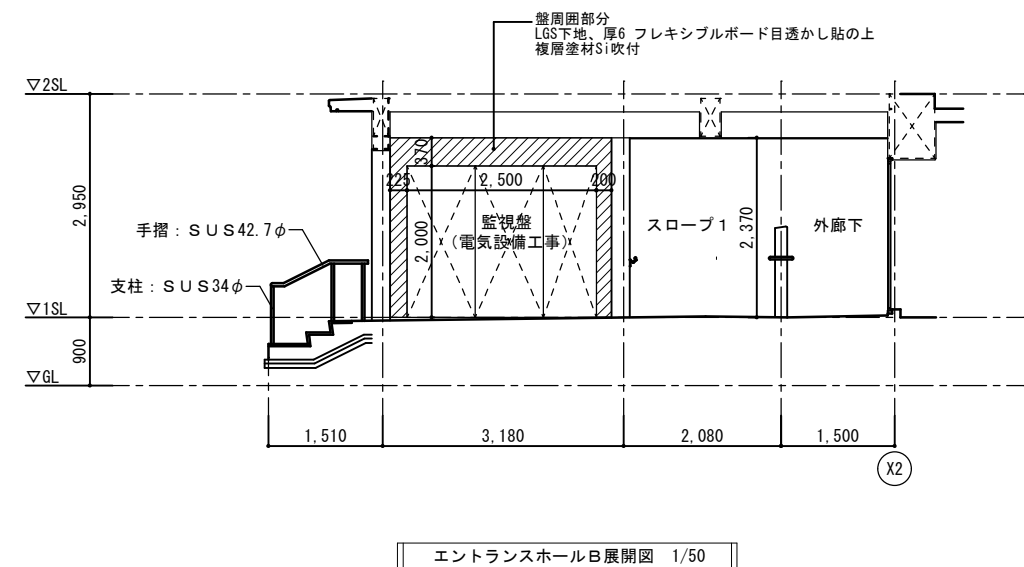
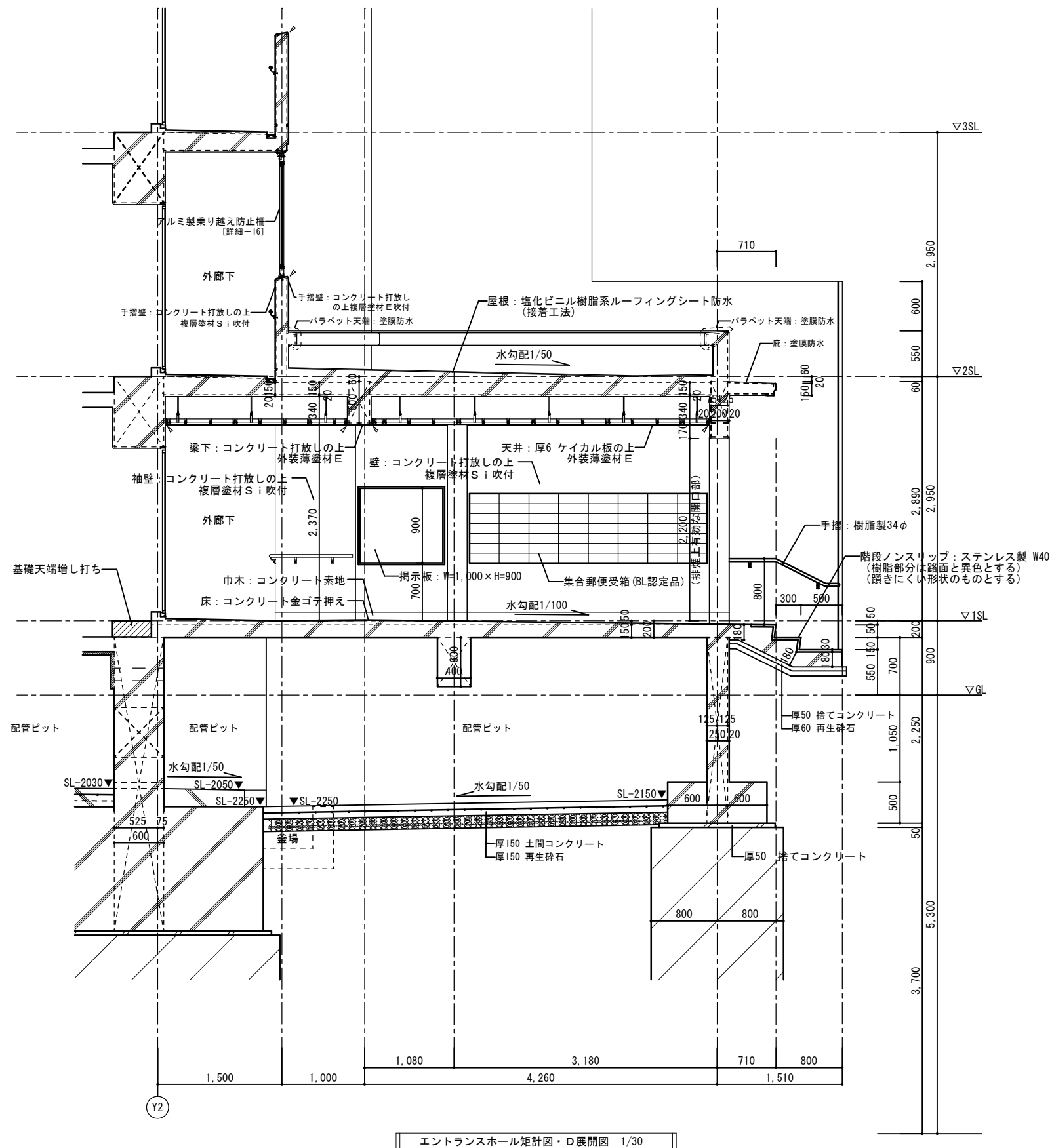


TAC 株式会社  ■一級建築士事務所埼玉県知事登録（第1840号） ■一級建築士大臣登録第300243号 嶋田圭一 ■一級建築士大臣登録第389790号 古川陽二	特記事項	埼玉県都市整備部営繕課					設 計		製作年月日	工事名称 O 5 県住入間霞川団地地盤改良工事 図面名称 屋外階段詳細図（2）	図面番号 A-038
	1. ◀ は、階数表示板 アクリル製 150×150 平付け型取付位置を示す。	課 長	副課長	主 幹	主 査	担 当					
		榎 本	磐 城	大 橋	小野寺	岡 田					
						製 図	縮 尺 1/50・1/5 (A3版 50%縮小)				

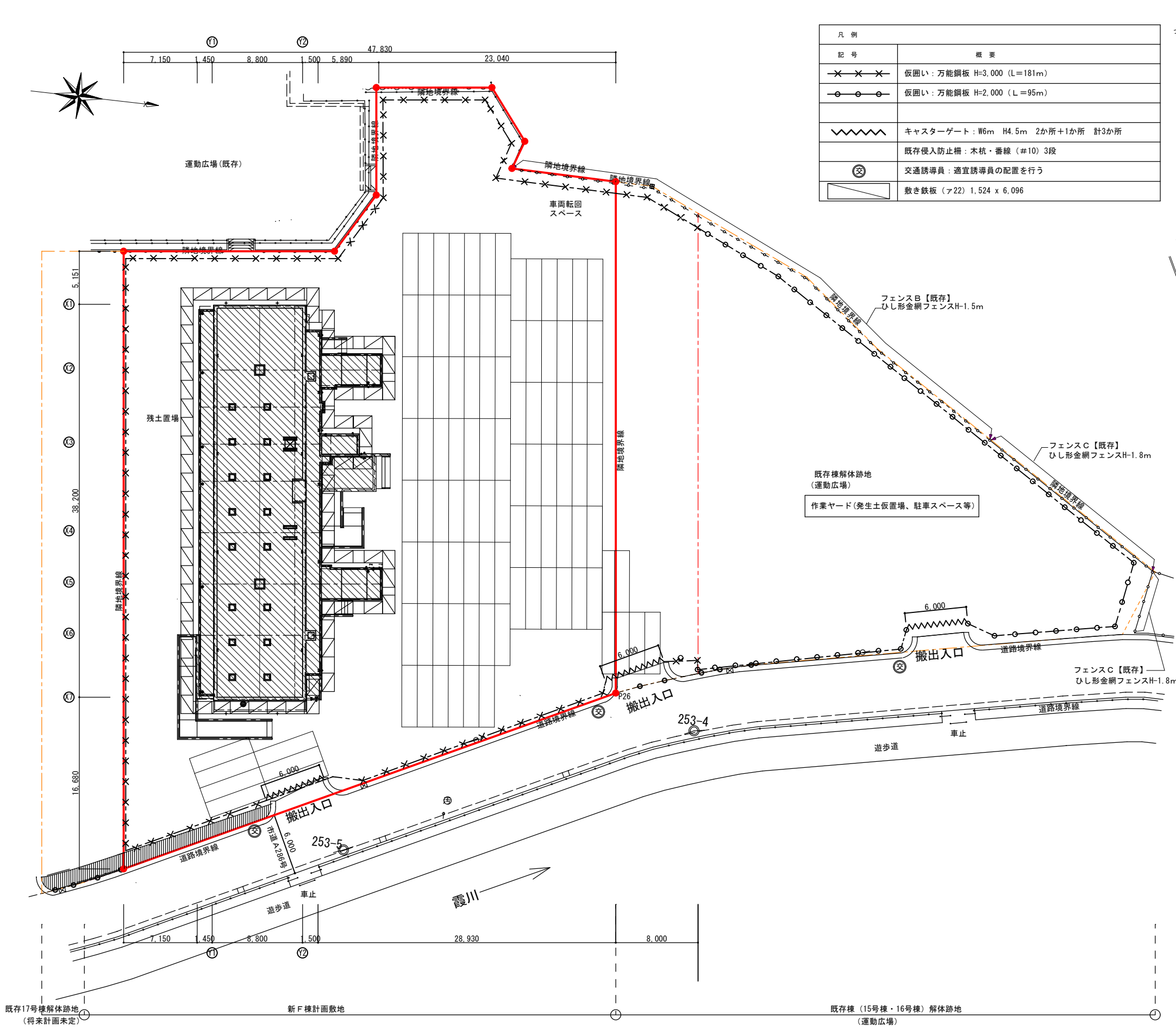


記号	仕 上
⑥	LGS下地+厚6 ケイカル板 目透し張りの上外装薄塗材 E
⑦	コンクリート打放しの上外装薄塗材 E
①	梁: コンクリート打放しの上 複層塗材 S i
②	梁: コンクリート打放しの上 外装薄塗材 E
③	はな: コンクリート打放し 複層塗材 E
④	誘発目地: 20×20
⑤	化粧目地: 20×20

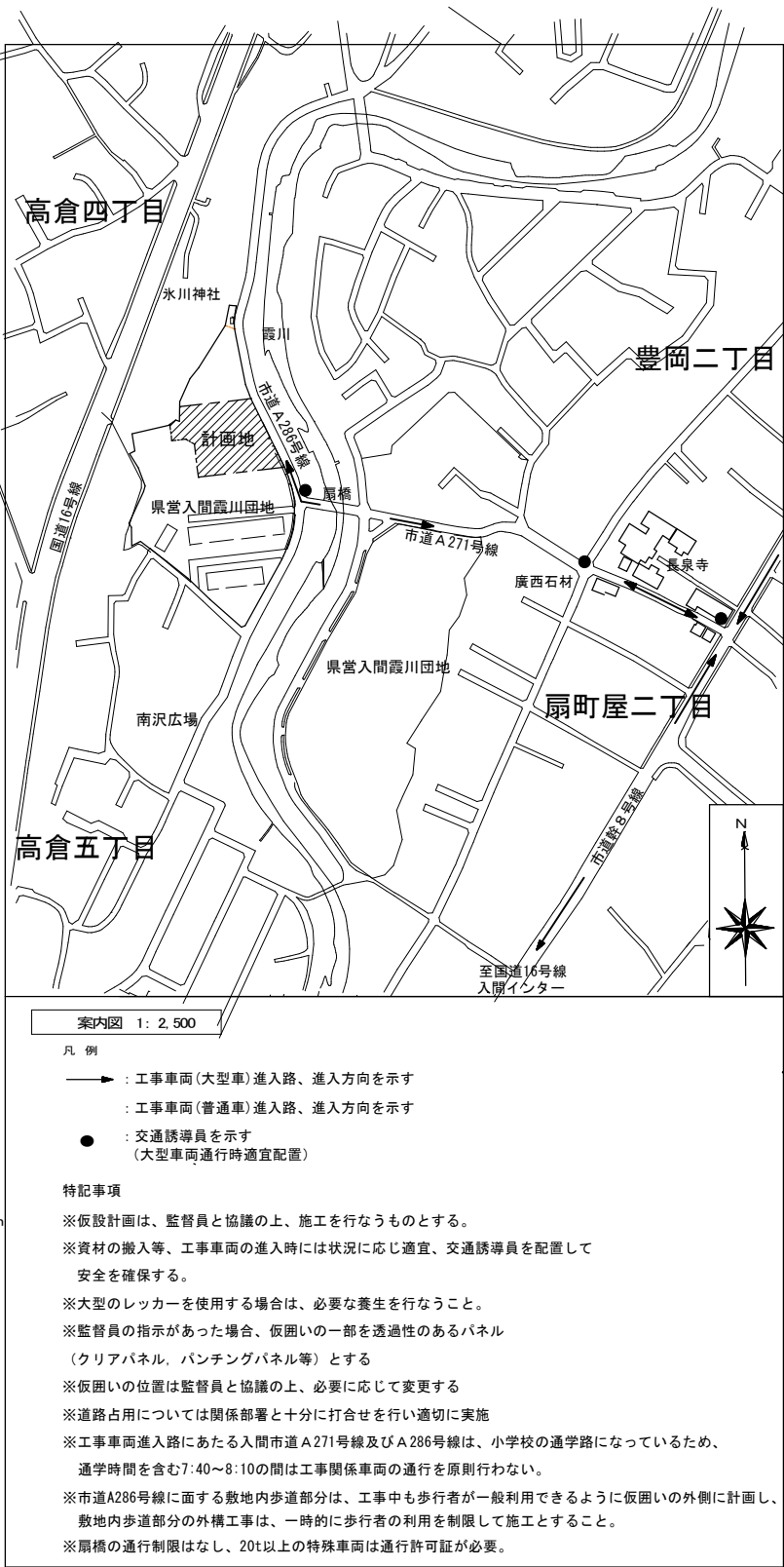
7階EVホール天井伏図 1/50



記号	仕 上
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	LGS下地+厚6 ケイカル板 目透し張りの上外装薄塗材E
⑦	コンクリート打放しの上外装薄塗材E
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	
⑬	
⑭	
(A)	
(B)	
(C)	梁：コンクリート打放しの上 複層塗材S i
(D)	梁：コンクリート打放しの上 外装薄塗材E
(E)	
(F)	
(G)	
(H)	
(I)	
(J)	
(K)	
(L)	
(M)	
(N)	
(O)	
(P)	
(Q)	
(R)	はな：コンクリート打放し 複層塗材E
(S)	誘発目地：20×20
(T)	化粧目地：20×20

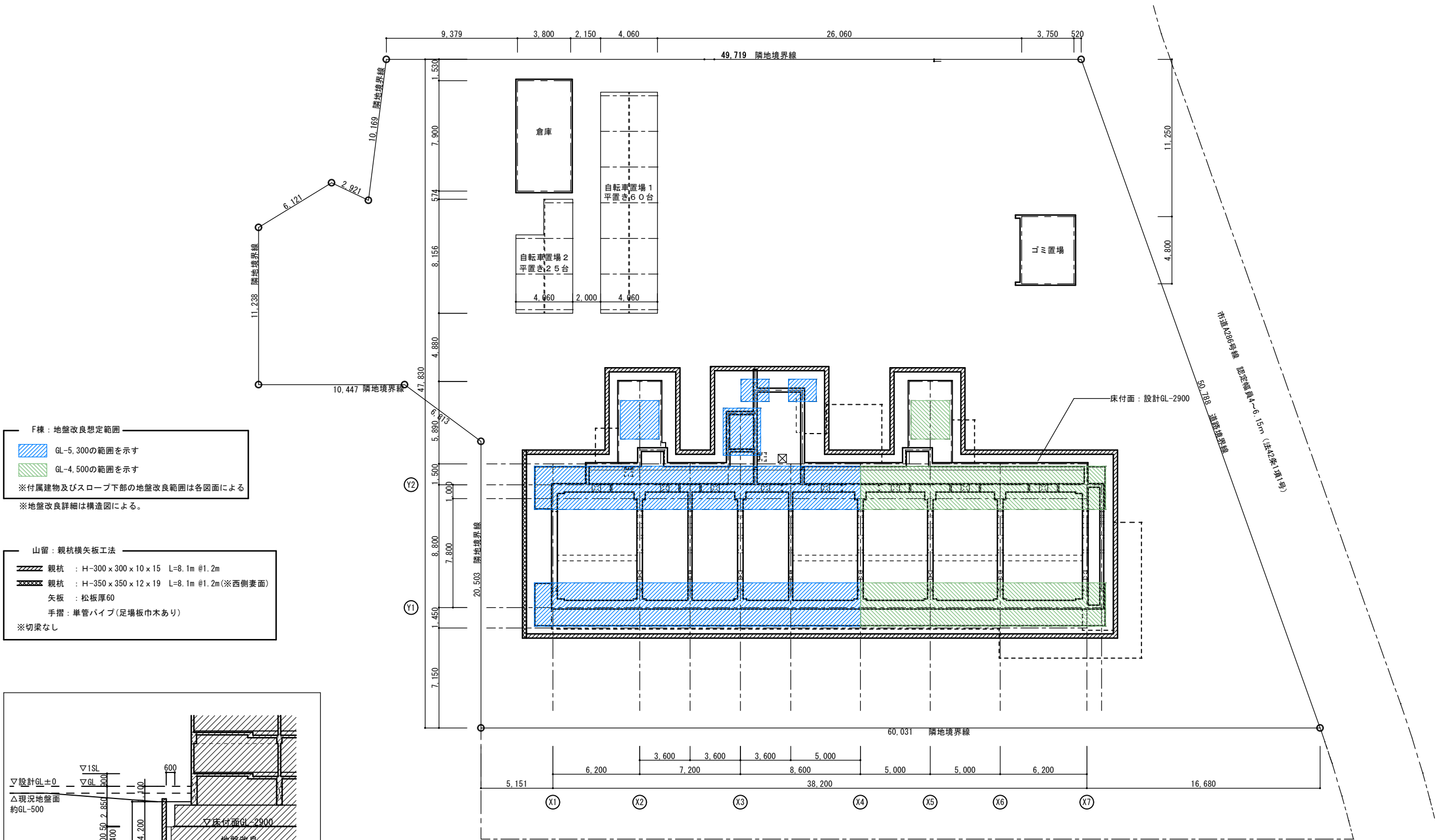


凡 例	
記 号	概 要
—X—X—X—	仮囲い：万能鋼板 H=3,000 (L=181m)
—○—○—○—	仮囲い：万能鋼板 H=2,000 (L=95m)
~~~~~	キャスターゲート：W6m H4.5m 2か所+1か所 計3か所
	既存侵入防止柵：木杭・番線（#10）3段
⊗	交通誘導員：適宜誘導員の配置を行う
▨	敷き鉄板（ア22）1,524 x 6,096



案内図 1: 2,500	
凡 例	
→	：工事車両(大型車)進入路、進入方向を示す
→	：工事車両(普通車)進入路、進入方向を示す
●	：交通誘導員を示す (大型車両通行時適宜配置)
特記事項	
※仮設計画は、監督員と協議の上、施工を行なうものとする。	
※資材の搬入等、工事車両の進入時には状況に応じ適宜、交通誘導員を配置して安全を確保する。	
※大型のレッカーを使用する場合は、必要な養生を行なうこと。	
※監督員の指示があった場合、仮囲いの一部を透過性のあるパネル（クリアパネル、バンチングパネル等）とする	
※仮囲いの位置は監督員と協議の上、必要に応じて変更する	
※道路占用については関係部署と十分に打合せを行い適切に実施	
※工事車両進入路にあたる入間市道A271号線及びA286号線は、小学校の通学路になっているため、通学時間を含む7:40～8:10の間は工事関係車両の通行を原則行わない。	
※市道A286号線に面する敷地内歩道部分は、工事中も歩行者が一般利用できるように仮囲いの外側に計画し、敷地内歩道部分の外構工事は、一時的に歩行者の利用を制限して施工とすること。	
※扇橋の通行制限はなし、20t以上の特殊車両は通行許可証が必要。	

TAC   株式会社 タック   ■一般建築士事務所埼玉県知事登録(8)第1840号 ■一般建築士大臣登録第300243号 嶋田 圭一 ■一般建築士大臣登録第389790号 古川 陽一	特記事項		埼玉県都市整備部営繕課					製作年月日  縮 尺 1/200 (A3版 50%縮小)	工事名称 O5県住入間霞川団地地盤改良工事 図面名称 仮設計画図(参考図)	図面番号 A-073
			課 長	副課長	主 幹	主 査	担 当			
			榎 本	磐 城	大 橋	小野寺	岡 田			



F棟：地盤改良想定範囲

GL-5,300の範囲を示す

GL-4,500の範囲を示す

※付属建物及びスロープ下部の地盤改良範囲は各図面による

※地盤改良詳細は構造図による。

山留：親杭横矢板工法

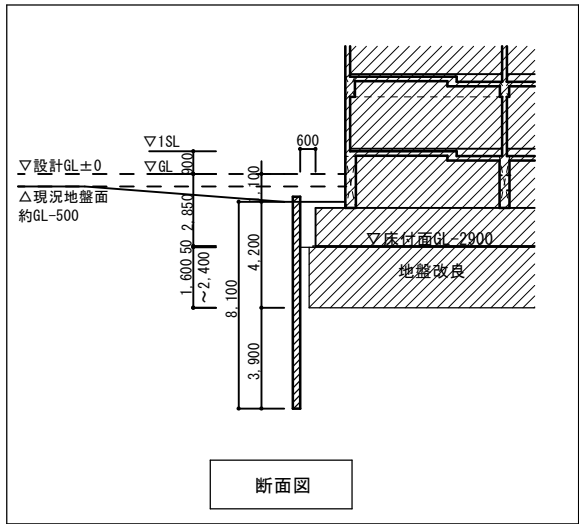
親杭：H-300×300×10×15 L=8.1m @1.2m

親杭：H-350×350×12×19 L=8.1m @1.2m(※西側妻面)

矢板：松板厚60

手摺：単管パイプ(足場板巾木あり)

※切梁なし



TAC   株式会社 タック   ■一級建築士事務所埼玉県知事登録(8)第1840号   ■一級建築士大臣登録第300243号 嶋田圭一   ■一級建築士大臣登録第389790号 古川陽一	特記事項				埼玉県都市整備部営繕課					設 計	製作年月日	工事名称  O5県住人間霞川団地地盤改良工事  図面名称  山留計画図(参考図)	図面番号  A-074
					課 長	副課長	主 幹	主 査	担 当	担 当			
					榎 本	磐 城	大 橋	小野寺	岡 田	製 図			

工 事 名

O 5 県住入間霞川団地地盤改良工事

特記仕様書（構造関係）

I 建物概要

1. 主要用途

共同住宅

2. 工事場所

埼玉県入間市高倉4丁目地内

3. 棟名称及び構造・階数等

棟RC造7階建て（地下0階・PHO階）  
構造・階数等A-002図による。

建築面積	m ²
延べ面積	m ²
床面積	階m ²
	階m ²
	階m ²
建物高さ	m軒高さm
工事種別	○新築・増築・改築・移転
増築計画	○有り・無し
構造種別	地上RC造地下造
架構型式	X方向ラーメン構造 Y方向ラーメン構造
耐震構造方式	○耐震構造・免震構造・制振構造
耐震安全性の分類	Ⅰ類(Ⅰ=1.50)Ⅱ類(Ⅰ=1.25)○Ⅲ類(Ⅰ=1.00)

4. 構造計算条件

a 耐震設計条件

地震荷重	建物一次固有周期( )秒
地盤種別	第( 2 )種地盤
地域係数	Z=1.00
計算ルート	X方向※許容応力度計算（ルート3） ・その他
Y方向	※許容応力度計算（ルート3） ・その他

c 耐風設計条件

基準風速（V）	( 32 ) m/秒
地表面粗度区分	ⅠⅡ○ⅢⅣ

c 耐積雪設計条件

建設地の標高	( 12 ) m
多雪区域の指定	・有り○無し
設計垂直積雪量	( 30 ) cm

5. 地盤調査資料

調査内容	○サウンディング（※標準貫入試験） ○土質試験・孔内水平載荷試験・平板載荷試験
調査位置	構造図（土質柱状図）による
ボアリング柱状図	
液状化対策の検討	・有り○無し

II 建築工事仕様

（1）質問回答書、本特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、全て埼玉県建築工事特別共通仕様書及び公共住宅建設工事共通仕様書（令和元年版版。以下、「共通仕様書」という。）による。  
なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。  
（2）共通仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。  
（3）特記仕様書の表記  
1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。  
2）特記事項に記載の（ ）内の表示番号は、埼玉県建築工事特別共通仕様書の当該項目、当該図表を示す。  
3）特記事項に記載の（ ）内の表示番号は、共通仕様書の当該項目、当該図表を示す。  
4）特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。  
○印と◎印が付いた場合は、共に適用する。○印と※印の場合は、○印のみを適用する。  
5）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（ ）内は製品名を示す。  
6）☐は「特定調達物品等」を表す。  
7）注は共通仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。

章項目特記事項

④① 支持地盤等

・杭基礎  
支持地盤の位置及び種類(基礎ぐいの先端の位置含む)  
・図示による(土質柱状図)  
○直接基礎  
支持地盤の位置及び種類(基礎底部の位置含む)  
○図示による(S-007、008図)  
試験掘り(根切り底の状態の確認等)  
○行方(位置等・図示による)  
○施工中に支持地盤のサンプルを採取して、目視にて確認する。  
長期設計支持力度・(400)kN/m²  
・地盤の平板載荷試験( )箇所  
位置、深さ、対象地盤及び最大載荷荷重※図示  
試験の方法、報告書の記載事項等※図示  
・液状化対策  
工法、施工範囲、仕様及び計測、試験等※図示

2 既製コンクリート杭地業

種類  
・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭）  
・プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭）  
・外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭）  
SC杭の鋼管材料・SKK400・SKK490  
寸法、継手、性能等（種別・種類、性能及び曲げ強度区分）  

	種類	コンクリート強度(N/mm ² )	鋼管厚(mm)	杭径(mm)	杭長(m)	継手数	わ数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭 中杭 下杭								
本杭	上杭 中杭 下杭				(杭リスト参照)				

  
杭先端部形状  
・開放形・半開放形・閉そく形  
施工方法  
・セメントミルク工法  
試験杭の位置・図示による( )  
掘削深さ・図示による( )  
杭の支持層への根入れ深さ  
・図示による( )  
杭の精度  
水平方向の位置ずれ寸法・杭径の1/4かつ100mm以下  
杭の傾斜・1/100以内  
根固め液及び杭周囲定液の管理試験  
※共通仕様書4.3.4(6)(3)による  
・特定埋込杭工法  
・図示による( )  
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持方式でα=250を採用できる工法  
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持方式の内α、β、γが下記の値を採用できる工法  
α=( )、β=( )、γ=( )  
工法  
・プレボーリング拡大根固め工法  
・中掘り拡大根固め工法  
・杭周固定液・使用する・使用しない  
試験杭の位置・図示による( )  
杭の支持層への根入れ深さ  
・図示による( )  
杭の精度  
水平方向の位置ずれ寸法・杭径の1/4かつ100mm以下  
※評定等の内容による  
杭の傾斜・1/100以内  
※評定等の内容による  
杭の継手の工法  
・アーク溶接継手  
溶接材料  
・共通仕様書7.2.5(1)、(2)による・図示による( )  
・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)  
工法  
※評定等を受けた工法  
検査  
※評定等により定められた項目  
施工  
※評定等をされた施工管理基準による  
杭頭の処理  
・処理する  
処理方法（切断にともなう補強方法含む）  
・図示による( )  
杭頭の中詰め材料  
・基礎のコンクリートと同調合のもの

3 鋼杭地業

材料、寸法、継手等  

	種類	厚さ(mm)	杭径(mm)	杭長(m)	継手数	わ数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭 中杭 下杭							
本杭	上杭 中杭 下杭							

  
特定埋込杭工法  
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持方式でα=250を採用できる工法  
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持方式の内α、β、γが下記の値を採用できる工法  
α=( )、β=( )、γ=( )  
工法  
・中掘り拡大根固め工法  
試験杭の位置・図示による( )  
杭の精度  
水平方向の位置ずれ寸法・杭径の1/4かつ100mm以下  
杭の傾斜・1/100以内  
※評定等の内容による  
杭の継手の工法  
・アーク溶接継手  
溶接材料  
・共通仕様書7.2.5(1)、(2)による・図示による( )  
・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)  
工法  
※評定等を受けた工法  
検査  
※評定等により定められた項目  
施工  
※評定等をされた施工管理基準による

4 場所打ちコンクリート杭地業

杭頭の処理  
・処理する  
処理方法（切断にともなう補強方法含む）  
・図示による( )  
杭頭の中詰め材料  
・基礎のコンクリートと同調合のもの  
工法  
・アースドリル工法（安定液・使用する・使用しない）  
・リバース工法  
・オールケーシング工法（孔内の水張り・行方・行わない）  
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法  
鋼管巻き材料・SKK400・SKK490  
鋼管径・板厚・長さ※図示による( )  
使用する工法  
・平底杭工法（安定液・使用する・使用しない）  
材料その他  
寸法等  

	軸径(mm)	杭底径(mm)	杭長(m)	わ数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭						
本杭						

  
鉄筋の種類  

種類の記号	呼び径(mm)	備考
・SD295A		
・SD345		

  
帯筋  
・図示による（構造関係共通図(配筋標準図)6.2帯筋(2)⑥(ロ)）  
鉄筋の最小かぶり厚さ  
100mm  
鉄筋かごの補強  
※共通仕様書4.5.4(1)(i)(c)による・図示による( )  
組み立てた鉄筋の節ごとの継手  
※重ね継手(重ね継手の長さ：共通仕様書表5.3.2による)  
・図示による( )  
主筋の基礎底端への定着長さ  
図示による( )  
セメントの種類  
※高炉セメントB種☐  
コンクリートの設計基準強度・( )N/mm²  
コンクリートの種別  
・A種・B種・評定等の内容による  
スランプ  
※18cm  
構造体強度補正值  
・3N/mm²・評定等の内容による  
試験杭の位置・図示による( )  
杭の支持層への根入れ深さ  
・図示による( )  
杭の精度  
水平方向の位置ずれ  
・評定等の内容による  
杭径の1/4かつ100mm以下  
杭の傾斜  
・評定等の内容による  
・1/100以内  
孔壁の保持状況(孔壁測定)  
測定箇所・試験杭( )箇所及び本杭( )箇所  
測定方法・超音波測定器

5 砂利地業

材料  
・再生クラッシュラン☐・切込砂利又は切込砕石  
・基礎下、基礎下、土間コンクリート下、土に接するスラブ  
・図示による( )  
厚さ  
※60mm  
6 砂地業  
材料  
・シルト  
・有機物等の混入しない締固めに適した山砂、川砂又は砂砂  
・図示による( )  
施工範囲  
・図示による( )  
厚さ  
※60mm  
7 捨コンクリート地業  
材料  
・普通コンクリート  
設計基準強度  
※18N/mm²  
スランプ  
※15cm又は18cm  
施工範囲  
・基礎下、基礎下、土に接するスラブ  
・図示による( )  
厚さ  
※50mm(※平坦な仕上げ)  
8 床下防湿層  
材料  
・ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上  
施工範囲  
・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）  
種類及び施工方法等・図示による( )  
六価クロム溶出試験○行方

◎ 地盤改良工法

5 鉄筋工事

1 鉄筋  
鉄筋の種類  

種類の記号	呼び径(mm)	備考
・SD295	※D16以下	
・SD345	※D19以上	
・SD390	※D29以上	
・785N/mm2級	※K13	

  
形状等  

種類	種類の記号	網目の形状	寸法、鉄線の径(mm)	使用部位
・溶接金網		100x100x6φ		
・鉄筋格子				

  
鉄筋の継手方法等  

部	位	継手方法	呼び径(mm)
柱、梁の主筋		ガス圧接・機械式継手	※D19以上
耐力壁の鉄筋		溶接継手	D16以下
基礎		重ね継手	
基礎、耐力スラブ、土圧壁		重ね継手・ガス圧接	
その他の鉄筋		重ね継手	

  
継手位置  
・図示による（構造関係共通図(配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.3、8.1）  
基礎梁主筋の継手位置・図5.2・図5.3・図5.4  
・図示による( )  
柱及び梁の重ね継手の長さ  
・図示による( )  
耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ  
※図示による（構造関係共通図(配筋標準図)3(1)(イ)）  
・図示による( )  
柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所につける部分の位置及び施工方法等  
・図示による( )  
鉄筋の定着長さ  
※図示による（構造関係共通図(配筋標準図)3(2)）  
・図示による( )

2 溶接金網

3 継手及び定着

鉄筋の余長の長さ  
構造関係共通図（配筋標準図）による。これによらない箇所は図示による。  
5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）  
最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う）  
※図示による（構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4.1）  
・図示による( )  
柱及び梁の主筋にD29以上の使用  
あり・適用箇所( )  
主筋のかぶり厚さを径の1.4倍以上確保する  
耐久性上不利な部分(継手等を受けるおそれのある部分等)  
あり・適用箇所( )  
・最小かぶり厚さに加える厚さ( )mm  
6 各部配筋  
※図示による  
7 ガス圧接  
圧接完了後の圧接部の試験  
外観試験  
※行う（全ての圧接部）  
抜取試験  
※超音波探傷試験（試験方法 共通仕様書5.4.10(イ)(a)による）  
・引張試験  
試験方法 共通仕様書5.4.10(イ)(b)による  
8 機械式継手  
適用箇所  
・図示による( )  
H12建告第1463号に適合する性能  
・A級  
機械式継手の種類  
・図示による( )  
鉄筋相互のあき  
・図示による( )  
施工完了後の継手部の試験  
図示による( )  
不合格となった継手部への措置  
・図示による( )  
9 溶接継手  
適用箇所  
・図示による( )  
H12建告第1463号に適合する性能  
・A級  
溶接継手の種類  
・図示による( )  
鉄筋相互のあき  
・図示による( )  
施工完了後の継手部の試験  
図示による( )  
不合格となった継手部への措置  
・図示による( )

6 コンクリート工事

1 コンクリートの種類等  
類別  
※Ⅰ類（JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート）  
・Ⅱ類（JIS A 5308 に適合したコンクリート）  
・建築基準法第37条第二号に規定する大臣認定コンクリート  
普通コンクリート（36N/mm²以下）  

設計基準強度(N/mm ² )	気乾単位容積質量(t/m ³ )	スランプ(cm)	適用箇所
・33	2・3程度	・15又は18・18	軸組図(S-012図)参照
・27	2・3程度	・15又は18・18	
・24	2・3程度	・15又は18・18	土間コンクリート
・18	2・3程度	・15又は18・18	捨てコンクリート

  
構造体強度補正值(S) ※共通仕様書表6.3.2による  
補正值S=3（3月11日～11月10日）  
S=6（11月11日～3月10日）  
空気量  
※4.5%（住宅の品質確保の促進等に関する法律第3条の2第1項の規定に基づく評価方法基準（以下「評価方法基準」という）第5-3-1(3)h①適合）  
水セメント比  
※50%以下（評価方法基準第5-3-1(3)h①適合）  
・共通仕様書6.3.2(イ)(b)による  
単位水量  
※185kg/m³以下（評価方法基準第5-3-1(3)h①適合）  
単位セメント量  
※共通仕様書6.3.2(イ)(d)による  
・( )kg/m²以上  
細骨材率  
※共通仕様書6.3.2(イ)(e)による  
・( )%  
2 セメント  
種類  
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種又はフライアッシュセメントA種  
（評価方法基準第5-3-1(3)h①適合）  
適用箇所（※下記以外全て）  
・普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種  
・適用箇所( )  
・高炉セメントB種☐  
適用箇所（・11以下下部（立上り部含む））  
・フライアッシュセメントB種☐  
適用箇所( )  
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352 J/g以下、かつ28日目で 402 J/g以下のものとする。  
3 骨材  
アルカリシリカ反応性による区分  
※A・B（コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m³ 以下）  
4 混和材料  
・混和剤  
混和剤の種類  
※共通仕様書6.3.1(4)(a)による  
・混和材  
混和材の種類  
※共通仕様書6.3.1(4)(b)による  
5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地  
打継ぎの位置（工区境での打継ぎが生じないように調整すること）  
※スパンの中央又は端から1/4の付近  
・図示による( )  
柱及び壁  
※スラブ、壁梁又は基礎の上端  
・図示による( )  
目地の寸法  
・共通仕様書 9.7.3(1)(7)～(9)による  
・※ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地の深さ寸法は、全体外側の打増し部で処理する  
・図示による( )  
6 湿潤養生  
ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法  
・図示による( )  
湿潤養生の期間  
・セメントの種類が普通エコセメントの場合 ( )日  
7 コンクリートの仕上り  
合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ  

種別	適用箇所
・A種	※図示による( )
・B種	※図示による( )
・C種	※図示による( )

彩の国埼玉県  
都市整備部営繕課

課長副課長主幹主査担当  
榎本加藤遠西小野寺根本

日付2024.06.04  
Ver.2022-3

工事名称  
O 5 県住入間霞川団地地盤改良工事  
特記仕様書（構造関係・その1）

図面No.  
S-001

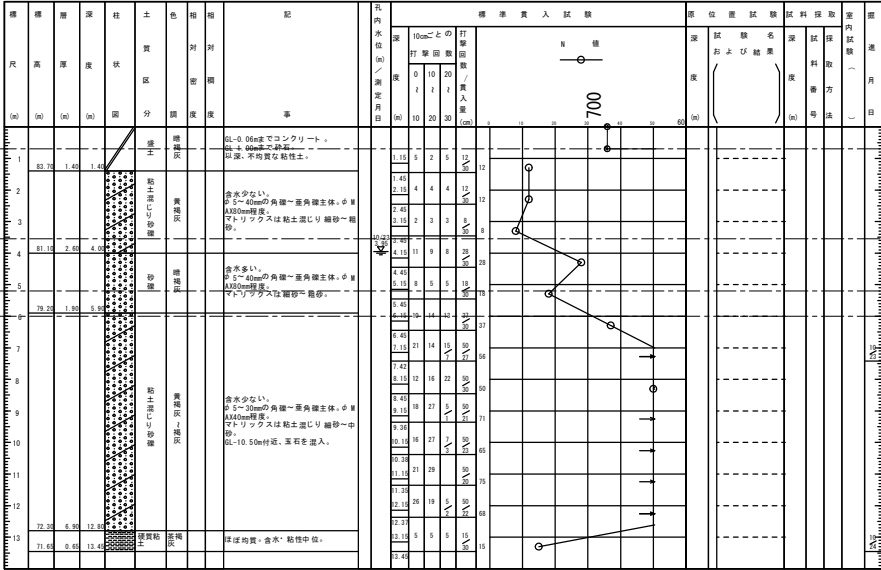


ボーリング柱状図

調査名 〇5 県住入間霞川団地地質・土質調査業務

事業・工事名

ボーリング名	No. 1		調査位置	入間市高倉4丁目地内		北緯	35° 50' 06.26"	
発注機関	埼玉県都市整備部営繕課		調査期間	令和5年10月23日～5年10月25日		東経	139° 22' 53.84"	
調査業者名	(株)シエックエンジニアリング 電話(048-682-2692)		主任技師	赤松武治		地質調査士番号	1080/00-0	
代表者	嶋川真治		主任技師	赤松武治		地質調査士番号	1080/00-0	
試験機	T080/00-0		ポンプ	KAND/V-6		ポンプ	KAND/V-6	
総掘進長	13.45m		試料採取	標準貫入試験		試料採取	標準貫入試験	

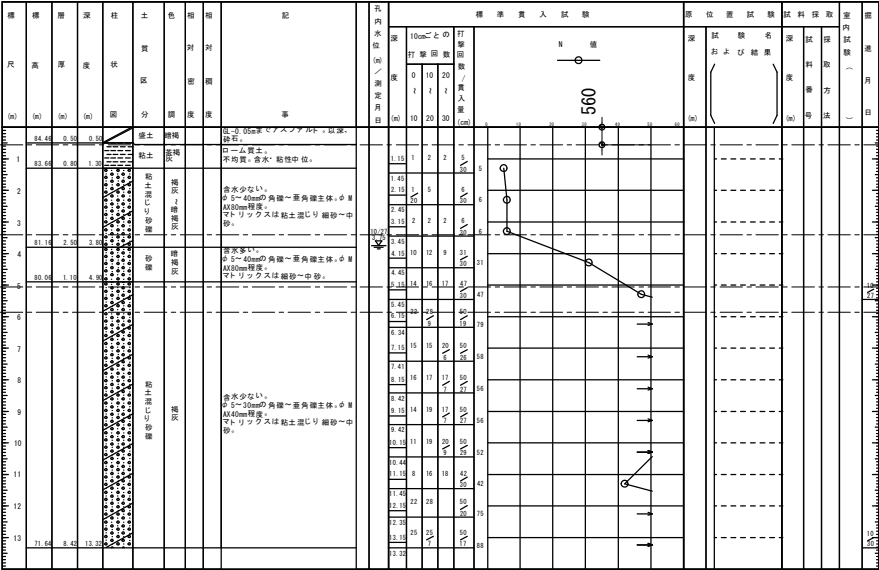


ボーリング柱状図

調査名 〇5 県住入間霞川団地地質・土質調査業務

事業・工事名

ボーリング名	No. 2		調査位置	入間市高倉4丁目地内		北緯	35° 50' 06.52"	
発注機関	埼玉県都市整備部営繕課		調査期間	令和5年10月27日～5年10月31日		東経	139° 22' 54.63"	
調査業者名	(株)シエックエンジニアリング 電話(048-682-2692)		主任技師	赤松武治		地質調査士番号	1080/00-0	
代表者	嶋川真治		主任技師	赤松武治		地質調査士番号	1080/00-0	
試験機	T080/00-0		ポンプ	KAND/V-6		ポンプ	KAND/V-6	
総掘進長	12.32m		試料採取	標準貫入試験		試料採取	標準貫入試験	

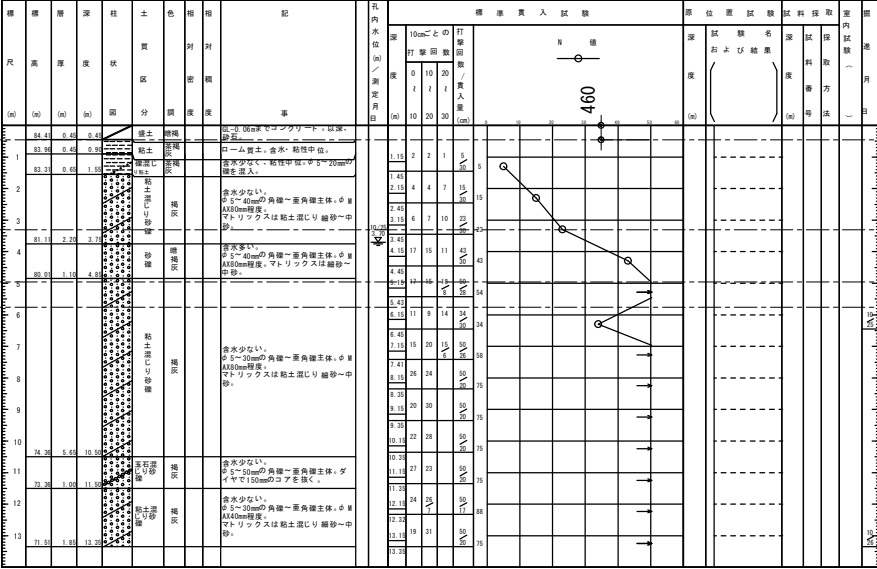


ボーリング柱状図

調査名 〇5 県住入間霞川団地地質・土質調査業務

事業・工事名

ボーリング名	No. 3		調査位置	入間市高倉4丁目地内		北緯	35° 50' 06.38"	
発注機関	埼玉県都市整備部営繕課		調査期間	令和5年10月28日～5年10月30日		東経	139° 22' 55.25"	
調査業者名	(株)シエックエンジニアリング 電話(048-682-2692)		主任技師	赤松武治		地質調査士番号	1080/00-0	
代表者	嶋川真治		主任技師	赤松武治		地質調査士番号	1080/00-0	
試験機	T080/00-0		ポンプ	KAND/V-6		ポンプ	KAND/V-6	
総掘進長	13.35m		試料採取	標準貫入試験		試料採取	標準貫入試験	



【設計レベルの整理】

設計GL±0=84.40=KBM±0

1SL=設計GL+900

1FL=1SL+105

【孔口標高と設計GLの関係】

ボーリングNo.1 孔口標高=85.10=GL+700

ボーリングNo.2 孔口標高=84.96=GL+560

ボーリングNo.3 孔口標高=84.86=GL+460

構造協力事務所：一級建築士事務所 有限会社たつき設計 埼玉県知事登録(2) 第10821号

構造設計者：一級建築士(登録) 第233094号 構造設計一級建築士(交付) 第7366号 新田 繁



株式会社 タック

■一級建築士事務所埼玉県知事登録(7) 第1840号  
■一級建築士大臣登録第296660号 木村 泰士

特記事項

埼玉県都市整備部営繕課

課長 副課長 主幹 主査 担当

榎本 磐城 大橋 小野寺 岡田

設計

担当

製図

製作年月日

2024.06.04

縮尺

no scale  
(A3版 50%縮小)

工事名称

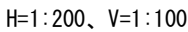
〇5 県住入間霞川団地地盤改良工事

図面名称

土質柱状図調査位置図

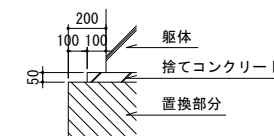
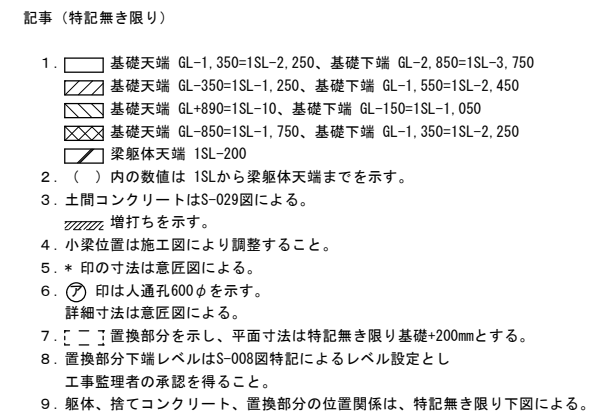
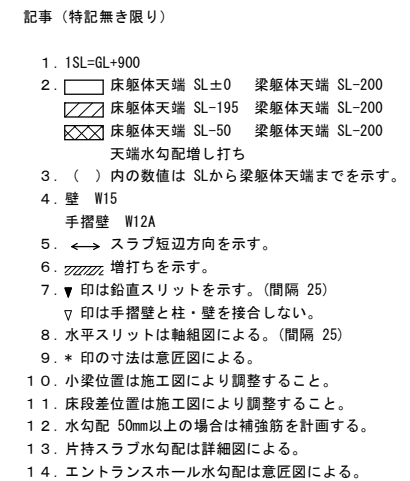
図面番号

S - 007



1. 置換部分は、「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針（日本建築センター）」に基づく地盤改良工法（スラリー系機械攪拌式ブロック状地盤改良工法）とする。
2. 固化材は六価クロム抑制低発塵型セメント系固化材とする。
3. 設計地耐力は $\sigma_e = 400 \text{ kN/m}^2$ とする。
4. 設計基準強度は $F_c = 1,200 \text{ kN/m}^2$ とする。
5. 過去の近隣建物設計に於いて、GL-4,500の支持層まで置換部分としている。
6. 今回計画建物でも基本的に、GL-4,500までの置換部分とする。  
ただし、ボーリングNo.1側は深くなっているので、GL-5,300までとする。
7. 支持層の傾斜は不正確であるから、実際の施工時に支持層表層を100程度掘削するレベル設定とし、工事監理者の承認を得ること。

TAC  株式会社   ■一級建築士事務所埼玉県知事登録（〒）第1840号 ■一級建築士大臣登録第296660号 木村 泰 士	特記事項	埼玉県都市整備部営繕課					設 計		製作年月日	工事名称  O 5 県住入間霞川団地地盤改良工事  図面名称  地層想定断面図	図面番号   S - 008
		課 長	副課長	主 幹	主 査	担 当	担 当		2024.06.04		
		稟 本	磐 城	大 橋	小野寺	岡 田			縮 尺		
									no scale		
									(A3版 50%縮小)		
									製 図		



基礎伏図  
(見下図)

TAC  株式会社   ■一級建築士事務所埼玉県知事登録（7）第1840号 ■一級建築士大臣登録第29660号 木村 泰士	特記事項	埼玉県都市整備部営繕課					設 計		製作年月日	工事名称	図面番号
		課 長	副課長	主 幹	主 査	担 当			2024.06.04		
		榎 本	警 城	大 橋	小野寺	岡 田	担 当	縮 尺 1/100 (A3=1/200) (A3版 50%縮小)	図面名称		
						製 図		基礎伏図、1階床梁伏図	S - 009		



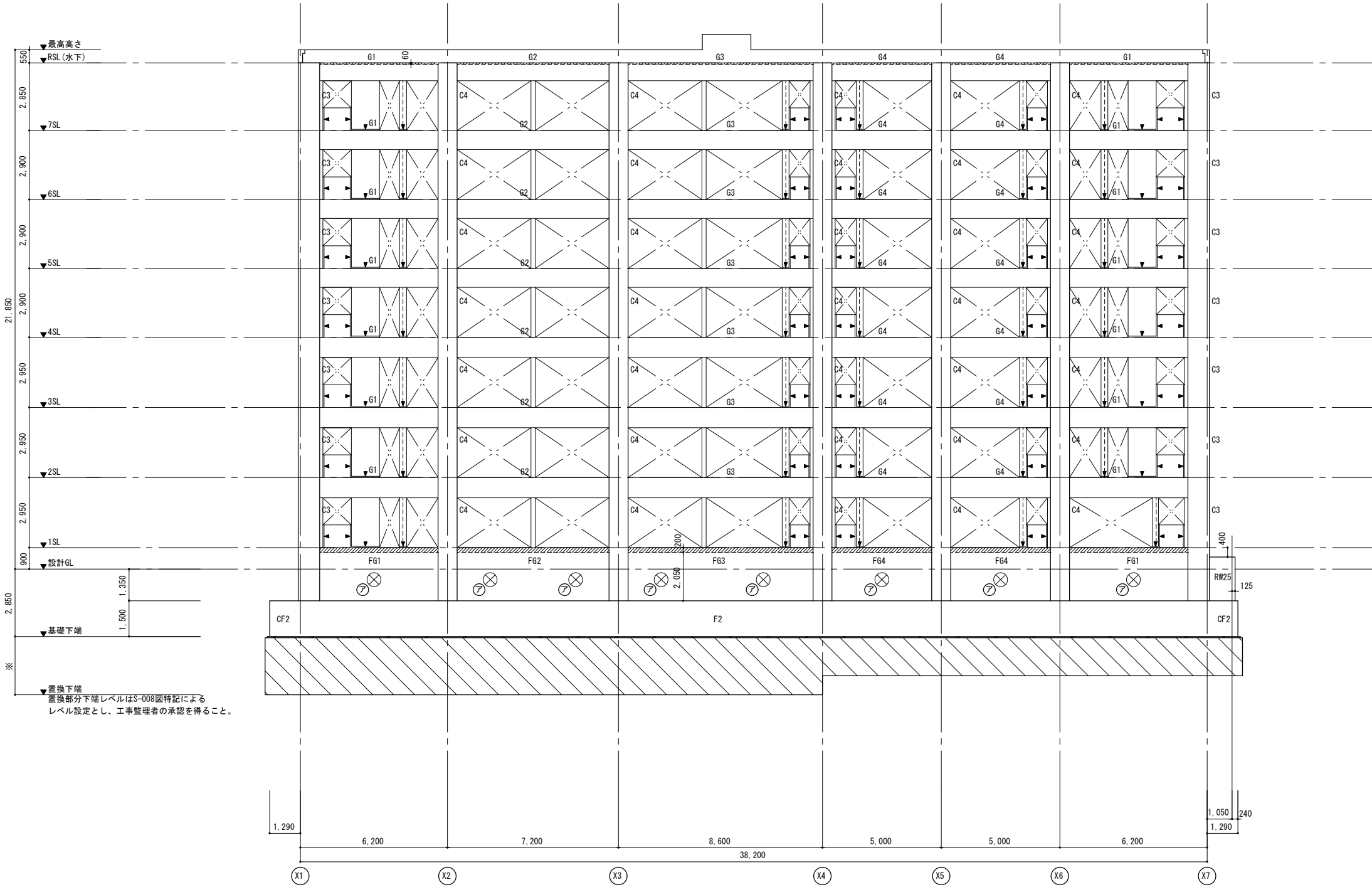
Y1通り軸組図

記事（特記無き限り）

- 壁 W15
- 手摺壁 W12A
- 増打ちを示す。
- ▼印はスリットを示す。(間隔 25)
- * 印の寸法は意匠図による。
- 水勾配 50mm以上の場合は補強筋を計画する。
- 印は人通孔600φを示す。
- 置換部分を示す。

構造協力事務所：一級建築士事務所 有限会社たつき設計 埼玉県知事登録(2) 第10821号  
構造設計者：一級建築士（登録）第233094号 構造設計一級建築士（交付）第7366号 新田 繁

TAC   株式会社 タック   ■一級建築士事務所埼玉県知事登録 (7) 第1840号   ■一級建築士大臣登録第296660号 木村 泰士	特記事項				埼玉県都市整備部営繕課					設 計		製作年月日	工事名称	図面番号					
					課 長	副課長	主 幹	主 査	担 当			2024.06.04							
					榎 本	磐 城	大 橋	小野寺	岡 田	担 当		縮 尺	図面名称						
										製 図		1/100 (A3=1/200) (A3版 50%縮小)							
													Y1通り軸組図	S - 012					



Y2通り軸組図

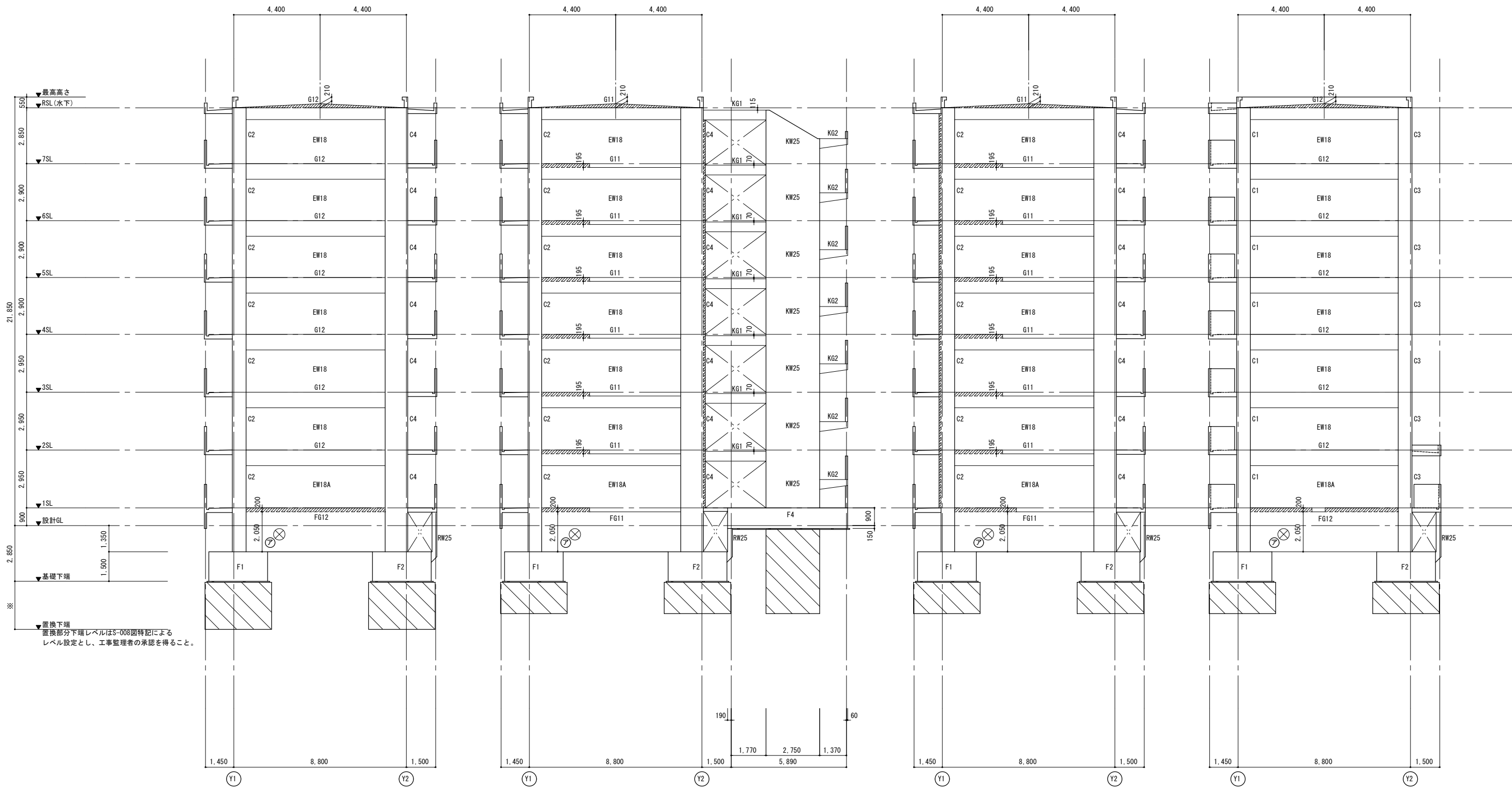
記事（特記無き限り）

- 1. 壁 W15
- 2. 手摺壁 W12A
- 3. 増打ちを示す。
- 4. ▼印はスリットを示す。(間隔 25)
- 5. * 印の寸法は意匠図による。
- 6. 水勾配 50mm以上の場合は補強筋を計画する。
- 7. 印は人通孔600φを示す。
- 8. 置換部分を示す。

構造協力事務所：一級建築士事務所 有限会社たつき設計 埼玉県知事登録(2) 第10821号  
構造設計者：一級建築士（登録）第233094号 構造設計一級建築士（交付）第7366号 新田 繁

TAC   株式会社    ■一級建築士事務所埼玉県知事登録 (7) 第1840号   ■一級建築士大臣登録第296660号 木村 泰士	特記事項		埼玉県都市整備部営繕課					設 計	製作年月日 2024.06.04	工事名称 O5県住入間霞川団地地盤改良工事	図面番号  S - 013
			課 長	副課長	主 幹	主 査	担 当	担 当			
			榎 本	磐 城	大 橋	小野寺	岡 田	製 図			

TAC  株式会社 タック  ■一般建築士事務所埼玉県知事登録(7)第1840号 ■一般建築士大臣登録第296660号 木村泰士	特記事項	埼玉県都市整備部営繕課					設 計		製作年月日 2024.06.04	工事名称  O5県住入間霞川団地地盤改良工事	図面番号     S - 014
		課 長	副課長	主 幹	主 査	担 当	担 当		縮 尺 1/100 (A3=1/200) (A3版 50%縮小)		
		榎 本	磐 城	大 橋	小野寺	岡 田	製 図				



X4通り軸組図

X5通り軸組図

X6通り軸組図

X7通り軸組図

記事（特記無き限り）

1. 壁 W15
2. 手摺壁 W12A
3. 増打ちを示す。
4. ▼印はスリットを示す。(間隔 25)
5. * 印の寸法は意匠図による。
6. 水勾配 50mm以上の場合は補強筋を計画する。
7. 印は人通孔600φを示す。
8. 置換部分を示す。

構造協力事務所：一級建築士事務所 有限会社たつき設計 埼玉県知事登録(2) 第10821号  
構造設計者：一級建築士（登録）第233094号 構造設計一級建築士（交付）第7366号 新田 繁

TAC   株式会社 タック   ■一級建築士事務所埼玉県知事登録 (7) 第1840号 ■一級建築士大臣登録第296660号 木村 泰士	特記事項				埼玉県都市整備部営繕課					設計		製作年月日	工事名称	図面番号
					課長	副課長	主幹	主査	担当			2024.06.04		
					榎本	磐城	大橋	小野寺	岡田	担当		縮尺	図面名称	S - 015
										製図		1/100 (A3=1/200) (A3版 50%縮小)		
													X4～X7通り軸組図	

はかま筋・下端筋の定着長さ、重ね継手長さ、余長			
①下端筋に立上りがない場合	②下端筋に立上りがある場合	③偏心基礎端側の定着	外周部の重ね継手

リスト中の※1（置換部分高さ）、※2（置換部分下端レベル）については  
S-008図特記によるレベル設定とし、工事監理者の承認を得ること。



株式会社 ツツク

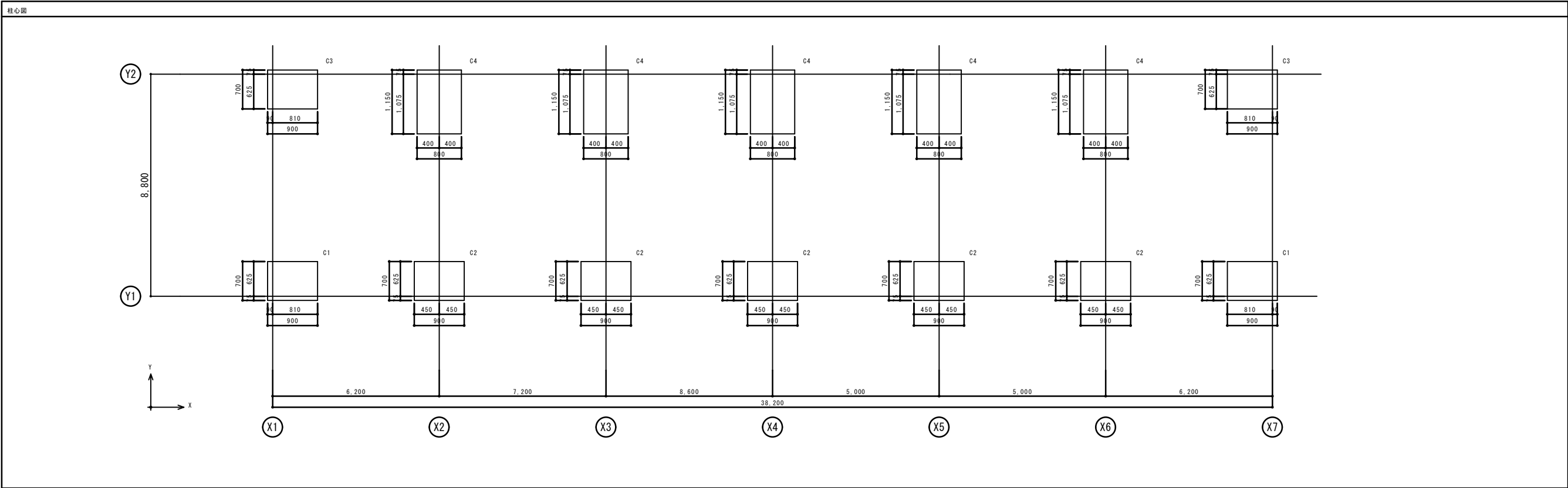
- 一級建築士事務所埼玉県知事登録(7)第1840号  
■一級建築士大臣登録第296660号 木村 泰士

特記事項	埼玉県都市整備部営繕課					設 計		製作年月日	工事名称	図面番号
	課 長	副課長	主 幹	主 査	担 当			2024.06.04	〇5県住入間霞川田地盤改良工事	
	覆 本	磐 城	大 橋	小野寺	岡 田	担 当		縮 尺	図面名称	
						製 図		1/40 (A3=1/80) (A3版 50%縮小)	基礎リスト	
									S - 016	

基礎梁リスト							基礎小梁リスト												記事（特記無き限り） 1. 巾止筋はD10@1,000以内とする。 2. 基礎梁(FG)、基礎片持梁(FCG)、基礎小梁(FB)は、捨てコンクリート50、 砕石地床60とする。但しFG1～4は砕石無し。 3. 主筋の上下関係はS-025図による。 4. あばら筋の形は配筋標準図、図5.5とする。 5. 土圧を受ける基礎梁(FG)、基礎片持梁(FCG)、基礎小梁(FB)の腹筋は、 柱または直交部材にL2定着とする。 6. FG1の外端部下端筋は基礎突きあたりまで延長し、L2曲げ上げとする。 (S-016図のうち CF1, CF2図参照)
符 号	FG1	FG2	FG3	FG4	FG11	FG12	符 号	FB1		FB2		FB3		FB4		FB5			
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	位 置	両 端	中 央	両 端	中 央	両 端	中 央	両 端	中 央	全断面			
▽1SL  1階							▽1SL  1階												
上端筋	6-D29	8-D29	12-D29	6-D29	4-D29	4-D29	上端筋	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22			
下端筋	10-D29	16-D29	16-D29	12-D29	4-D29	4-D29	下端筋	2-D22	4-D22	2-D22	4-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22			
あばら筋	□ -D13-#200	□ -D13-#200	□ -D13-#200	□ -D13-#200	□ -D13-#200	□ -D13-#200	あばら筋	□ -D13-#200		□ -D13-#200		□ -D13-#200		□ -D13-#200		□ -D13-#200			
腹筋	20-D13	20-D13	20-D13	20-D13	10-D13	10-D13	腹筋	10-D13		10-D13		10-D13		12-D13		12-D13			
備 考							備 考												

TAC  株式会社   ■一級建築士事務所所在地 埼玉県知事登録（7）第1840号 ■一級建築士大臣登録第296660号 木 村 泰 士	特記事項					埼玉県都市整備部営繕課					設 計	製作年月日 2024.06.04	工事名称 〇5県住入間霞川団地地盤改良工事 図面名称 基礎梁・基礎小梁リスト	図面番号 S - 017	
						課 長	副課長	主 幹	主 査	担 当					担 当
						榎 本	磐 城	大 橋	小野寺	岡 田					
											製 図				

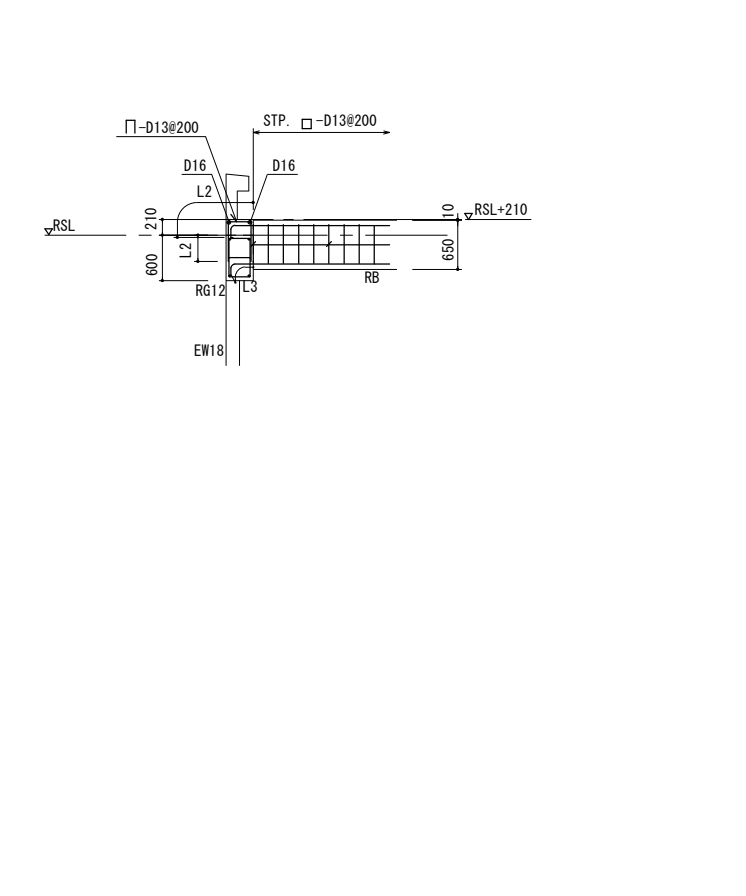
柱リスト																			
符 号	C1	C2	C3	C4		符 号	C1	C2	C3	C4		符 号	C1	C2	C3	C4			
3F階						6F階						7F階							
	主 筋	14-D25	16-D25	14-D25	20-D25		主 筋	14-D22	14-D22	14-D22	20-D22		主 筋	14-D22	14-D22	14-D22	20-D22		
	帯 筋	□-D13-#100	■-K13-#100	□-D13-#100	■-K13-#100		帯 筋	□-D13-#100	□-D13-#100	□-D13-#100	■-D13-#100		帯 筋	□-D13-#100	□-D13-#100	■-D13-#100	□-D13-#100		
備 考						備 考						備 考							
符 号	C1	C2	C3	C4		符 号	C1	C2	C3	C4		記事（特記無き限り）   1. 帯筋の形状は配筋標準図、図 6.3 ① H 形とする。   2. 各階の仕口帯筋は配筋標準図、図 6.3 ① H 形とする。   各階の仕口帯筋は □-D13#100 とする。   3. 基礎梁仕口帯筋は配筋標準図、図 6.3 ① H 形とする。   基礎梁仕口帯筋は □-D13#100 とする。   4. 帯筋K13は785級の材質とする。（KW785相当品）							
2F階						5F階													
	主 筋	18-D25	18-D25	18-D25	20-D25		主 筋	14-D22	14-D22	14-D22	20-D22								
	帯 筋	■-D13-#100	■-K13-#100	■-D13-#100	■-K13-#100		帯 筋	□-D13-#100	■-D13-#100	□-D13-#100	■-D13-#100								
備 考						備 考													
符 号	C1	C2	C3	C4		符 号	C1	C2	C3	C4									
1F階						4F階													
	主 筋	18-D29	18-D25	18-D29	20-D25		主 筋	14-D22	14-D25	14-D22	20-D22								
	帯 筋	■-K13-#100	■-K13-#100	■-K13-#100	■-K13-#100		帯 筋	□-D13-#100	■-K13-#100	□-D13-#100	■-K13-#100								
備 考						備 考													



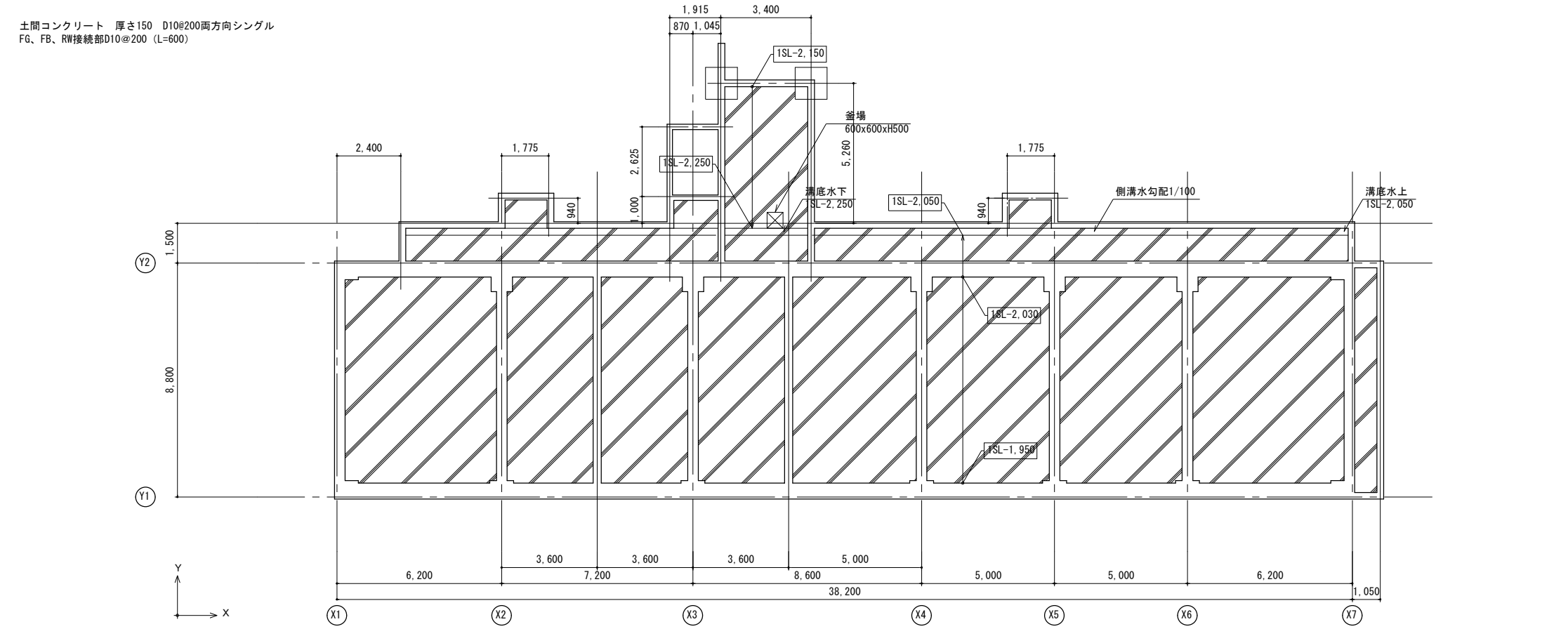
構造協力事務所：一級建築士事務所 有限会社たつき設計 埼玉県知事登録(2) 第10821号  
構造設計者：一級建築士（登録）第233094号 構造設計一級建築士（交付）第7366号 新田 繁

TAC   株式会社    ■一級建築士事務所埼玉県知事登録（7）第1840号   ■一級建築士大臣登録第29660号 木村 泰士	特記事項				埼玉県都市整備部営繕課					設 計		製作年月日	工事名称	図面番号	
					課 長	副課長	主 幹	主 査	担 当			2024.06.04	〇5 県住入間霞川団地地盤改良工事	図面名称  柱心図、柱リスト	S - 018
					榎 本	磐 城	大 橋	小野寺	岡 田	担 当		縮 尺 1/40 (A3=1/80) (A3版 50%縮小)			
										製 図					

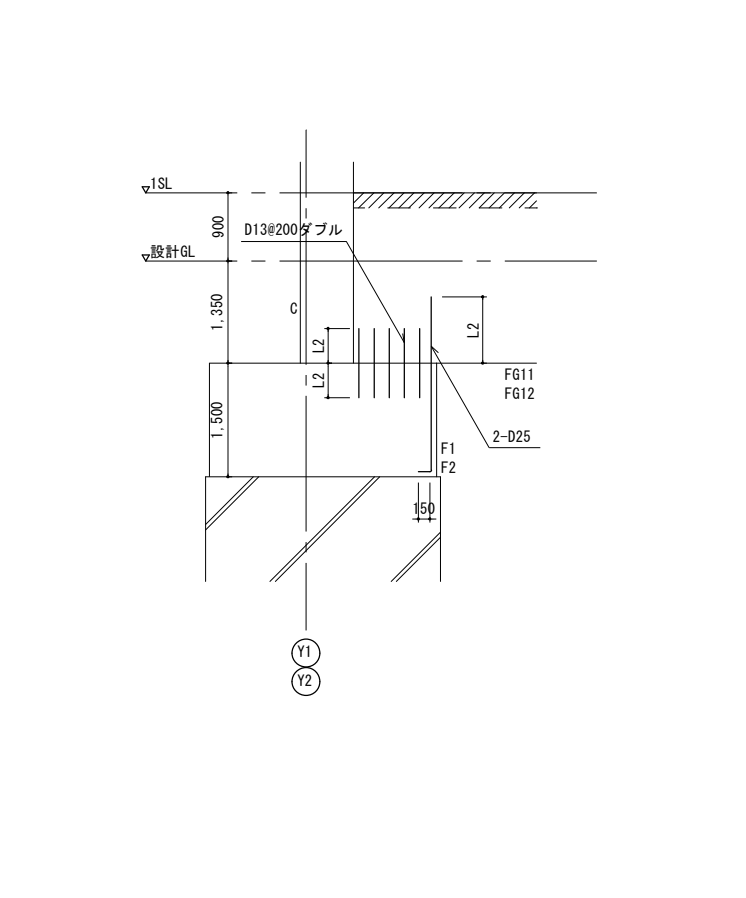
屋根小梁端部納まり詳細図



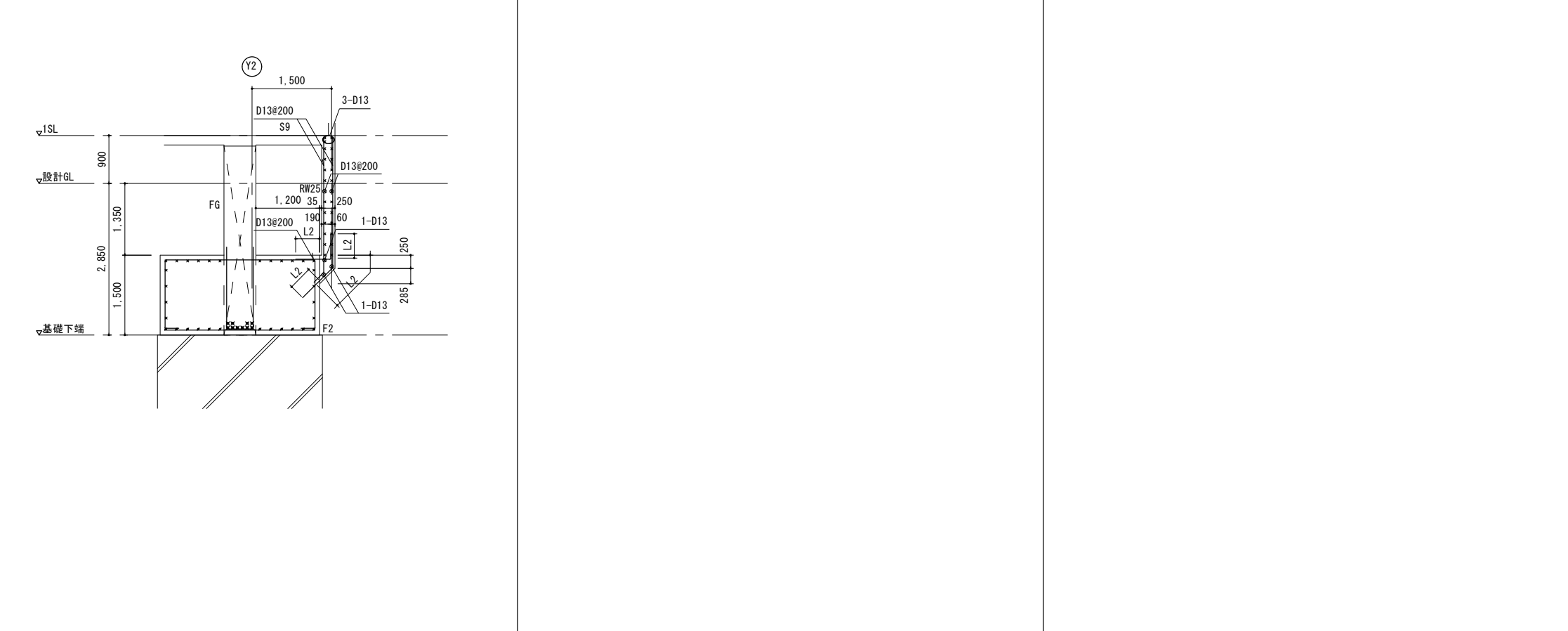
土間コンクリート伏図 S=1/100



FG11、FG12端部詳細図



F2、RW25取り合い部詳細図



構造協力事務所：一級建築士事務所 有限会社たつき設計 埼玉県知事登録(2) 第10821号  
構造設計者：一級建築士（登録）第233094号 構造設計一級建築士（交付）第7366号 新田 繁

TAC   株式会社    ■一級建築士事務所埼玉県知事登録 (7) 第1840号   ■一級建築士大臣登録第296660号 木 村 泰 士	特記事項				埼玉県都市整備部営繕課					設 計	製作年月日 2024.06.04	工事名称 〇5県住入間霞川団地地盤改良工事	図面番号 S - 029
					課 長	副課長	主 幹	主 査	担 当	担 当			
					榎 本	磐 城	大 橋	小野寺	岡 田				
									製 図	縮 尺 1/50 (A3=1/100) (A3版 50%縮小)	図面名称 各部配筋図 (3)		



株式会社 タック

■一級建築士事務所埼玉県知事登録 (7) 第1840号  
■一級建築士大臣登録第236660号 木村 泰士

特記事項

埼玉県都市整備部営繕課

課長	副課長	主幹	主査	担当
榎本	磐城	大橋	小野寺	岡田

設計

担当
製図

製作年月日

2024.06.04  
縮尺  
1/40 (A3=1/80)  
(A3版 50%縮小)

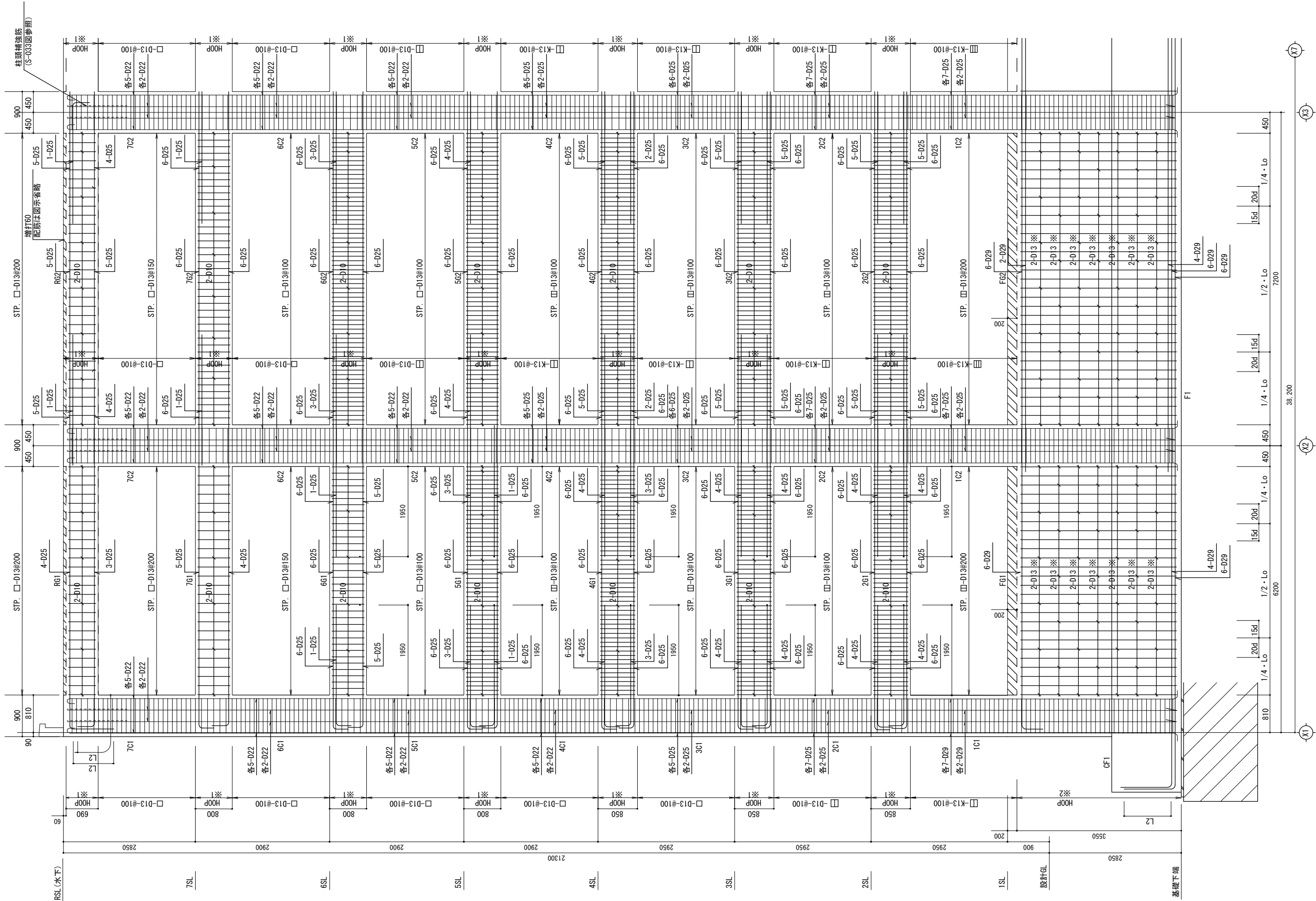
工事名称

図面名称  
ラーメン配筋図

〇5県住入間霞川団地地盤改良工事

図面番号

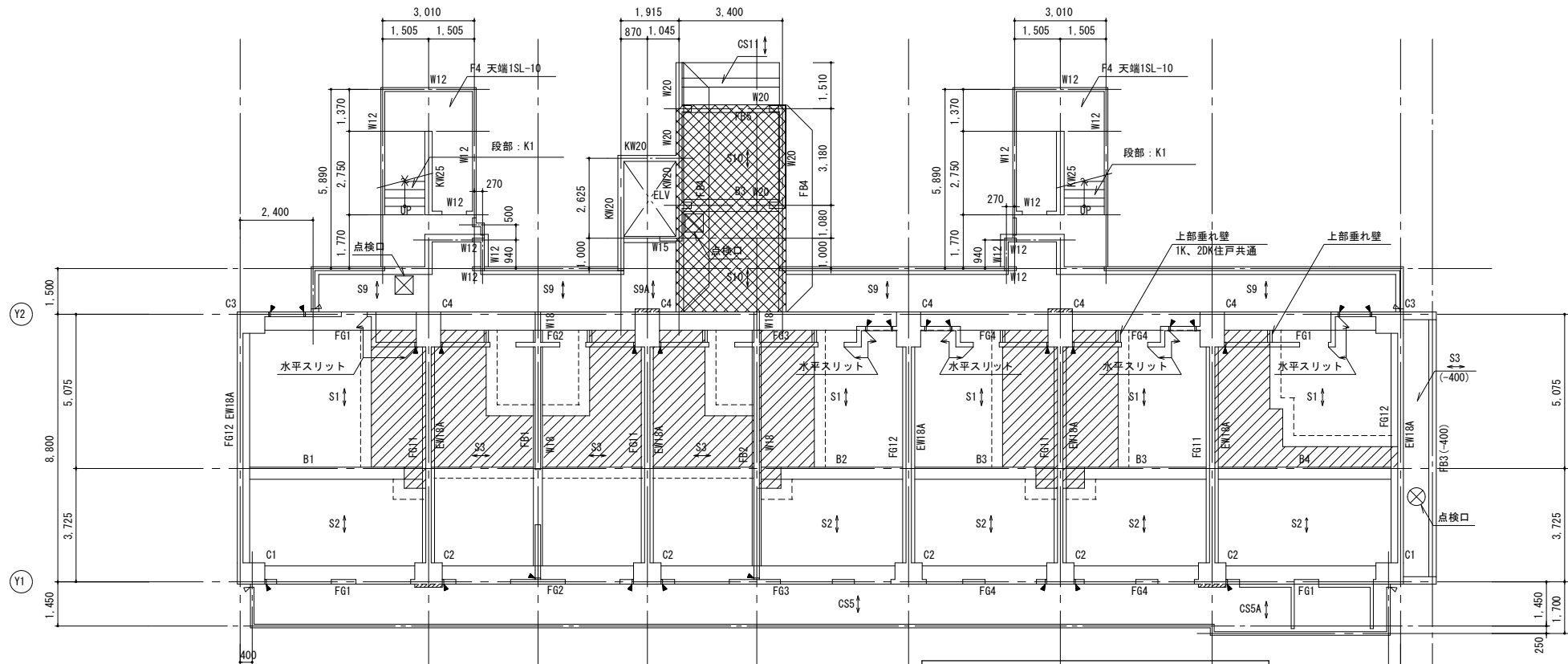
S - 030



- 記事 (特記無き限り)
1. 帯筋の形状は配筋標準図、図 6.3 ① H 形とする。
  2. ※は仕口帯筋範囲を示し、□-D13@100、形状は配筋標準図、図 6.3 ① H 形とする。
  3. ※2は基礎段仕口帯筋範囲を示し、□-D13@100、形状は配筋標準図、図 6.3 ① H 形とする。
  4. 大梁腹筋は2-D10とし、基礎梁腹筋は2-D13とする。
  5. 幅止め筋は、D10@100以内とする。
  6. ※付で土に接する基礎梁の腹筋は、重ね継手し、柱内定着L2とする。
  7. 増打の配筋は、S-024図による。

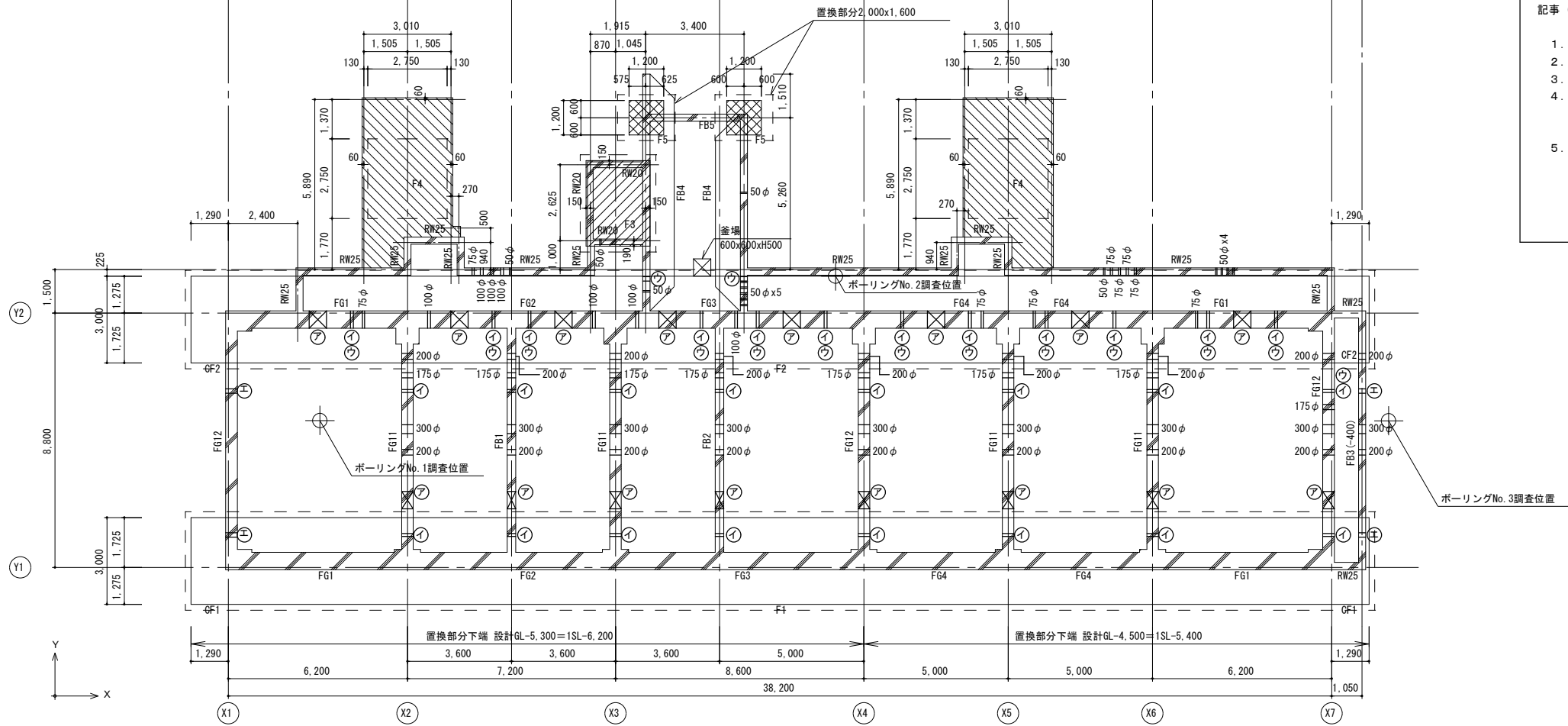
Y1通りラーメン配筋図

構造協力事務所：一級建築士事務所 有限会社たつき設計 埼玉県知事登録(2) 第10821号  
構造設計者：一級建築士(登録) 第233094号 構造設計一級建築士(交付) 第7366号 新田 繁



1階床梁伏図 貴通図  
(見下実線図)

記事（特記無き限り）  
1. 原則として基礎梁の貫通孔は基礎伏図貫通図に示す。



基礎伏図 貴通図  
(見下図)

記事（特記無き限り）

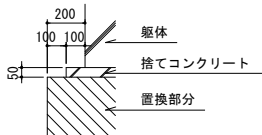
1. 1SL=GL+900
2. 床躯体天端 SL±0 梁躯体天端 SL-200  
床躯体天端 SL-195 梁躯体天端 SL-200  
床躯体天端 SL-50 梁躯体天端 SL-200  
天端水勾配増し打ち
3. ( ) 内の数値は SLから梁躯体天端までを示す。
4. 壁 W15  
手摺壁 W12A
5. ← スラブ短辺方向を示す。
6. 増打ちを示す。
7. ▼ 印は鉛直スリットを示す。(間隔 25)  
▽ 印は手摺壁と柱・壁を接合しない。
8. 水平スリットは軸組図による。(間隔 25)
9. * 印の寸法は意匠図による。
10. 小梁位置は施工図により調整すること。
11. 床段差位置は施工図により調整すること。
12. 水勾配 50mm以上の場合は補強筋を計画する。
13. 片持スラブ水勾配は詳細図による。
14. エントランスホール水勾配は意匠図による。

記事（特記無き限り）

1. 貫通孔位置は意匠図および設備図を参照し、躯体図を作成の上で監督員の承諾を得ること。
2. 貫通孔の表示は躯体の実径を示す。
3. (*** ) 内の数値はSLからの下がり寸法を示す。
4. 原則として梁貫通孔の補強は認定工法による。  
補強計算は両端曲げ降伏時のせん断力によるものとし、指定された長期せん断力を考慮すること。  
また、両端曲げ降伏時の計算にはスラブ筋 (10-D13) を考慮する。
5. ⑦ 印は人通孔600φを示す。  
① 印は上部通気孔75φを示す。  
② 印は通水管150φ (半割)を示す。  
④ 印は通気孔150φを示す。

記事（特記無き限り）

1. 基礎天端 GL-1,350=1SL-2,250、基礎下端 GL-2,850=1SL-3,750  
基礎天端 GL-350=1SL-1,250、基礎下端 GL-1,550=1SL-2,450  
基礎天端 GL+890=1SL-10、基礎下端 GL-150=1SL-1,050  
基礎天端 GL-850=1SL-1,750、基礎下端 GL-1,350=1SL-2,250  
梁躯体天端 1SL-200
2. ( ) 内の数値は 1SLから梁躯体天端までを示す。
3. 土間コンクリートはS-029図による。  
増打ちを示す。
4. 小梁位置は施工図により調整すること。
5. * 印の寸法は意匠図による。
6. ⑦ 印は人通孔600φを示す。  
詳細寸法は意匠図による。
7. [ ] 置換部分を示し、平面寸法は特記無き限り基礎+200mmとする。
8. 置換部分下端レベルはS-008図特記によるレベル設定とし  
工事監督者の承認を得ること。
9. 躯体、捨てコンクリート、置換部分の位置関係は、特記無き限り下図による。



構造協力事務所：一級建築士事務所 有限会社たつき設計 埼玉県知事登録(2) 第10821号  
構造設計者：一級建築士(登録) 第233094号 構造設計一級建築士(交付) 第7366号 新田 繁



株式会社 タック

■一級建築士事務所埼玉県知事登録 (7) 第1840号  
■一級建築士大臣登録第296660号 木村 泰士

特記事項

埼玉県都市整備部営繕課

課長	副課長	主幹	主査	担当
遠西	警城	大橋	小野寺	岡田

設計

担当  
製図

製作年月日

2024.06.04

縮尺

1/100 (A3=1/200)  
(A3版 50%縮小)

工事名称

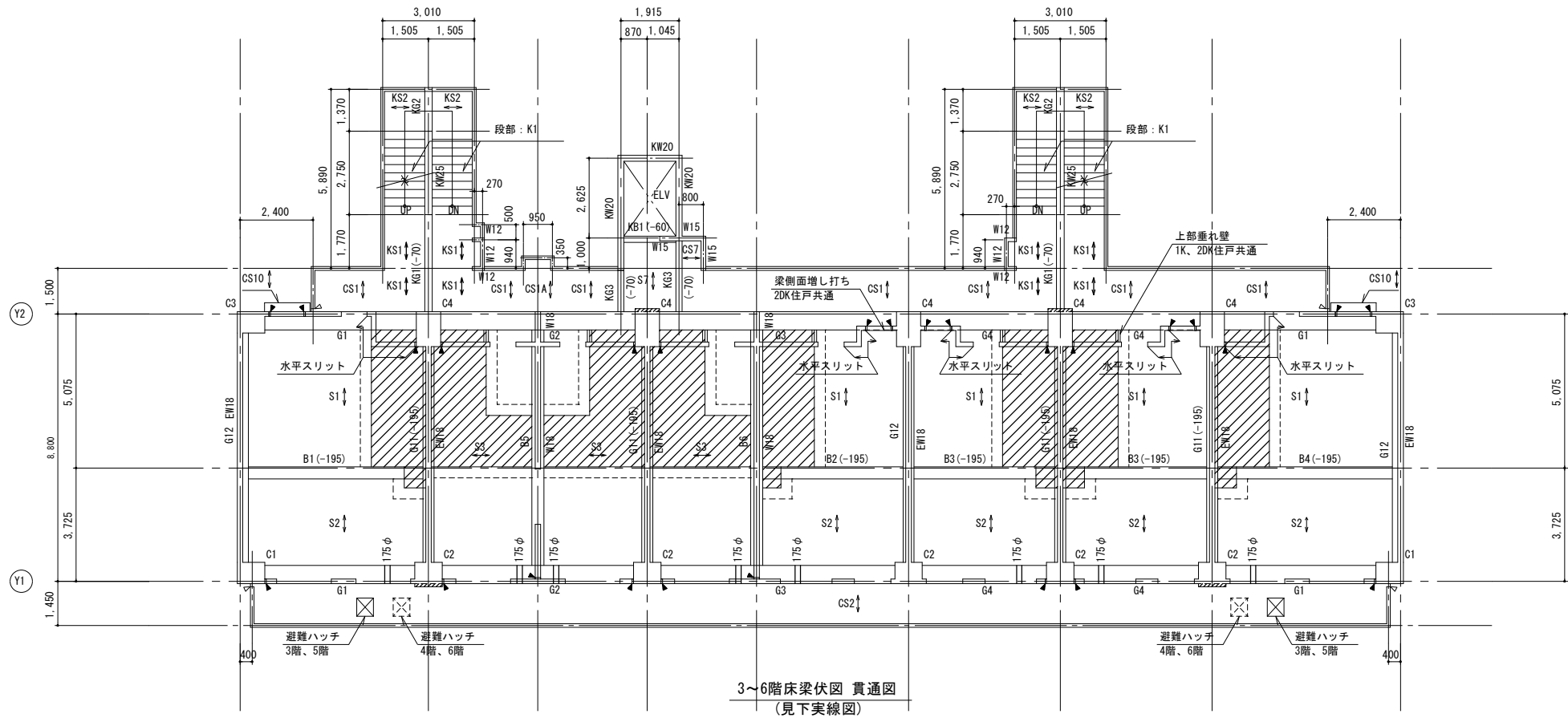
〇5県住入間霞川団地地盤改良工事

図面名称

基礎伏図、1階床梁伏図 貴通図

図面番号

S - 031



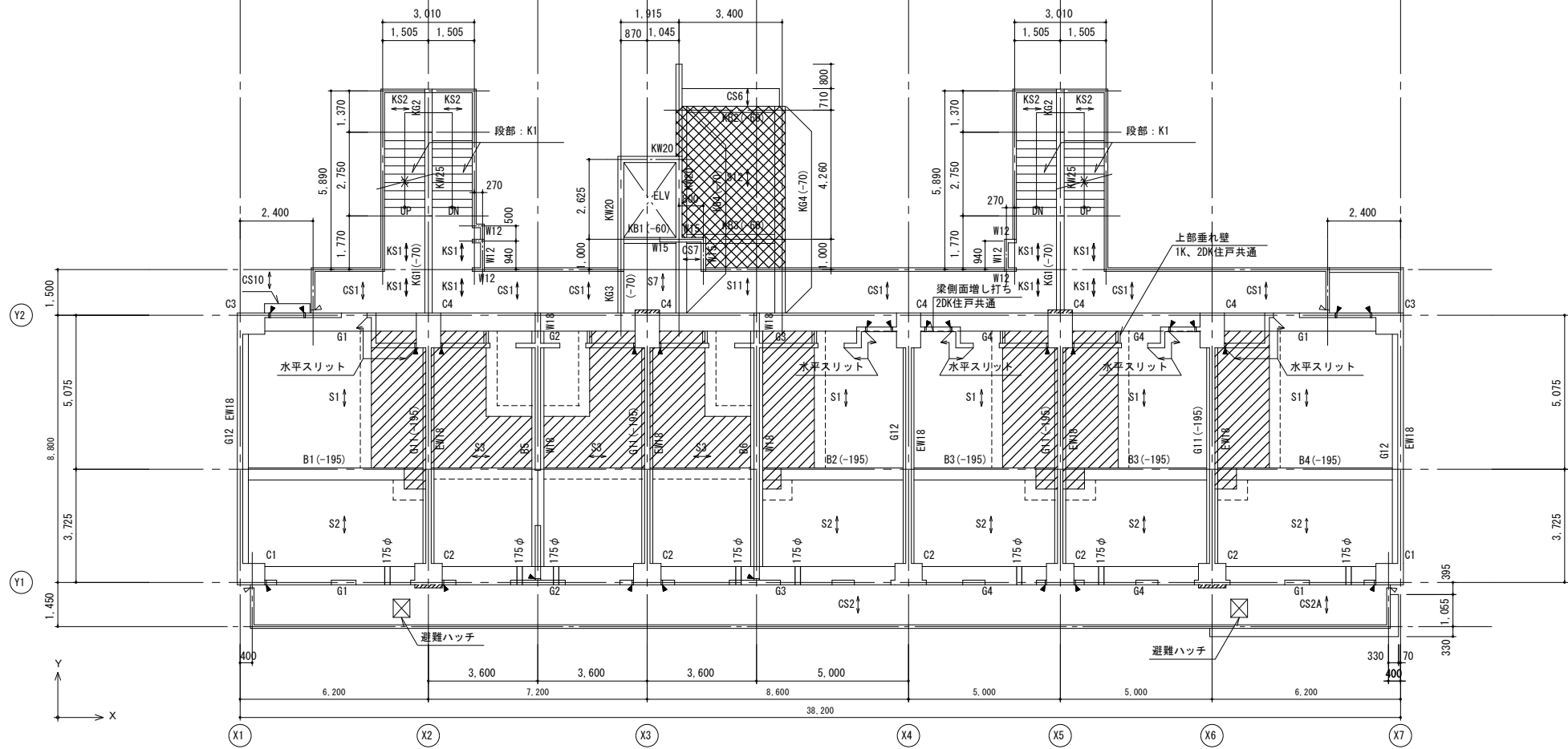
3～6階床梁伏図 貴通図  
(見下実線図)

記事 (特記無き限り)

1. 床躯体天端 SL±0 梁躯体天端 SL±0  
床躯体天端 SL-195 梁躯体天端 SL-195
2. ( ) 内の数値は SLから梁躯体天端までを示す。
3. 壁 W15  
手摺壁 W12A
4. ↔ スラブ短辺方向を示す。
5. 増打ちを示す。
6. ▼ 印は鉛直スリットを示す。(間隔 25)  
▽ 印は手摺壁と柱・壁を接合しない。
7. 水平スリットは軸組図による。(間隔 25)
8. * 印の寸法は意匠図による。
9. 小梁位置は施工図により調整すること。
10. 床段差位置は施工図により調整すること。
11. 水勾配 50mm以上の場合は補強筋を計画する。
12. 片持スラブ水勾配は詳細図による。

記事 (特記無き限り)

1. 貴通孔位置は意匠図および設備図を参照し、躯体図を作成の上で監督員の承諾を得ること。
  2. 貴通孔の表示は躯体の実径を示す。
  3. (*** ) 内の数値はSLからの下がり寸法を示す。
  4. 原則として梁貴通孔の補強は認定工法による。
- 補強計算は両端曲げ降伏時のせん断力によるものとし、指定された長期せん断力を考慮すること。  
また、両端曲げ降伏時の計算にはスラブ筋 (10-D13) を考慮する。



2階床梁伏図 貴通図  
(見下実線図)

記事 (特記無き限り)

1. 床躯体天端 SL±0 梁躯体天端 SL±0  
床躯体天端 SL-195 梁躯体天端 SL-195  
床躯体天端 SL-70 梁躯体天端 SL-60  
天端水勾配増し打ち
2. ( ) 内の数値は SLから梁躯体天端までを示す。
3. 壁 W15  
手摺壁 W12A
4. ↔ スラブ短辺方向を示す。
5. 増打ちを示す。
6. ▼ 印は鉛直スリットを示す。(間隔 25)  
▽ 印は手摺壁と柱・壁を接合しない。
7. 水平スリットは軸組図による。(間隔 25)
8. * 印の寸法は意匠図による。
9. 小梁位置は施工図により調整すること。
10. 床段差位置は施工図により調整すること。
11. 水勾配 50mm以上の場合は補強筋を計画する。
12. 片持スラブ水勾配は詳細図による。
13. エントランスホール屋根スラブ水勾配は意匠図による。

構造協力事務所：一級建築士事務所 有限会社たつき設計 埼玉県知事登録(2) 第10821号  
構造設計者：一級建築士(登録) 第233094号 構造設計一級建築士(交付) 第7366号 新田 繁



株式会社 タック

■一級建築士事務所埼玉県知事登録 (7) 第1840号  
■一級建築士大臣登録第296660号 木村 泰士

特記事項

埼玉県都市整備部営繕課

課長	副課長	主幹	主査	担当
榎本	警城	大橋	小野寺	岡田

設計

担当  
製図

製作年月日

2024.06.04

縮尺

1/100 (A3=1/200)  
(A3版 50%縮小)

工事名称

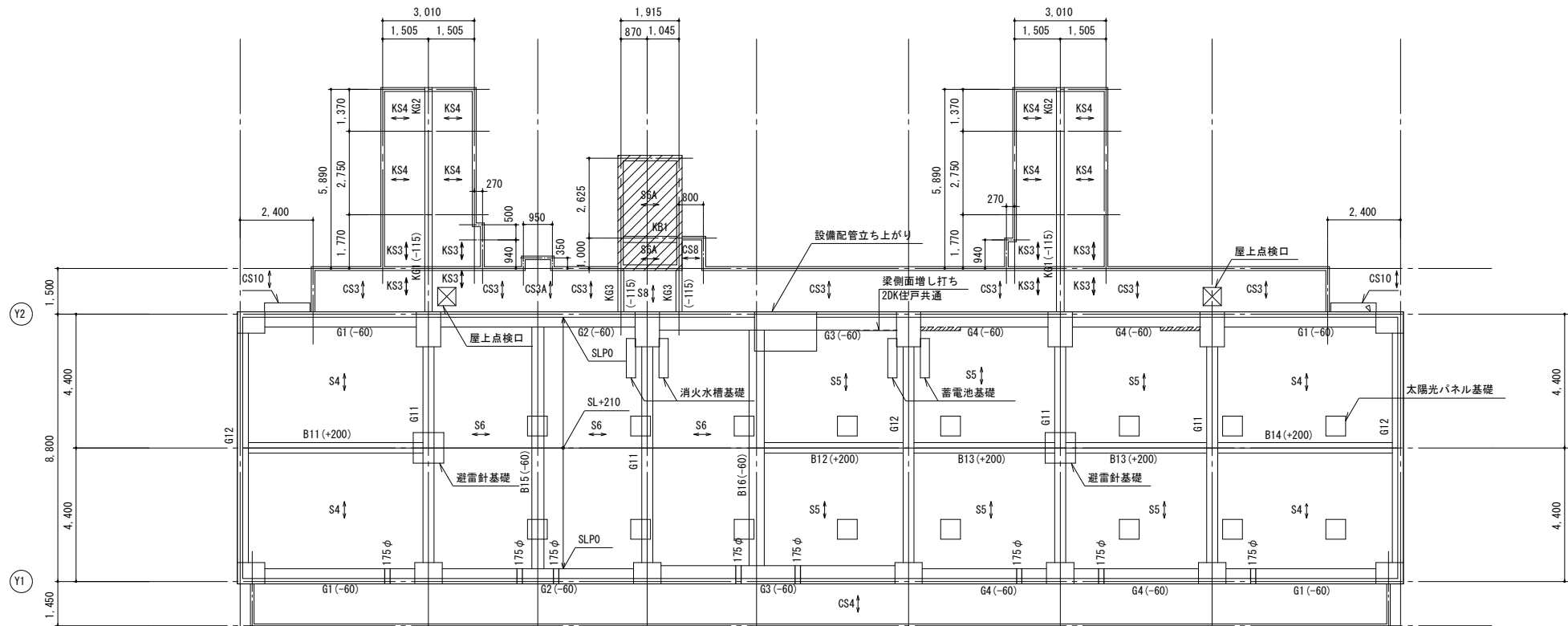
〇5県住入間霞川団地地盤改良工事

図面名称

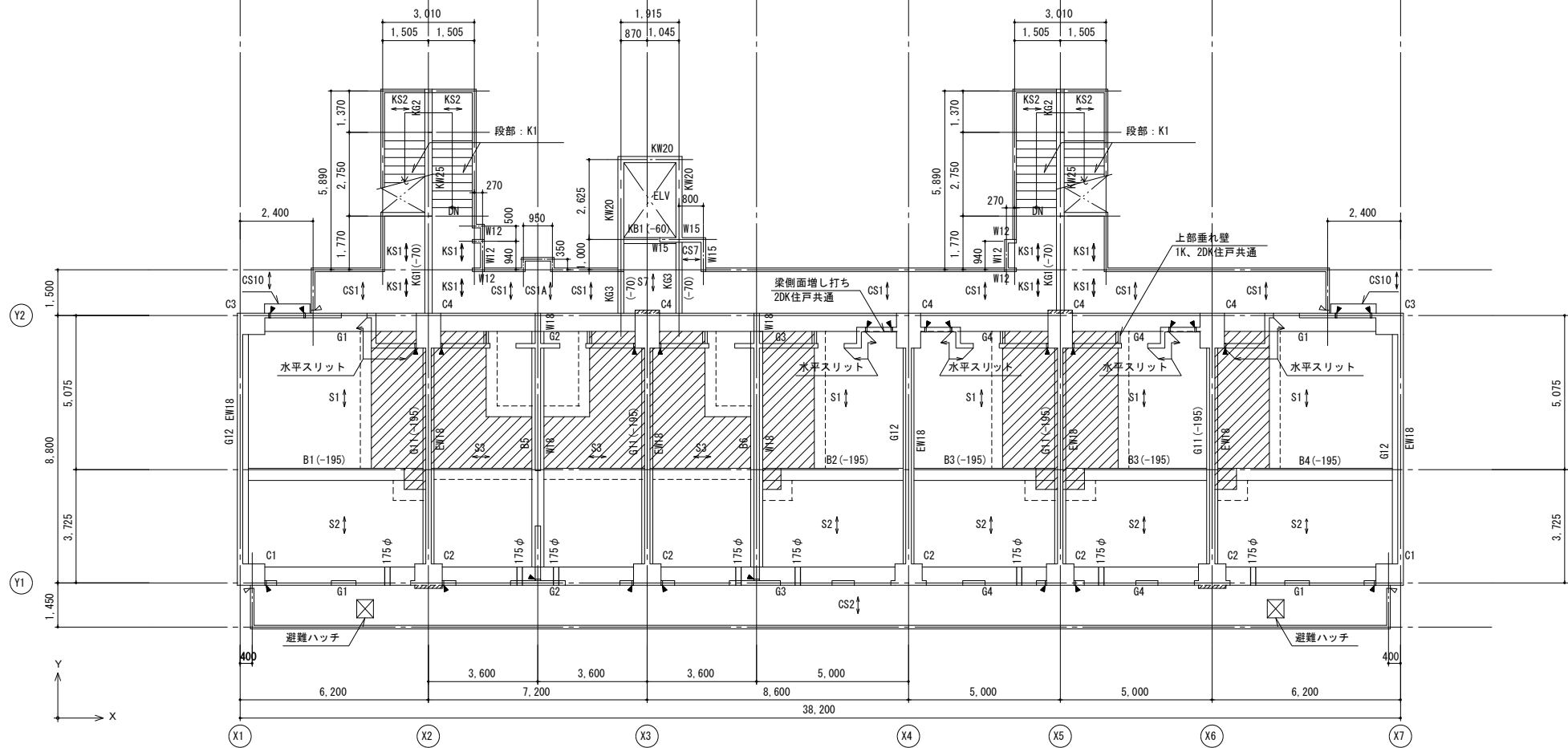
2階床梁伏図、3～6階床梁伏図 貴通図

図面番号

S - 032



R階床梁伏図 貫通図  
(見下実線図)



7階床梁伏図 貫通図  
(見下実線図)

記事 (特記無き限り)

1. 床躯体天端 SL±0 梁躯体天端 SL±0  
床躯体天端 SL+550 梁躯体天端 SL+550  
天端水勾配増し打ち
2. ( ) 内の数値は SLから梁躯体天端までを示す。
3. ↔ スラブ短辺方向を示す。
4. 増打ちを示す。
5. * 印の寸法は意匠図による。
6. 小梁位置は施工図により調整すること。
7. 床段差位置は施工図により調整すること。
8. 水勾配 50mm以上の場合は補強筋を計画する。
9. 屋外階段及びELVOH屋根躯体天端は意匠図による。
10. 設備基礎位置は意匠図による。
11. 片持スラブ水勾配は詳細図による。
12. ELV屋根水勾配は詳細図による。

記事 (特記無き限り)

1. 貫通孔位置は意匠図および設備図を参照し、躯体図を作成の上で監督員の承諾を得ること。
2. 貫通孔の表示は躯体の実径を示す。
3. (*** ) 内の数値はSLからの下がり寸法を示す。
4. 原則として梁貫通孔の補強は認定工法による。  
補強計算は両端曲げ降伏時のせん断力によるものとし、指定された長期せん断力を考慮すること。  
また、両端曲げ降伏時の計算にはスラブ筋 (10-D13) を考慮する。

記事 (特記無き限り)

1. 床躯体天端 SL±0 梁躯体天端 SL±0  
床躯体天端 SL-195 梁躯体天端 SL-195
2. ( ) 内の数値は SLから梁躯体天端までを示す。
3. 壁 W15  
手摺壁 W12A
4. ↔ スラブ短辺方向を示す。
5. 増打ちを示す。
6. ▼ 印は鉛直スリットを示す。(間隔 25)  
▽ 印は手摺壁と柱・壁を接合しない。
7. 水平スリットは軸組図による。(間隔 25)
8. * 印の寸法は意匠図による。
9. 小梁位置は施工図により調整すること。
10. 床段差位置は施工図により調整すること。
11. 水勾配 50mm以上の場合は補強筋を計画する。
12. 片持スラブ水勾配は詳細図による。

構造協力事務所：一級建築士事務所 有限会社たつき設計 埼玉県知事登録(2) 第10821号  
構造設計者：一級建築士(登録) 第233094号 構造設計一級建築士(交付) 第7366号 新田 繁



株式会社 タック

■一級建築士事務所埼玉県知事登録 (7) 第1840号  
■一級建築士大臣登録第296660号 木村 泰士

特記事項

埼玉県都市整備部営繕課

課長 副課長 主幹 主査 担当

榎本 警城 大橋 小野寺 岡田

設計

担当

製図

製作年月日

2024.06.04

縮尺

1/100 (A3=1/200)  
(A3版 50%縮小)

工事名称

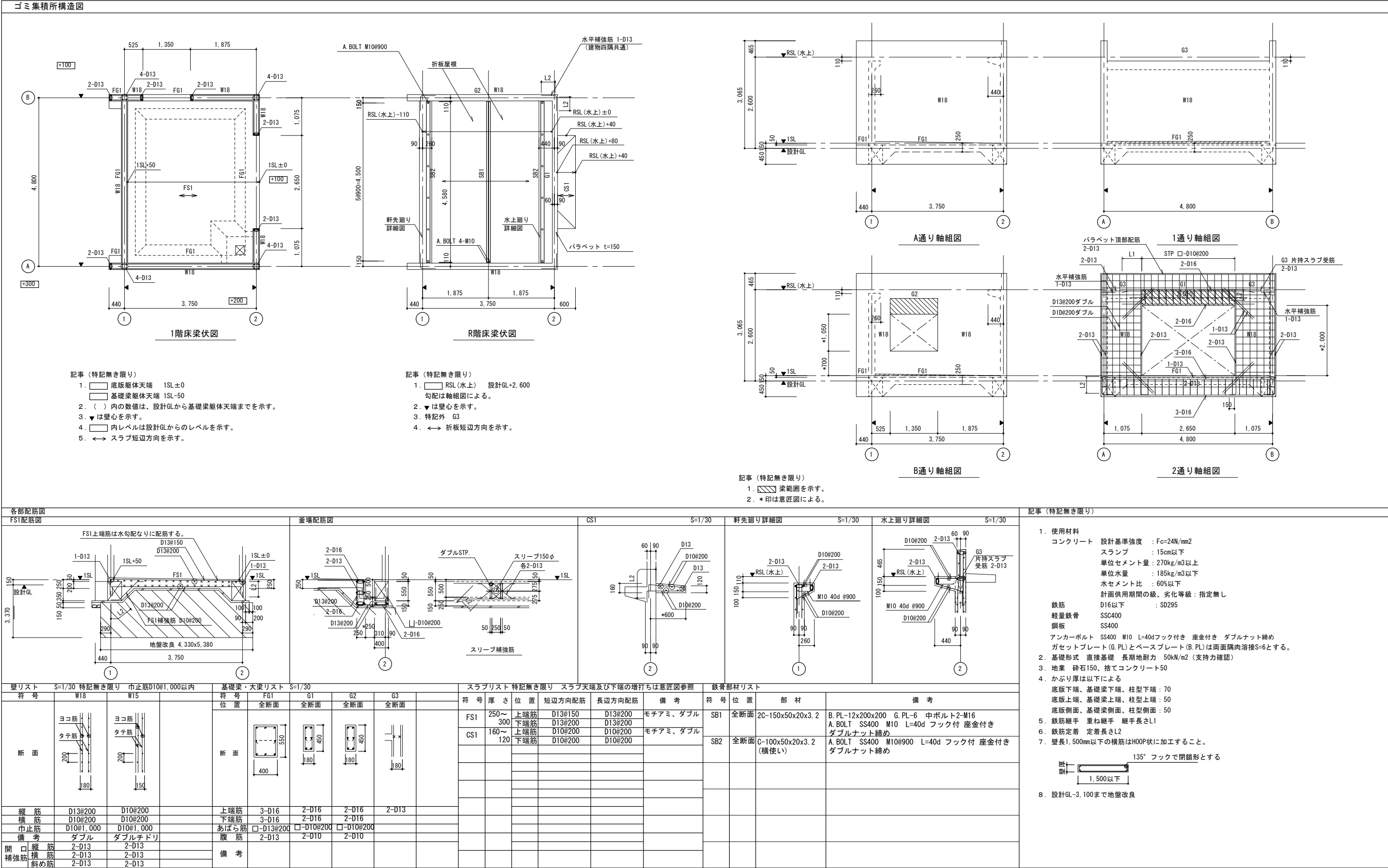
O5県住入間霞川団地地盤改良工事

図面名称

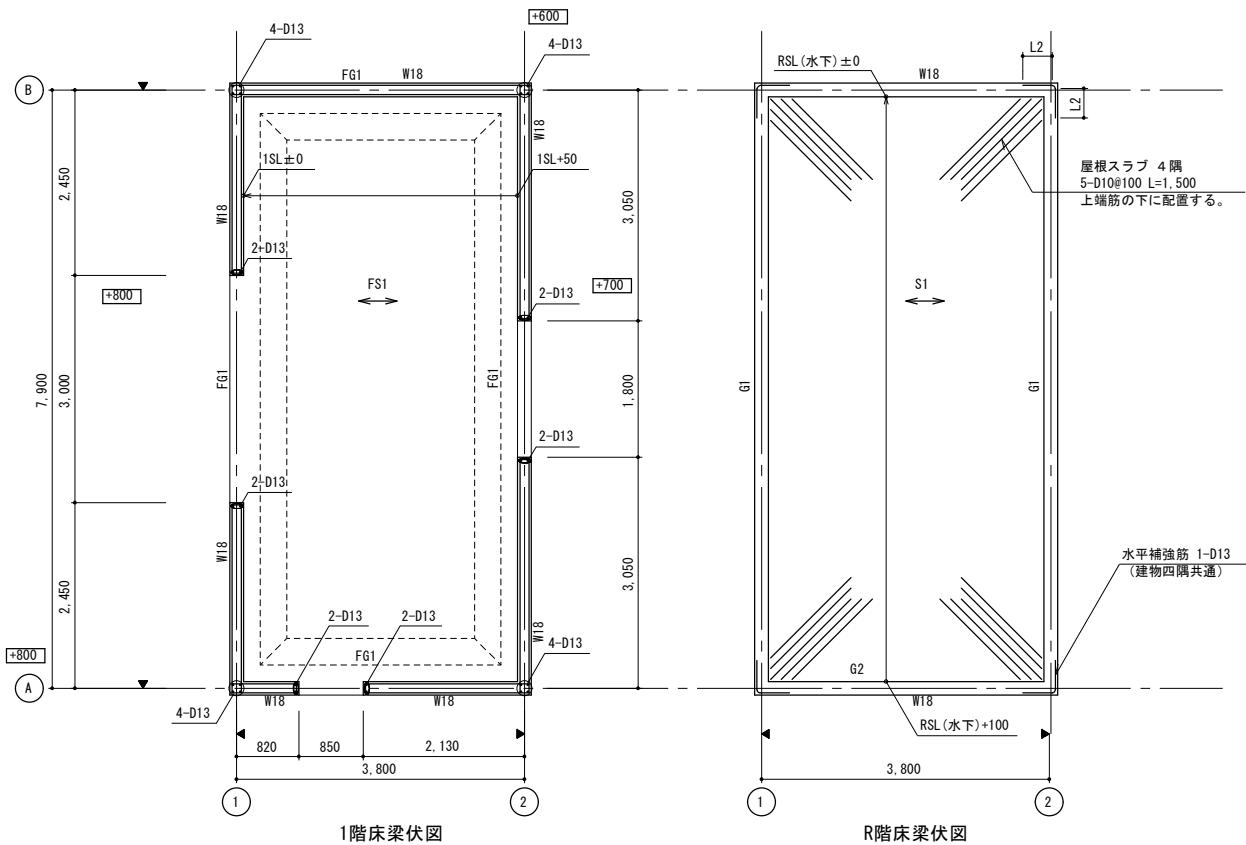
7階床梁伏図、R階床梁伏図 貫通図

図面番号

S - 033



### 倉庫構造図

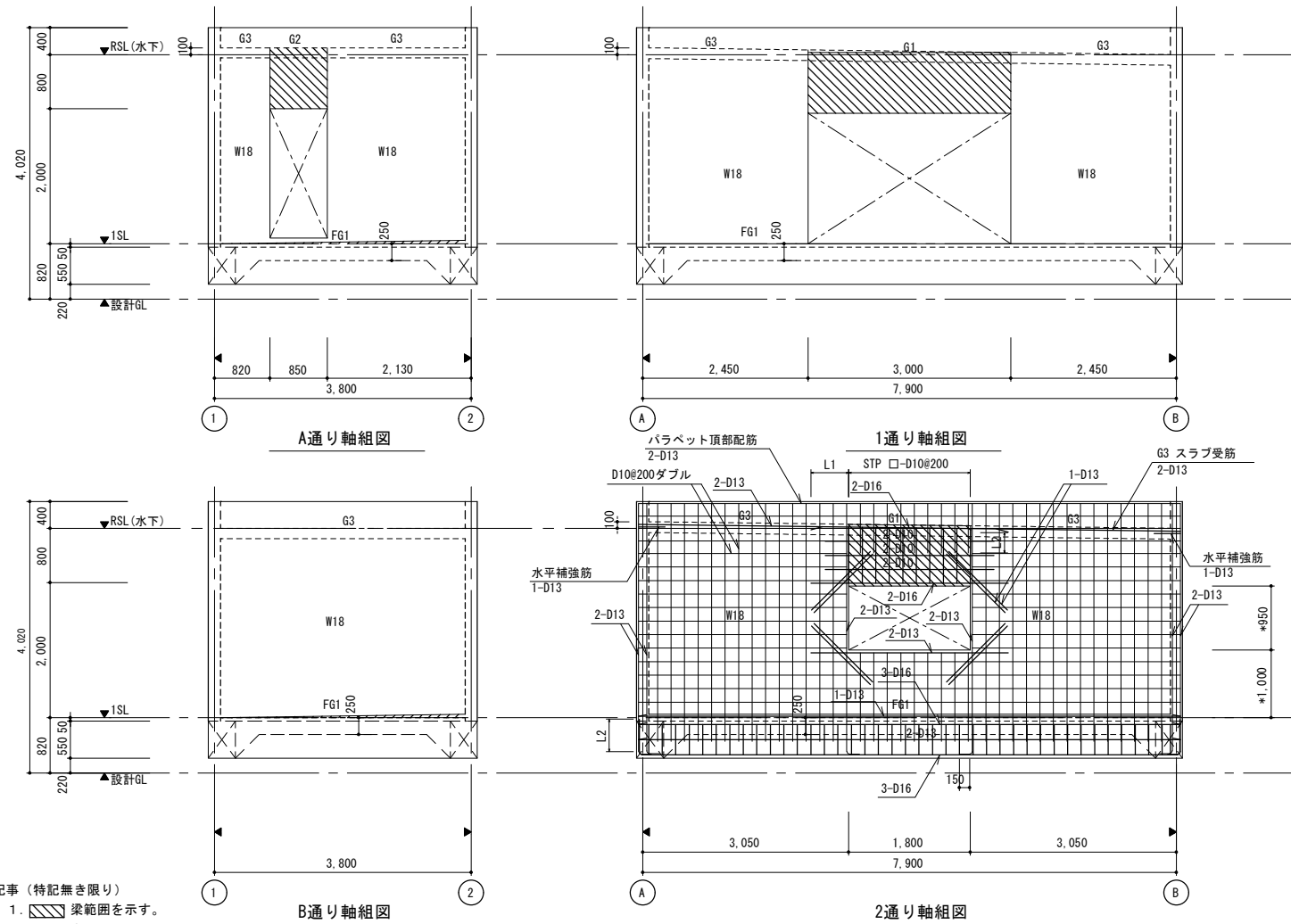


- 記事（特記無き限り）

  1.  床版躯体天端 1SL±0  
 基礎梁躯体天端 1SL-50
  2. ( ) 内の数値は、設計GLから基礎梁躯体天端までを示す。
  3. ▼ は壁心を示す。
  4.  内レベルは設計GLからのレベルを示す。
  5. ↔ スラブ短辺方向を示す。

記事（特記無き限り）

  1.  床躯体天端（水下） 設計GL+3, 600  
 勾配は軸組図による。
  2. ▼ は壁心を示す。
  3. 特記外 G3
  4. ↔ スラブ短辺方向を示す。



- 記事（特記無き限り）
1.  梁範囲を示す。
  2. *印は意匠図による。

各部配筋図										記事（特記無き限り）														
FSI配筋図										パラペット配筋図 S=1/30														
壁リスト S=1/30 特記無き限り 巾止筋D10@T,000以内					基礎梁・大梁リスト S=1/30					スラブリスト 特記無き限り スラブ天端及び下端の増打ちは意匠図参照														
符 号	W18		W15		符 号	FG1		G1	G2	G3		符 号	厚 さ	位 置	短辺方向配筋	長辺方向配筋	備 考							
断 面					断 面							S1	150	上端筋 下端筋	D10, D13#200 D10, D13#200	D10#200 D10#200	モチアミ、ダブル							
												FS1	250～ 300	上端筋 下端筋	D13#100 D13#200	D13#200 D13#200	モチアミ、ダブル							
縦 筋	D10#200		D10#200		上端筋	3-D16		2-D16	2-D16	2-D13														
横 筋	D10#200		D10#200		下端筋	3-D16		2-D16	2-D16															
巾止筋	D10@T,000		D10@T,000		あばら筋	□-D13#200		□-D10#200	□-D10#200															
備 考	ダブル		ダブルチドリ		腹 筋	2-D13		6-D10	4-D10															
開口補強筋	縦筋 2-D13 横筋 2-D13 斜め筋 2-D13		縦筋 2-D13 横筋 2-D13 斜め筋 2-D13		備 考																			
1. 使用材料 コンクリート 設計基準強度 : Fc=24N/mm2 スランブ : 15cm以下 単位セメント量 : 270kg/m3以上 単位水量 : 185kg/m3以下 水セメント比 : 60%以下 計画供用期間の級、劣化等級 : 指定無し 鉄筋 D16以下 : SD295 2. 基礎形式 直接基礎 長期地耐力 50kN/m2 (支持力確認) 3. 地業 砕石150、捨てコンクリート50 4. かぶり厚は以下による 底板下端、基礎梁下端、柱型下端 : 70 底版上端、基礎梁上端、柱型上端 : 50 底版側面、基礎梁側面、柱型側面 : 50 5. 鉄筋継手 重ね継手 継手長さL1 6. 鉄筋定着 定着長さL2 7. 壁長1,500mm以下の横筋はH00P状に加工すること。  8. 設計GL-4,350まで地盤改良																								

構造協力事務所：一級建築士事務所 有限会社たつき設計 埼玉県知事登録(2) 第10821号  
構造設計者：一級建築士(登録)第233094号 構造設計一級建築士(交付)第7366号 新田 繁

TAC  株式会社 タック  ■一級建築士事務所埼玉県知事登録(7)第1840号 ■一級建築士大臣登録第29660号 木村 泰士	特記事項	埼玉県都市整備部営繕課					設 計	製作年月日 2024.06.04	工事名称 O5 県住入間霞川団地地盤改良工事	図面番号
		課 長	副課長	主 幹	主 査	担 当				
		榎 本	磐 城	大 橋	小野寺	岡 田	担 当	縮 尺 1/50 (A3=1/100) (A3版 50%縮小)	図面名称 倉庫構造図	S - 035
							製 図			